

昭和51年度

学校教育要覧

日野市教育委員会

日野市立図書館 81-7354



日野市 1374797 81 7354

目 次

☑ 日野市地図	
☑ 東京都教育委員会の重点施策	3 頁
☑ 日野市教育委員会学校教育の指導目標	5
☑ 市教委の学校訪問日程	11
☑ 学校教育課の年間行事計画	13
☑ 日野市教育相談室	26
☑ 日野市中心身障害教育推進協議会	29
☑ 日野市立小学校科学教育センター	31
☑ 日野市立小中学校使用教科書	34
☑ 指導主事分担一覧	35
☑ 日野市教育委員会事務局組織	37
☑ 小中学校教科領域研究主任一覧表	39
☑ 日野市立幼稚園・小学校・中学校要覧	43

日野市全図



日野市役所



昭和51年度 東京都教育委員会重点施策

- 1 高校教育の振興
- 2 心身障害教育の振興
- 3 小・中学校教育の充実
- 4 教職員の勤務条件等の改善
- 5 三多摩・島しょの格差是正
- 6 社会教育の振興
- 7 学校安全と公害対策

1 東京都教育委員会の教育目標

人間尊重の精神を養い広く国際社会において信頼と尊敬を得られる国民的資質を高め、勤労と責任を重んじ、自主性と創造性に富み、規律正しく健康で情操豊かな都民をめざして、教育を推進する。

2 学校教育の指導目標

東京都公立学校においては、都民の期待にこたえ、未来への展望に立って、教育の本質と学校教育のあり方について深く考え、幼児・児童・生徒・学生の資質・特性や地域の実態に即して、ひとりひとりを生かす教育を推進する。

特に学校経営に創意工夫をこらし、教師としての識見・能力を高めるとともに、教職員、幼児・児童・生徒・学生、父母相互の信頼をいっそう深めて、学校教育の充実に努める。

そのため、次の事項に重点をおく。

- 人権尊重の教育
- 健康・安全の教育
- 教育内容・方法の改善
- 生活指導の徹底

3 重点事項について

重点事項は、各項目が独立したものではなく、相互に有機的な関連をもつものである。各学校においては、これら重点事項を十分考慮し、それぞれの実態に応じて学校教育目標や年度の重点を設定し、教師ひとりひとりの日々の研究・実践の充実を図り、創意のある学校・学年・学級経営の推進に努めることが大切である。

○ 人権尊重の教育

日本国憲法に基づき、教育基本法に示された教育の目的を達成するためには、学校教育の全体を通じて人権尊重の教育を徹底することが重要である。

各学校においては、同和対策審議会の答申、並びに同和対策事業特別措置法の趣旨を体して、あらゆる差別や偏見をなくすように努め、また心身に障害を持つ幼児・児童・生徒・学生（以下

「児童・生徒」という)の教育については、その障害の種別、程度等に応じて、ひとりひとりに適切な教育が行われるよう特に配慮することが必要である。

○ 健康・安全の教育

生命尊重の精神に基づき、健康で幸福な生活を築くためには、心身の調和的発達を図ることが重要である。

各学校においては、児童・生徒の生活環境をは握し、教育活動の全体を通して、健康・安全に関する望ましい態度や能力を身につけさせるよう努め、交通安全教育、公害教育、防災教育等の推進を図ることが必要である。

○ 教育内容・方法の改善

ひとりひとりの児童・生徒の可能性を最大限に伸ばすためには、児童・生徒が自ら進んで学習する態度を養い、科学的な判断力や創造的な思考力を育成するように指導することが重要である。

各学校においては、指導内容の精選・集約を図り、指導方法を改善して、ひとりひとりを生かす効果的な指導を行うように努めるとともに、常に研究・研修の充実を図り、その成果を教育課程の編成・実施に生かすことが大切である。なお、過疎、過密など、地域の実態に即した効果的な指導が行われるように配慮することが必要である。

○ 生活指導の徹底

積極的に環境を生かし、自己実現を図ろうとする態度や能力を児童・生徒の身につけさせるためには、ひとりひとりの個性を尊重し、豊かな人間性を育成するよう努めることが重要である。

各学校においては、児童・生徒に対する理解を深め、父母の要望を十分には握するとともに、全校的な指導体制を一層充実して、生活指導の徹底に努める必要がある。特に、児童・生徒の問題行動については、日常の行き届いた指導を通して事故を未然に防止することが必要である。

日野市教育委員会

昭和51年度学校教育の指導目標

教育基本法の精神及び東京都の学校教育における指導目標の徹底に努めながら、地域の文化・自然を大切にし、市民相互の信頼による社会連帯意識を高め、心身ともに健康で個性豊かな人間形成をめざす教育を推進する。

特に本年度は、教育の本質と学校教育のあり方について、日野市の実態に即して深く考え、地域及び父母との連携をはかり、ひとりひとりの幼児・児童・生徒を生かす指導の徹底に努める。

そのために、次の事項に重点をおく。

- 人権尊重の教育
- 社会的な連帯意識を育てる教育
- 健康・安全の教育
- 授業研究の推進
- 心身障害教育の深化
- 幼児教育の質的充実

重点事項について

○ 人権尊重の教育

すべての国民に基本的人権の享有を保障する日本国憲法を根拠とし、教育基本法に示された教育の目的に基づいて、人権尊重の教育を徹底することが必要である。

特に各学校では、同和対策審議会の答申、並びに同和対策事業特別措置法の趣旨を体し、学校教育の全体を通して、あらゆる差別や偏見をなくし、基本的人権を尊重する同和教育の推進に努めなければならない。

1. 地域や幼児・児童・生徒の実態を的確にとらえ、学校の教育活動全体を通して不合理や差別、偏見をなくし、基本的人権を尊重する精神を育成し、特に、ひとりひとりが尊重されかつ、相互に尊重し合える人間関係の成立に努める。
2. 幼児・児童・生徒の最大限の発達をめざす適切な指導により、ひとりひとりが主体的に目標を立て、常に明るく充実した生活が営めるようにする。
3. ひとりひとりが自己の能力や適性を最大限に発揮できるよう、適切な学習指導・生活指導及び進路指導の徹底をはかる。
4. 同和教育について全職員の認識を深め、同和教育のあり方や指導についての研究を推進し、これを教育課程に生かすようにする。

○ 社会的な連帯意識を育てる教育

日野市の急激な都市化は、自然環境を著しく変貌し、また、市民の地域や教育に対する意識、願望も多様なものへと変化してきている。

このような社会の中で、歴史的に継承され発展してきているさまざまなものに対する理解と批判力、感受性を育て、郷土を愛する心を育てるとともに、社会的な活動に進んで参加し、その中で自他をともに生かすことができるような社会的連帯意識と責任ある行動とを育てることに努めなければならない。

1. 郷土の自然、文化遺産についての理解を深め、これを愛し、保護する教育に努める。
2. 自分を見失わない主体性を育てるとともに、信頼と尊敬を得られる責任ある行動的な態度の育成に努める。
3. 自他の自由を尊重し、自分と異なる意見や立場を重んじながら、互に協力し合う市民意識の育成に努める。
4. 地域のみにとどまらず、自国の歴史と伝統を愛し、文化に深い理解を持つ国民的自覚を育てるとともに、他国の文化をも尊重する国際理解の教育を推進する。

○ 健康・安全の教育

生命尊重の精神を養い、健康の増進と安全の保持をはかることは、心身の調和的発達のために極めて重要なことである。

特に都市化がすすんでいる日野市にあっては、地域の実態ともあわせて、幼児・児童・生徒が心身ともにたくましく、健康で安全に生活できる態度を身につける教育の徹底をはからなければならない。

1. 生命を尊び、心身の健康の増進をはかり、節度と調和のある生活ができるよう、教育活動の全体を通して指導の徹底をはかる。
2. ひとりひとりに、健康で安全に関する望ましい態度や能力、生活習慣を身につける指導の徹底をはかる。
3. 幼児・児童・生徒の生活環境の実態をじゅう分把握し、これを基に適切な安全教育の計画を立て、効果的な指導を行なうようにする。
4. 災害発生に対し、幼児・児童・生徒の安全がはかれるよう、その組織と方法を明らかにする。
5. 生命尊重の教育の重要性について、地域・父母への啓蒙をはかるとともに、その指導にあたっては連携を深めることに努める。

○ 授業研究の推進

児童・生徒に生氣と気はくを与え、ひとりひとりの可能性を最大限に発揮させ、創造的な個性を発見し、これを伸長する教育をめざして、日野市では授業研究にとりくんできている。

本年度もこれを推進し、子ども自らが主体的にとりくむ授業の創造に努める。

1. 日野市立小中学校全校が授業研究にとりくみ、教師の自己研修の場を拡大し、資質の向上に努める。
2. 各学校間で授業研究の交流をはかり、特に幼稚園と小学校低学年・小学校高学年と中学校の指導方法についての関連をいっそう密にすることに努める。
3. 児童、生徒の創造的個性の実態を把握することに努め、その伸長のための授業の方法を追求する。
4. 学習の記録をもとに授業分析をおこない、「よい授業」の成立条件を明らかにすることに努める。

○ 心身障害教育の深化

心身に障害を持つ幼児・児童・生徒で、就学を希望する者に適切な教育を施す方策を推進しているが、一方、障害の程度は重度化、多様化、重複化の傾向を示し、心身障害教育の重要性と困難性は著しく増大してきている。

こうした現況下において改めて心身障害教育の本質と課題とを深く考えるとともに、ひとりひとりの発達の可能性をひき出し、障害を克服して、明るく強く、生きがいを持つような教育の推進に努める。

1. 心身障害教育について、全教職員の共通理解をいっそう深め、ひとりひとりを生かす教育の徹底を期することに努める。
2. 心身障害教育の本質と課題を考え、幼児・児童・生徒の実態をじゅう分考慮した教育目標、教育の重点を設定し、障害に応じた指導の方法を工夫する。
3. 心身障害学級設置校にあっては、全校児童・生徒に、障害を持つ児童・生徒についての正しい認識と理解を与え、相互に協力し合える交流の場を積極的に設けることに努める。
4. 障害の重度化、多様化、重複化に応じて指導内容を精選し、ひとりひとりの発達と可能性をひき出し、伸長する指導方法を追求する。
5. 学校と家庭、教育相談、医療及び福祉機関等との連携をいっそう密にし、心身障害教育の望ましいあり方を研究する。

○ 幼児教育の質的充実

幼児教育の重要性と幼稚園教育に対する市民の要請に答えるために、日野市では幼稚園に入園を希望するすべての5才児を就園させることを目標に幼児教育の充実をすすめてきている。

最近における幼児の発達には加速度化現象がみられている現況をふまえて、幼児の実態をじゅう分に把握し、幼児教育の充実に努める。

1. 幼児の生活実態や心身の発達と環境とのかかわりあいについての研究を深め、これを保育計画に生かすように努める。
2. 幼稚園教育と小学校低学年の教育との関連についての研究を深め幼児教育のあり方を追求する。
3. 幼稚園と保育園との連携を深め、研究の交流や教育の一体化をはかることに努める。
4. 心身障害幼児を一般幼児の中で教育する場合の保育計画や指導の方法・環境のあり方について研究を深める。

◎ 小学校教育の方針

1 学校経営，学級経営

- 1) 地域及び父母との心の交流をはかり、地域の実態に応じて開かれた学校経営に努める。
- 2) 各学校の教育目標が学年、学級を通じて児童の望ましい人間形成のためにじゅう分具現化されているか、学校経営全体の立場からこれを検討し、その改善をはかる。
- 3) 「学校評価基準」「学校経営の手引き」などを活用して、いっそう学校経営における創意とくふうに努める。

- 4) 正常な学校運営に基づいて学年及び学級経営の充実をはかるとともに、学級担任教師はその専門性及指導性の向上に努める。
- 5) 学級担任教師は、児童ひとりひとりの個性と能力について正しく理解するとともに、心身に障害のある児童の教育にいっそう理解を深め、心の交流がじゅう分行なわれるように配慮する。

2 教育課程・学習指導

- 1) 教育課程の編成に当っては、地域及び児童の実態に基づいて調和と統一がはかれるように努める。
- 2) 教育課程の実施に当っては、教育の成果が児童ひとりひとりに正しく身につくよう万全を期する。
- 3) 学習指導に当っては、目標の明確化、内容の精選、指導方法の刷新を期した授業を進めるとともに、児童の学習態度が意欲的になるようくふうし、また、その評価についてあわせて研究する。
- 4) 学習環境を整備し、教材教具の活用に努めるとともに、効率の高い学習指導の方法について研究する。
- 5) 指導要領の研究とその実践化に努めるとともに、幼児教育及び中学校の教育課程との関連について考えるようにする。

3 道德教育 生活指導

- 1) 深く児童の心にふれあって、その徳性と社会性が正しく養われるように学校教育全体の中で計画的に適切な指導をする。
- 2) 生活指導の成果が児童ひとりひとりに正しく身につくよう、その組織及び方法についてじゅう分研究をする。
- 3) 生活指導と教科及び道德の指導との連携をいっそう深めるとともに、教育相談の方法の推進をはかり、あわせて学校教育相談の望ましいあり方について研究をする。
- 4) 児童を通じて学校と家庭との連携に配慮し、学校教育における正しい人間形成のあり方について家庭の理解を深める。
- 5) 学校の全教育活動の中で、教師が児童と一体となって道德教育を進める。

4 健康・安全教育

- 1) 児童の体力の向上に努めるとともに、心身の調和のある発達を期する。
- 2) 児童の生命尊重に万全を期し、強力かつ効果的な安全指導を行なう。
- 3) 地域の実態に即し、交通安全教育の徹底をはかる。
- 4) 児童が健康で安全な生活が送れるよう、保健及び安全教育の実践に努める。
- 5) 火災及び地震等の災害発生に対し、児童の安全がはかれるよう、その組織と方法を明らかにしておく。

5 情操教育・科学教育

- 1) つねに学校教育の全般を通じて人間性に即した豊かな心情がつつかわれるようじゅう分配慮する。
- 2) 読書指導の推進と教育機器の活用に努める。
- 3) 科学的なものの見方、考え方を伸ばす教育の推進をはかる。
- 4) 科学教育を進展させる設備・器具の充実と、その効果的利用に努める。

◎ 中学校教育の方針

1 学校経営・学級経営

- 1) 地域及び父母との交流をはかり、地域の実態に応じて開かれ学校経営に努める。
- 2) 「学校評価基準」「学校経営の手引き」等の活用により、学校経営に創意くふうをし、望ましい学校教育を推進する。
- 3) 学力を充実し、情操を培い、体力を養う等、生徒の望ましい人間形成をめざして、全教職員が一体となって指導に当るように努める。
- 4) 学級担任教師は、生徒ひとりひとりを把握し、理解し、心の交流がはかれるよう配慮するとともに、教科担任教師との連絡を密にし学級経営の充実をはかる。
- 5) 学年の中における学級担任相互の連絡を密にし、学年経営をくふうする。さらに学年相互の連絡がとれるよう努める。
- 6) 心身障害学級を設置する学校においては、心身障害学級と一般学級との交流をはかり、協力的な指導体制を整えるようにする。

2 教育課程・学習指導

- 1) 教育課程の編成に当っては、地域及び生徒の実態に基づいて調和と統一がはかれるよう努める。
- 2) 各教科、領域の指導に当っては、指導のねらいを明確にし、指導内容の精選をはかり、指導方法の改善を期した授業の研究に努める。
- 3) 学習評価の研究をすすめ、能力、適性を生かすように努める。
- 4) 教材・教具の効果的な活用・教育機器の利用についてもくふうし学習指導の充実をはかる。
- 5) 指導要領の研究とその実践化に努めるとともに、小学校の教育課程との関連について考える。

3 道德教育・生活指導

- 1) 学校の全教育活動の中で道德教育を進める。
- 2) 各教科、道德、特別活動の中において生活指導の徹底をはかり、常に生徒と教師との心のふれあいに努める。

4 健康・安全教育

- 1) 体育の時間はもちろん、クラブ活動、その他の教育活動を通して体力の増強をはかり、さらに保健指導の充実と相まって健康な生活ができるように努める。
- 2) 安全確保は学校で常に留意しなければならない。学習指導中における安全指導、校外における安全指導にも力を入れるようにする。
- 3) 火災及び地震等の災害発生に対し、生徒の安全がはかれるようその組織と方法を明らかにしておく。

5 情操教育・科学教育

- 1) 人間性豊かな心情を養い、科学的態度を身につけるよう環境づくりに配慮する。

6 進路指導

- 1) 個々の生徒の能力、適性をよく把握し、それに応じられるように努める。

◎ 幼稚園教育の方針

1. 学級経営について創意くふうし、個々の幼児の特性を理解し、個性の伸長に努める。
2. 教育課程の編成に当っては、地域、幼児の実態に基づき、小学校低学年との関連をはかりながら改善をはかる。
3. 指導のねらいを明確にし、指導内容を検討し、指導方法のくふうに努める。
4. 健康安全の生活習慣を身につけるように努める。とくに交通安全については地域、父母との連携をはかり、これの徹底に努める。
5. 心身に障害を持つ幼児や、特別な配慮を要する幼児については、特に深い理解を持ち、ひとりひとりを生かすための適切な園、学級経営に努める。
6. 家庭との連絡を密にし、幼児の望ましい成長を助けるようにする。
7. 環境改善についてくふうし、豊かな情操を培うとともに、正しい科学的態度が身につくように努める。
8. 幼保、私立幼稚園との連絡を密にし、研究の交流、保育の一貫性がはかれるように努める。

市教委の学校訪問について

1 趣 旨

学校訪問は教育長・庶務課長・学校教育課長・指導主事が学校の教育活動の実態に直接触れることで、①学校の当面する教育指導上の諸問題をとらえ、②それらの問題を学校のもつ諸条件に基いて解決するよう実践し、③あわせて日野市の全般的な教育活動を把握して指導行政の参考とするため実施する。

昭和51年度は、次の三方法にわけ、教育課程実施上の諸点について教職員と協議懇談するところに重点をおく。

(1) 市教委訪問 A

年間一度、教育長、庶務課長・学校教育課長・指導主事が訪問し、学校経営全般にわたって実態をはあくし、指導助言する。

内容は ①校長の概況説明 ②授業参観 ③施設・設備の活用状況の参観 ④教職員との協議懇談等を含む。

(2) 市教委訪問 B

年間一度、市教委訪問のない学期に指導主事が訪問する。

内容は ①学級経営 ②教科指導 ③道徳指導 ④生活指導 ⑤その他

(3) 要請訪問

各学校の要請に基づき指導主事が訪問し、指導助言する。

2 昭和51年度市教委訪問日程

No.	訪問別		市 教 委 訪 問 A	市 教 委 訪 問 B
	小学校			
1	日 野 第 一 小		10月 7日(木)	6月24日(木)
2	日 野 第 二 小		11月18日(木)	5月28日(金)
3	日 野 第 三 小		6月30日(木)	11月17日(水)
4	日 野 第 四 小		1月26日(水)	10月12日(火)
5	日 野 第 五 小		6月11日(金)	10月 6日(水)
6	日 野 第 六 小		2月 2日(木)	6月23日(水)
7	潤 徳 小		6月25日(金)	11月25日(木)
8	平 山 小		6月28日(月)	11月24日(水)
9	日 野 第 七 小		5月17日(月)	1月19日(水)
10	日 野 第 八 小		7月 1日(木)	1月24日(月)
11	百 草 台 小		2月 4日(金)	11月 5日(金)
12	滝 合 小		6月14日(月)	11月 8日(月)
13	高 幡 台 小		6月10日(木)	10月27日(水)
14	南 平 小		12月 1日(水)	6月16日(水)

№	訪問別		市 教 委 訪 問 A	市 教 委 訪 問 B
	中学校			
1	日 野 第 一 中		6月21日(月)	11月15日(月)
2	日 野 第 二 中		10月22日(金)	1月28日(金)
3	七 生 中		5月24日(月)	9月21日(火)
4	日 野 第 三 中		6月 3日(木)	10月21日(木)
5	日 野 第 四 中		10月18日(月)	6月22日(火)

№	幼稚園		市教委訪問 A	市教委訪問 B
1	日	野 第 一	7月 2日(金)	10月29日(金)
2		第 二	5月14日(金)	9月22日(水)
3		第 三	1月27日(木)	5月12日(水)
4		第 四	6月 9日(水)	11月12日(金)
5		第 五	11月10日(水)	6月 2日(水)
6		第 六	2月23日(水)	5月31日(月)

昭和 51 年度

日野市教育委員会学校教育課研修計画

A 一般研修

名称	ねらい・方針	期 日	内 容・方 法	会 場	対 象
学 校 経 営 研 修 会 6 回	市立小中学校・幼稚園 の運営にあたる教職員 を対象として適正な学 校・園の管理・運営の あり方を求めて学校経 営や学習指導の知識や 技能の充実をはかる講 演を主に研修をする。 (蓮池・前田)	5 / 18 (火)	学校経営の考え方に関 する講演会(講堂)	中央公民館	校長・園長・ ほか一般教職員 ・教頭・主任・教務主任等の
		6 / 1 (火)	学校経営に関する諸法 規について(")	"	
		7 / 15 (木)	教職員の特性を生かす 学校経営 (")	"	
		8 / 7 (土)	地域住民の期待と要望 と学校経営(")	"	
		10 / 19 (火)	東京都における教育上 の課題 (")	"	
		12 / 13 (月)	学校評価を生かした学 校経営 (")	未 定	
幼 児 教 育 研 修 会 3 回	幼稚園と保育園の交流 を進めながら幼児教育 の充実をはかるために 教育課程の編成と実施 を中心に研修する (蓮池・前田)	4 / 27 (火)	社会性を育てる 幼児教 育のあり方(講演)	中央公民館	公私立の幼稚園・ 保育所の教職員
		9 / 16 (木)	集団あそび, 体育あそ びの指導 (実技)	未 定	
		2 / 3 (木)	絵画製作の指導のあり 方 (")	"	
同 研 和 教 育 修 2 回	同和教育を現場で具体 的に推進するときに基 本的な事項の理解を深 める (蓮池・前田)	4 / 30 (金)	教育課程における人権 尊重教育 (講演)	中央公民館	一般教職員
		12 / 14 (火)	学習指導における同和 教育の推進(講演)	"	
心 障 教 育 研 修 2 回	心身に障害をもつ幼児 ・児童・生徒を担当し たときの基本的事項に ついて理解を深める (蓮池・前田)	5 / 27 (木)	一般学級における心障 児の指導 (講演)	中央公民館	一般教職員
		1 / 14 (金)	心障児の実態と個に応 じた指導法(講演)	"	

名称	ねらい・方針	期 日	内 容・方 法	会 場	対 象
新任 教諭 兼 学級 経 営 研 修 会 10回	教員の職責の重要性を認識した上で各学校の教育目標にそって一人ひとりの児童・生徒の能力・特性を十分に伸ばす学習指導・生徒指導・学級経営ができるように 講演・授業研究・実地研修等をおこない、教職の専門性を高める (前田・蓮池)	4/2 (金)	オリエンテーション地域見学	中央公民館	新卒・特別選 合格の教諭と経験三年未満の教諭
		5/7 (金)	学習指導に関する実務研修	三 小	
		6/15 (火)	学級経営に関する実務研修	中央公民館	
		7/13 (火)	教育相談研修会と兼ねる	中央公民館	
		9/30 (木)	学習指導法研修会と兼ねる	五 小	
		11/16 (火)	学習評価に関する実務研修	未 定	
		12/10 (金)	家庭との協力について	〃	
		1/17 (月)	授 業 研 究	〃	
		2/15 (火)	授 業 研 究	〃	
		3/11 (金)	現地研修と一年間の反省	現 地	
学校 図 書 1 館 回	学校図書館の役割を理解し図書館活動の充実をはかる (蓮池・前田)	4/23 (火)	学校図書館の充実と運営の能率化について研修する	日野市立 図 書 館	国図教 語書 科担職 担当の員
学校 保 1 健 回	健康安全教育を進めるため学校保健のあり方を研修する (前田・蓮池)	6/29 (火)	校内での安全と健康教育を充実する方法について実務上の研修を進める	中央公民館	養保の 護健教 教主諭 任諭
事務 職 2 員 回	学校運営を円滑に進める学校事務の技術の向上をはかる (前田・蓮池)	7/6 (火)	学校経営の一環としての学校事務について実務上の研修を高める	〃	学職市 校員費 (と 事(県も) 務費)
		10/8 (金)			
学研 習 指 修 導 法 会		6/18 (金)	道徳教育講演会	中央公民館	小 中 一 般 教諭と道徳 研 究 部 員

名称	ねらい・方針	期 日	内 容・方 法	会 場	対 象
学 習 指 導 法 研 修 会	市立小・中学校で児童・生徒に生氣と気はくを与え、ひとりひとりの可能性を十分に伸ばす良い学習指導が推進されるように各教科領域にわたって授業研究を中心に研修する	9/13 (月)	国語の読解指導について授業研究と対象	平山小	小一般教諭と中学国語科教諭
		9/30 (木)	道德教育の研究授業と対象	五 小	小中一般教諭と道德研究部員
		10/28 (木)	家庭科の指導法について授業研究と討議	一 小	小一般教諭 中学家庭科教諭
		11/29 (月)	中学英語の指導について授業研究と討議	四 中	中学英語科教諭
		12/2 (木)	算数の指導について授業研究と討議	六 小	小一般教諭と中学数学教諭
		1/31 (月)	音楽の指導について授業研究と討議	七 小	小一般教諭 中学音楽教諭
		2/25 (金)	道德教育の研究授業と討議	四 小	小中一般教諭と道德研究部員
8 回	(蓮池・前田)				
実 技 研 修 会	市立小中学校で児童・生徒に学習意欲を起こし進んで学習にとりくみ、十分な理解の得られる学習指導が推進されるよう、5教科にわたって実技指導の技術を高めるような研修をおこなう。	5/25 (火)	社会科見学の指導方法について実地指導	中央公民館	小学校3年担任・社会科学研究部員
		9/10 (金)	理科実技研修会	高幡台小	小中一般教諭・理科学研究部員
		9/28 (火)	教育機器研修会	三 小	小中一般教諭・視聴覚研究部員
		11/4 (木)	体育実技研修会	八 小	小中学校一般教諭体育研究部員
		11/26 (金)	毛筆書写実技研修会	潤徳小	小中一般教諭
8 回	(前田・蓮池)				

名称	ねらい・方針	期 日	内 容・方 法	会 場	対 象
実 技 研 修 (続)		11/30 (火)	体育実技研修会	南平小	小中一般教 諭・体育研 究部員
		1/25 (火)	図工実技研修会	百草台小	小中一般教 諭・図工美 術研究部員
		2/14 (月)	毛筆書写実技研修会	二 小	小 中 学 校 一 般 教 諭
教 育 相 談 研 修 会 10回	市立小中学校で児童生 徒の実態や悩みを正確 にとらえ，ひとりひと りに適応した教育相談 を充実させていく方法 を，事例を通して研修 を重ねる (蓮池・前田)	5/4 (火)	講演と研修計画の立案	中央公民館	教 育 相 談 員 ・ 研 修 員 と 学 校 の 教 育 相 談 係 ・ そ の 他 一 般 教 諭
		6/1 (火)	事 例 研 究	"	
		7/13 (火)	講 演	"	
		9/7 (火)	事 例 研 究	"	
		10/5 (火)	講 演	"	
		11/2 (火)	事 例 研 究	"	
		12/7 (火)	講 演	"	
		1/11 (火)	事 例 研 究	"	
		2/1 (火)	講 演	"	
		3/1 (火)	研修のまとめ	"	

B 宿泊研修

名称	ねらい・方針	期 日	内 容・方 法	会 場	対 象
教務主任	地域と児童・生徒の実態に即した教育課程の編成と実施をめざし、他地区を参観したり、情報交換をおこなう。 (蓮池・前田)	5/20 (木) 5/21 (金)	○他校訪問—参観校の教育課程と校務分掌運営組織について見学し方法を聞く ○研究協議—各学校の情報交換と問題解決	未定	教務主任
生活指導主任	児童・生徒の実態を把握し、生活指導の確立をはかるため他地区を参観したり情報交換をおこない研修を積む (前田・蓮池)	10/25 (月) 10/26 (火)	○他校訪問—参観校の生活指導組織の見学と方法を聞く ○研究協議—各学校の情報交換と問題児の処理を話し合う	未定	生活指導主任
教育相談	学校および教育相談室でおこなう教育相談の交流と指導技術を高めるための研修を積む (蓮池・前田)	8/2 (月) 8/3 (火)	○研究討議「教育相談室の運営について」 ○事例研究と講師の指導	未定	教育相談員
科学センター	小学校児童の科学的能力・技術・態度を養うために、科学センター指導教員の理科の指導技術を実地で高める (前田・蓮池)	7/22 (木) 7/23 (金)	○研究討議「科学センターの運営と指導法」 ○自然観察法の指導「地質・生物・天体」 ○実験技術の開発「物理・化学」	未定	科学センター指導員
新任教諭	1学期間の教職経験を話し合って各自が自覚した問題を協力して解決し教職の専門性を高める (前田・蓮池)	7/26 (月) 7/27 (火)	○講演「児童生徒の理解の方法と生活指導」 ○研究討議「1学期の反省と問題点」 ○自然観察法の指導「動植物・星・川」	御岳山(青梅市)	新任教諭

C その他の事業（協議会・連絡会・委員会等）

名称	ねらい・方針	期 日	内 容・方 法	会 場	対 象
教務主任会	日野市の地域・児童・生徒の実態に即した教育課程の編成と実施の改善につとめ、学校経営の問題点を究明する	4/22 (木) 5/13 (木) 6/17 (木) 9/9 (木) 10/14 (木) 11/11 (木) 12/9 (木) 1/20 (木) 2/17 (木) 3/10 (木)	調和と統一ある教育課程の編成をめざし、学校行事、校務分掌組織、学校評価の生かし方について情報交換しながら研究する	中央公民館	教務主任・教務部員
9 回	(蓮池・前田)	(第2木曜日)			
生活指導連絡協議会	小・中学校の生活指導態勢を推進し、児童・生徒の心身の健康を向上させるため、各校の情報交換と研修を進める	4/19 (月) 5/10 (月) 6/4 (月) 7/5 (月) 9/6 (月) 10/4 (月) 11/1 (月) 12/6 (月) 1/10 (月) 2/7 (月) 3/7 (月)	学校生活に喜びを感じ自身の能力を十分に伸ばせるような生活指導のあり方をめざして、情報交換を進めながら研究を進める	中央公民館	生活指導主任・指導部員
11 回	(前田・蓮池)	(第1月曜日)			
中学生生活指導連絡協議会	中学校の生活指導を推進し心豊かな中学生の育成のため各校の協力態勢の推進	5/31 (月) 7/12 (月) 9/27 (月) 11/22 (月) 12/20 (月) 2/21 (月) 3/14 (月)	中学生の意識や悩みの実態調査を進め、学校生活に生きがいを感じるような生活指導の確立を研究する	未 定	主任・中学校生活指導部員
7 回	(前田・蓮池)				
心推 障進 教協 育議 会	日野市における心障児教育のあり方を追求するとともに、具体的展開の方策について協議し、その推進をはかる (蓮池・前田)	5/6 (木) 未 定	研究委託者総会 心障教育を推進するための研究・研修・教育相談等のあり方について (協議と見学)	中央公民館 未 定	心障教育推進担当者
音楽鑑賞教室委員会	小中学校児童・生徒の音楽鑑賞能力を高め、音楽性の向上をはかる (蓮池・前田)	4/20 (火) 7/16 (金) 9/6 (月) 9/14 (火)	音楽観賞教室実施計画の作成と運営打合せ 小・中音楽鑑賞教室	中央公民館 八王子市公民館	運営委員

名称	ねらい・方針	期 日	内 容・方 法	会 場	対 象
教 育 研 究 方 法 委	児童・生徒ひとりひとりを生かす学習指導法の改善をめざす (前田・蓮池)	5/6 (木)	研究委託総会	中央公民館	教 育 研 究 方 法 委 員
		未 定	その後はグループ研究 (理論研究と実践研究)	未 定	
ま ど べ 編 集 委	教職員研修雑誌「まどべ」の発行により、市内小中学校の教育水準の向上を計る (蓮池、前田)	4/19 (月)	年3回、教職員の研修雑誌「まどべ」の編集と発行をおこなう	中央公民館	ま ど べ 編 集 員
		未 定		未 定	
小イ・ト 三社会科 作成スラ 成スラ委	小学校3年生の指導に使用するスライドなどの視聴覚教材の作成を進める (蓮池・前田)	未 定	小学校3年社会科の指導資料の作成と利用法を研究する	未 定	小 研 三 学 校 年 社 会 担 科 部 当 員 教 科 員 諭
社改 会訂 科研究 副読本 読本委	小中学校社会科の指導資料「わたしたちの日野」「伸び行く日野」の改訂を進める (蓮池・前田)	未 定	社会科副読本の内容を検討し改訂と利用法の研究をする ①小学校部会 ②中学校部会	未 定	小 研 中 学 校 担 社 会 学 科 部 校 員 社 当 科 員 教 科 員 諭
小セ 学学 校タ 科運 学営 運委	日野市立小学校の児童の科学的態度能力の向上と教員の理科指導技術の充実をはかる (前田・蓮池)	4 月下旬 より	小学校6年生対象の科学教育センターの運営と指導に当たる	北 部	小 学 校 理 科 部 員 所 他 一 般 教 諭
				南 部	
授 業 研 究	児童・生徒に生氣と気はくを与え、ひとりひとりの可能性を伸ばす指導法をめざす (蓮池・前田)	各 学 校 (園で)	市立幼・小・中学校(園)の授業研究・保育研究を進める	各 幼 小 中 学 校	幼 の ・ 教 小 職 中 員 学 校
教 職 員 研 究 委 託	日野市の学校教育目標の達成と教職員の自主的な研修の推進をめざし、指導目標の実現を研究する (前田・蓮池)	5/6 (木)	研究委託者総会	中央公民館	小 中 学 校 の 教 職 員
		未 定	その後は5グループ(40名)に分かれて研究 ① 人権尊重の教育 ② 健康安全の教育 ③ 心障教育 ④ 幼児教育 ⑤ 生活指導	未 定	

指導関係行事予定表

(□・・・全日 △・・・午前 ○・・・午後)

(4 月)

(5 月)

日	曜	市	都	日	曜	市	都
1	木			1	土	△学校保健連絡協議会	
2	金	△新任教諭研修会 9:00 △校長会 10:00		2	日		
3	土			3	日		
4	日			4	火	○教育相談研修会	
5	月			5	水		
6	火	始 業 式		6	木	○市教職員研究委員会 ○心障・教育方法・グループ	△学校訪問協議会 ○幼・小教育内容現代化 委員総会
7	水			7	金	○新任教諭学級経営研	○中・心障教育内容現代 化委員総会
8	木		□都市指導主事会	8	土		△都市指導主事会(分 室)
9	金			9	日		
10	土	△学校保健連絡協議会		10	月	○生活指導連絡協議会	○教育研究員総会
11	日			11	火	△定例校長会 ○定例園長会	△生活指導担当指導主 事世話人会
12	月			12	水	□市教委訪問B(三幼)	□一般訪問1
13	火	△定例校長会 ○定例園長会	△生活指導担当指導 主事連絡会	13	木	○教務主任会	△心障担当指導主事連 絡協議会
14	水			14	金	□市教委訪問A(二幼)	
15	木			15	土		
16	金	△定例教頭会		16	日		
17	土			17	月	□市教委訪問A(七小)	
18	日			18	火	○学校経営研修会	△2ブロック会(多摩)
19	月	○まどべ編集委員会 ○生活指導連絡協議会 ○音楽鑑賞教室運営委 員会		19	水	○市教研総会	□一般訪問2
20	火		△2ブロック会(日野) △指導主事連絡協議会 ○多摩指導主事連絡協 議会	20	木	□教務主任泊研	□区市指導主事宿泊研究会
21	水			21	金	△定例教頭会	
22	木	○教務主任会		22	土		□
23	金	○学校図書館研修会		23	日		
24	土		△都市指導主事会 (小金井)	24	月	□市教委訪問A(七生中)	
25	日			25	火	○実技研修会	□道徳教育助言者研究 協議会
26	月			26	水		□一般訪問B
27	火	○幼児教育研修会	□新任指導主事研修会	27	木	○心障教育研修会	△同和教育指導推進委員 会 △都市指導主事会 ○多摩生活指導世話人協議 会
28	水		□新任指導主事研修会	28	金	□市教委訪問B(二小)	
29	木			29	土	○教育相談ケース会議	
30	金	○同和教育研修会		30	日		
31	月			31	月	□市教委訪問B(六小) ○中学校生指協	

(6 月)

(7 月)

日	曜	市	都	日	曜	市	都
1	火	○学校経営研修会 ○教育相談研修会		1	木	□市教委訪問A (八小)	
2	水	□市教委訪問A (五幼)	□一般訪問 4	2	金	□市教委訪問A (一幼)	
3	木	□都指導訪問 (三幼)		3	土	△学校保健連絡協議会	
4	金	○生活指導連絡協議会	○道德教育助言者研究協議会	4	日		
5	土	△学校保健連絡協議会		5	月	○生活指導連絡協議会	
6	日			6	火	○事務職員研修会	△同和教育指導推進委員会 2
7	月	□市教委訪問A (三中)		7	水		□一般訪問 9
8	火	△定例校長会 ○定例園長会		8	木		△都市指導主事会 (国分寺)
9	水	□市教委訪問A (四幼)	□一般訪問 5	9	金		
10	木	□市教委訪問A (調布台小)	△都市指導主事会	10	土		
11	金	□市教委訪問A (五小)		11	日		
12	土			12	月	△定例校長会 ○定例園長会 ○中学生指協	
13	日			13	火	○教育相談研修会 ○新任教諭・学級経営研	△指導主事連絡協議会 2 ○心障担当指導主事連絡協議会
14	月	□市教委訪問A (滝合小)		14	水	○市教研	
15	火	○新任教諭・学級経営研修会	△2ブロック会 (稲城)	15	木	○学校経営研修会	
16	水	□都一般訪問 市教委訪問B (南平小)	□一般訪問 6	16	金	△定例教頭会 ○音楽鑑賞教室運営委員会 ②	
17	木	○教務主任会		17	土		
18	金	△定例教頭会 ○学習指導法研修会		18	日		
19	土			19	月		△2ブロック会 (町田)
20	日			20	火		
21	月	□市教委訪問A (一・中)		21	水	夏季休業	
22	火	□市教委訪問B (四中)		22	木	□科学センター宿泊研修	
23	水	□都一般訪問 市教委訪問B (六小)	□一般訪問 7	23	金	□ "	
24	木	□市教委訪問B (一・小)	○多摩生活指導研究協議会	24	土		
25	金	□市教委訪問A (淵徳小)		25	日		
26	土	○教育相談ケース会議	△都市指導主事会 (狛江)	26	月	□新任教諭宿泊研修	
27	日			27	火	□ "	
28	月	□市教委訪問A (平山小)		28	水		
29	火	○学校保健研修会 ○心障教育推進協議会	△生活指導担当指導主事連絡会	29	木		
30	水	□市教委訪問A (三小)	□一般訪問 8	30	金		
				31	土		

(8 月)

(9 月)

日 曜	市 都	日 曜	市 都
1 ㊥		1 水	第二学期始業
2 月	☐ 教育相談宿泊研修	2 木	○中学校水泳記録会
3 火	☐	3 金	○小学校水泳記録会
4 水		4 土	△学校保健連絡協議会
5 木		5 ㊥	
6 金		6 月	○音楽鑑賞教室運営委員会③ ○生活指導連絡協議会
7 土	△学校経営研修会	7 火	△定例校長会○定例園長会○教育相談研
8 ㊥		8 水	△学校訪問協議会2
9 月		9 木	○教務主任会 △都市指導主事(分室)
10 火	○定例校長会 △定例園長会	10 金	○実技研修会
11 水		11 土	
12 木		12 ㊥	
13 金		13 月	○学習指導法研修会
14 土		14 火	☐ 音楽鑑賞教室 △指導主事連絡協議会8 ○多摩指導主事連絡協議会2
15 ㊥		15 ㊤	
16 月		16 木	○幼児教育研修会 ○多摩生活指導研究協議会2
17 火		17 金	△定例教頭会 ☐ 市教委訪問B(七生中)
18 水		18 土	
19 木		19 ㊥	
20 金	△定例教頭会	20 月	○心障教育推進協議会 △生活指導担当指導主事連絡会3
21 土		21 火	△2ブロック会(八王子)
22 ㊥		22 水	☐ 都一般訪問 市教委訪問B(二幼) ☐ 一般訪問10
23 月	☐ 研究員御岳集会	23 ㊤	
24 火	☐ 中学生生活指導研究協議会	24 金	
25 水	☐ 同上2	25 土	△都市指導主事会(町田)
26 木		26 ㊥	
27 金		27 月	○中学校生指協 ☐ 新任指導主事研修会3
28 土		28 火	○実技研修会
29 ㊥		29 水	☐ 一般訪問11
30 月		30 木	○学習指導法研修会 ○新任教諭・学級経営研修
31 火			

(10月)

(11月)

日	曜	市	都	日	曜	市	都
1	金	都民の日		1	月	○生活指導連絡協議会	
2	土			2	火	○教育相談研修会	○生活指導主任世話人会
3	日			3	水		
4	月	○生活指導連絡協議会		4	木	○実技研修会 ○心障教育推進協議会	
5	火	△定例校長会○定例園長会○教育相談研修		5	金	□市教委訪問B(百草台小)	
6	水	□都一般訪問(五小) 市教委訪問B	□一般訪問12	6	土	△学校保健連絡協議会	
7	木	□市教委訪問A(一小)	△都市指導主事会(分室)	7	日		
8	金	○事務主事研修会		8	月	□市教委訪問B(滝合小)	
9	土	△学校保健連絡協議会		9	火	△定例校長会 ○定例園長会	
10	日	体育の日		10	水	□市教委訪問B(五幼) ○市教研	□一般訪問16
11	日	振替休日		11	木	○教務主任会	△都市指導主事会(分室)
12	火	○都指導訪問(四小) 市教委訪問B		12	金	□都指導訪問(四幼) 市教委訪問B	
13	水	○市教研	□一般訪問18	13	土		
14	木	○教務主任会	△指導主事連絡協議会 ○多摩指導主事連絡協議会	14	日		
15	金	△定例教頭会		15	月	□市教委訪問B(一中)	
16	土			16	火	○新任教諭・学級経営研修会	△2ブロック会(多摩)
17	日			17	水	□市教委訪問B(三小)	□一般訪問17
18	月	□市教委訪問A(四中)		18	木	□市教委訪問A(二小)	
19	火	○学校経営研修会	△2ブロック会(日野)	19	金	△定例教頭会	
20	水	○市教研体育実技研修	□一般訪問14	20	土		
21	木	□市教委訪問B(三中)		21	日		
22	金	□市教委訪問A(二中)		22	月	○中学校生指協	
23	土		△都市指導主事会(解島)	23	水		
24	日			24	水	□都一般訪問(平山小) 市教委訪問B	□一般訪問18
25	月	□生活指導主任泊泊研修	△同和教育指導推進委員会8	25	木	□市教委訪問B(間徳小)	
26	火	□	△生活指導担当指導主事世話人会2	26	金	○実技研修会	○多摩生活指導世話人協議会2 ○学力水準向上研究推進委員会4
27	水	□都一般訪問(高幡台小) 市教委訪問B	□一般訪問15	27	土		△都市指導主事会(東村山)
28	木	○学習指導法研修会	△心障担当指導主事連絡協議会3	28	日		
29	金	□市教委訪問B(一幼)		29	月	○学習指導研修会	
30	土	○教育相談ケース会議		30	火	○実技研修会	△生活指導担当指導主事連絡会4
31	日						

(12月)

(1月)

日	曜	市	都	日	曜	市	都
1	水	☐ 市教委訪問A(南平小)	☐ 一般訪問19	1	㊦		
2	木	○学習指導法研修会		2	㊦		
3	金	○心障教育推進協議会		3	月		
4	土	△学校保健連絡協議会		4	火		
5	㊦			5	水		
6	月	○生活指導連絡協議会		6	木		
7	火	△定例校長会 ○定例園長会 ○教育相談研		7	金		
8	水		☐ 一般訪問	8	土	第三学期始業	
9	木	○教務主任会	○都市指導主事会(国分寺)	9	㊦		
10	金	○新任教諭・学級経営研修会		10	月	○生活指導連絡協議会	○2ブロック会(八王子)
11	土	○教育相談ケース会議		11	火	△定例校長会 ○定例園長会 ○教育相談研	
12	㊦			12	水		
13	月	○学校経営研修会		13	木	△学校保健連絡協議会	△都市指導主事会(国分寺)
14	火	○同和教育研修会	△指導主事連絡協議会5	14	金	○心障教育研修会	
15	水			15	㊦		
16	木			16	㊦		
17	金	△定例教頭会		17	月	○新任教諭・学級指導研修会	
18	土		△都市指導主事会(府中)	18	火		△生活指導担当指導主事連絡会5
19	㊦			19	水	☐ 都一般訪問(七小) ☐ 市教委訪問B	☐ 一般訪問21
20	月	○中学校生指協		20	木	○教務主任会	△心障担当指導主事連絡協議会
21	火		△2ブロック会(稲城)	21	金	△定例教頭会	
22	水			22	土		△都市指導主事会(福生)
23	木			23	㊦		
24	金			24	月	☐ 市教委訪問B(八小)	
25	土			25	火	○実技研修会	△幼稚園担当指導主事連絡協議会2
26	㊦	冬季休業日		26	水	☐ 市教委訪問A(四小)	☐ 一般訪問22
27	月			27	木	☐ 市教委訪問A(三幼)	
28	火			28	金	☐ 都指導訪問(二中) ☐ 市教委訪問B	
29	水			29	土		
30	木			30	㊦		
31	金			31	月	○学習指導研修会	

(2 月)

(3 月)

日	曜	市	都	日	曜	市	都
1	火	○教育相談研修会		1	火	○教育相談研修会	○幼稚園教育内容現代化発表会
2	水	□市教委訪問A(六小)	□一般訪問 23	2	水		
3	木	○幼児教育研修会	△同和教育指導推進委員会5	3	木		△都市指導主事会(分室)
4	金	□市教委訪問A (百草台小)		4	金	○心障教育推進協議会	
5	土	△学校保健連絡協議会		5	土	△学校保健連絡協議会	
6	日			6	日		
7	月	○生活指導連絡協議会		7	月	○生活指導連絡協議会	
8	火	△定例校長会 ○定例園長会	△指導主事連絡協議会 6 ○多摩指導主事連絡会	8	火	△定例校長会 ○定例園長会	
9	水	○市教研発表会	□一般訪問 24	9	水		△生活指導担当指導主事連絡会 6
10	木		○都市指導主事会(八王子) ○心障現代化委員総会	10	木	○教務主任会	△2ブロック会(日野)
11	金			11	金	○新任教諭・学級経営研修会	
12	土			12	土		
13	日			13	日		
14	月	○実技研修会		14	月	○中学校生指協	△学校訪問協議会3
15	火	○新任教諭・学級経営研修会	△2ブロック会(町田)	15	火		△同和教育指導推進委員会 6
16	水			16	水		
17	木	○教務主任会		17	木		△都市指導主事会(小平)
18	金	○定例教頭会		18	金	△定例教頭会 △市立幼稚園卒園式	△指導主事連絡協議会7
19	土		△都市指導主事会(日野)	19	土	△市立中学校卒業式	
20	日			20	日		
21	月	○中学校生指協		21	月		
22	火		△生活指導担当指導主事世話人会 3	22	火		
23	水	□市教委訪問A(六幼)		23	水		
24	木			24	木		
25	金	○学習指導研修会		25	金	△市立小学校卒業式	
26	土	○教育相談ケース会議		26	土	春季休業	
27	日			27	日		
28	月			28	月		
				29	火		
				30	水		
				31	木		

日野市教育相談室

☆ 設置の趣旨

日野市内における幼児・児童・生徒（高校生も含む）を対象に，学校および家庭において主として学習意欲・能力，生活態度につき，保護者又は担任教諭が教育上望ましくない事実を見出した場合，相談に応ずることを設置の趣旨としている。

☆ 構 成

相 談 室 長 長 沢 三 郎 （日野市教育委員会学校教育課長）

教 育 相 談 員

落 合 茂 子（日野一小教諭）	市 川 恭 子（日野八小教諭）
石 原 八重子（日野二小 "）	永 谷 豊（日野二中 "）
橋 本 美代子（日野三小 "）	鈴 木 良 身（日野四中 "）
井 尻 武 子（日野五小 "）	平 向 邦 江（一 幼 "）
山 内 春 美（日野五小 "）	小柳津 芳 子（教育委員会）
広 沢 フサ子（日野六小 "）	

教育相談研修員

清 水 妙 子（日野一小教諭）	小 林 桂 子（滝 合 小教諭）
倉 林 紀 子（日野二小 "）	清 水 征 子（南 平 小 "）
川原田 和 子（潤 徳 "）	河 田 公 枝（七 生 中 "）
越 村 あや子（日野四小 "）	本 城 裕 彬（七 生 中 "）
野 村 菜穂子（日野五小 "）	田 中 佳 弘（日野四中 "）
針 田 和 子（日野五小 "）	小 川 陽 子（二 幼 "）
小 島 典 子（日野五小 "）	石 井 菊 代（二 幼 "）
中 沢 芙美子（平 山 小 "）	石 川 和 子（三 幼 "）
佐 藤 麻砂子（日野七小 "）	古 谷 みち子（三 幼 "）
馬 場 令 子（日野八小 "）	永 瀬 町 子（三 幼 "）
永 井 一 郎（百草台小 "）	小 林 茂 子（五 幼 "）

担 当 指 導 主 事 蓮 池 守 一

願 問 佐 藤 正 （東京学芸大学教授）
 石 島 徳太郎 （東京都八王子福祉園次長）

☆ 運 営

保護者の直接又は、保護者及び担任教諭による各校（幼・小・中）の学校教育相談係を通じての申込みにより毎週火、木（８月を除く）の２回・教育相談員が２名１組となって相談に応じている。（午後１時３０分より４時まで）申込みは無料で受付けている。

○ 場 所 A 教育委員会内教育相談室（遊戯室あり）

 B 中央公民館内小会議室

 C 日野市立第三幼稚園

○ 申込み先 日野市教育委員会学校教育課内日野市教育相談室

 （TEL ８１－３５１１ 内線３３１）

 教育相談事務担当 岩 波 淑 子 （月～土）

 小柳津 芳 子 （火・木・金）

○ 教育相談概況（昭５０.４１～５１.３.３１）

相談件数 １２２件

面接延回数 ６３９回

種 別	対 象 分 類	幼児	児童	生徒	計
1. 性格・行動 に関するもの	登園・登校拒否	1	2	5	8
	集団に入れない	1	7	0	8
	あそべない	4	3	0	7
	落ちつきがない	0	5	0	5
	わがまま・泣き虫	6	2	0	8
	いたずら・らんぼう	0	1	0	1
	ぬすみ・うそ	1	2	0	3
2. 精神・身体 に関するもの	夜 尿	2	0	0	2
	神 経 症	0	2	1	3
	言語障害	1	0	0	1
	緘 黙 症	0	0	1	1
	情緒障害	0	3	0	3
3. 知能・学業 （進路・適性） に関するもの	心障学級入級等	1	2	1	4
	就学・進学	4	4	1	9
	知恵おくれ	1	0	0	1
	学業不振	0	3	0	3
	学習・指導について	0	7	0	7
4. そ の 他	家庭・環境問題	2	4	0	6
計		24	47	9	80
就 学 児 精 密 検 査		14	0	0	14
就園・就学相談（心障児）		22	3	3	28
合 計		60	50	12	122

☆ 教育相談員の研修

教員相談員の資質と相談技術の向上のため、毎月第二火曜に研修会、事例研究会を交互に、第三土曜に事例協議会（顧問の先生が指導）を開いている。研修会には、日野市公立学校教職員なら誰でも参加してさしつかえないことになっている。

☆ 心障学級との関係

日野第三小学校、平山小学校、日野第一中学校、日野第一小学校、七生中学校、日野第五小学校、に併設されている心障学級へ、児童・生徒の入級希望があった場合、教育相談室においては、入級判別のための知能テストを行なっている。面接及び検査の結果は入級判別の資料として日野市心障学級入級選考委員会において扱い、判別会議を行なった上で入級を決めている。

日野市中心身障害教育推進協議会

☆ 目 的

すべての心身障害児に適切な教育を保障するために必要な教育措置のあり方，教育条件の整備，指導の内容，方法について検討し，日野市の心身障害教育の伸展充実に資する。

☆ 事業の内容

この会の目的を達成するため，次の事業を行なう。事務局を協議会会長校におく。

- 1) 心身障害教育を適正に行なうための事業計画と実施方法の策定
- 2) 心身障害教育の実施成果の検討
- 3) そ の 他

☆ 組 織

- 1) この会には次に掲げる者を委員とする。

日野市教育委員会 教育長・学校教育課長・担当指導主事・指導係長

日野市立心障学級設置校長・心障学級担任

日野市立幼小中学校（園） 各校1名の教員

日野市教育相談室専任相談員・顧問医

- 2) この会には次の専門部をおき，下記の活動をおこなう。

ア) 研 究 部 …… 日野市立幼小中学校の実態に即した心身障害教育のあり方を研究する。

イ) 研 修 部 …… 心身障害教育に関する教職員の研修と，市民への啓蒙

ウ) 相 談 部 …… 心身障害児童・生徒の就学相談，指導のあり方を研究する。

エ) 担 任 部 …… 心障学級担任相互の交流を通して心身障害教育の質的向上をめざす。

昭和51年度 組織表

教 委	教育長 倉又 秀作	学校教育課長 長沢 三郎	同係長 平 敏男
会 長	平 松 健太郎	副会長 東 恭 朝	
会 計	野 村 菜穂子		
事務局	大熊 喜一 小林 節夫 麻生 文雄	御子柴昭次 松日榮敬治	
研 究 部	部 長 大 熊 喜 一		
	部 員 吉 岡 孝二郎	今 野 すみ子	御子柴 昭 治 三 浦 勝 也
	溝呂木 桂 次	勝 俣 友 子	中 村 由美子 辻 和 代
	信 夫 頼 子	森 田 隆 子	長 浜 和 子 斉 藤 美津子

研修部	部長	小林節夫					
	部員	深沢真人	榎沢日出子	大鳥ルミ子	三浦晴代		
		古川明子	西山伸	森田寿子	北野義昭		
		足立光江	上野森良	古谷孝太	野村菜穂子		
相談部	部長	松日楽敬治					
	部員	三井知夫	中沢芙美子	紺屋富夫	小笠原本江		
		清水征子	笠井素子	平向邦子	鶴田幸夫		
		金井信房	麻生文雄	清水征子			
担任部		足立光江・金井信房・麻生文雄・古川明子・大鳥ルミ子					
		森田寿子・御子柴昭次・中村由美子・森田隆子・西山伸					
		野村菜穂子・中沢芙美子・三浦晴代・笠井素子・鶴田幸夫					
		榎沢日出子・					

顧問 東京学芸大学教授 佐藤 正 都立八王子福祉園次長 石島徳太郎
日野市教育委員会指導主事 蓮池 守一 前田 徹
日野市教育相談室 小柳津芳子

日野市小学校科学教育センター

1 名称・所在

日野市小学校科学教育センターと称し，昭和 51 年度は，北部センターを日野第三小学校に，南部センターを百草台小学校の校内に設置する。

2 設立の趣旨

日野市公立小学校における科学教育の振興をはかるために設置し，日野市の教員の理科指導の充実・向上のための研修と児童の科学的態度・能力・技術の向上に役立つ諸事業を行う。

3 センター長・センター次長・指導員

	南部 センター（百草台小）	北部 センター（日野三小）
センター 長	田 中 春 男（百草台小）	平 松 健太郎（三 小）
センター次長	松日楽 敬 治（ " ）	多 昌 直 之（ " ）
センター主任	千 台 健 治（ " ）	福 地 保（ " ）
指 導 員 1	永 井 一 郎（ " ）	片 野 茂 夫（一 小）
" 2	三 浦 勝 也（ " ）	倉 石 桂（二 小）
" 3	中 川 和 代（ " ）	佐 藤 民 男（三 小）
" 4	鈴 木 淳 子（ " ）	梅 原 秀 明（ " ）
" 5	若 月 美登里（ " ）	宇留野 勝 幸（ " ）
" 6	油 井 朝 子（ " ）	岡 田 光 生（五 小）
" 7	愛 甲 秀 人（滝合小）	高 田 真 澄（ " ）
" 8	吉 川 郁 子（平山小）	林 克 己（六 小）
" 9	森 清 晃（南平小）	鹿島田 恭 江（ " ）
" 10	当 間 糸 子（ " ）	成 井 朝 雄（七 小）
" 11	池 田 康 雄（八 小）	栄 久 子（ " ）
" 12	佐 野 静 江（四 小）	赤 池 正 人（三 小）
" 13	川 上 卓 一（高幡台小）	山 田 一 夫（ " ）
" 14	佐久間 久美子（ " ）	浜 野 美 広（ " ）
" 15		西 川 征 矢（ " ）
" 16		藤 本 憲 康（ " ）
" 17		篠 原 正 人（ " ）
" 18		井 上 明 子（ " ）
" 19		川原田 和 子（ " ）

4 センター員

校 名	北 部 セ ン タ ー							南 部 セ ン タ ー								合 計	
	一 小	二 小	三 小	五 小	六 小	七 小	小 計	滝 合 小	潤 徳 小	平 山 小	四 小	八 小	百 草 台	高 幡 台	南 平 小		小 計
男	3	4	3	5	4	2	21	2	6	0	4	2	2	3	3	22	43
女	3	2	6	1	3	1	16	3	1	3	2	4	3	3	3	22	38
計	6	6	9	6	7	3	37	5	7	3	6	6	5	6	6	44	81

5 年間指導計画

回数	南 部 セ ン タ ー				北 部 セ ン タ ー			
	月 日	指 導 内 容	指 導 員		月 日	指 導 内 容	指 導 員	
1	5.22	開講式・打合せ	全 員		5.29	開講式・打合せ	全 員	
2 3	6. 5 12	細 か く 見 る	永井・佐野・鈴木		6. 5 19	測 定 す る	片野・赤池 宇留野・山田	
4 5	6.19 26	分 類 す る	川上・千台・若月		6.29 7. 3	細 か く 見 る	林 ・ 浜野 鹿島田・西川	
6 7	7. 3 9.11	自 由 研 究	永井・千台・鈴木 川上・佐野		7.10 17	分 類 す る	成井・栄・藤本	
8 9	9.18 25	測 定 す る	佐久間・池田 若月		9.11 18	自 由 研 究	片野・成井・林 宇留野・栄・篠原 鹿島田・山田	
10 11	10.16 23	条件を統一する	吉川・松日榮・油井		9.25 10.16	標 本 を 作 る	佐藤・浜野 福地・藤本	
12 13	10.30 11. 6	推 論 す る	森 ・ 中川 当間・油井		10.23 30	条件を統一する	岡田・西川 高田・井上	
14 15	11.13 20	自 由 研 究	佐久間・松日榮 池田 ・ 吉川 森 ・ 当間		11. 6 13	推 論 す る	梅原・赤池 倉石・川原田	
16 17	12. 4 11	原 稿 作 成 修 正 提 出	千台・永井 愛甲・森 三浦		11.20 27	自 由 研 究	佐藤・岡田・梅原 福地・高田・倉石 西川・篠原	
18 19	1.22	標 本 を 作 る	愛甲・佐野・三浦		12. 4 11	原 稿 修 正 選 択 提 出	全 員	
20	2. 5	閉講式・発表	全 員		2.12	閉講式・発表	全 員	

6 連絡協議会

委員	南部センター長	田 中 春 男	日野市立百草台小学校長	T E L (9 1)
	〃 次長	松日楽 敬 治	〃 教 頭	0 9 9 7
	〃 主任	干 台 健 司	〃 教 諭	0 9 9 8
	北部センター長	平 松 健太郎	日野市立日野第三小学校長	(8 1)
	〃 次長	多 昌 直 之	〃 教 頭	0 1 0 1
	〃 主任	福 地 保	〃 教 諭	0 8 5 0
顧問	日野市教育委員会学校教育課長	長 沢 三 郎		
	指導主事	前 田 徹		

使用教科書

1. 小学校

国語科	「小学校国語」(学校図書)
	「小学校書きかた」(学校図書)
社会科	「新訂 新しい社会」(東京書籍)
	「小学校社会科地図帳」(帝国書院)
算数科	「改訂 標準算数」(教育出版)
理科	「改訂 新しい理科」(東京書籍)
音楽科	「改訂 新版 小学校の音楽」(音楽の友社)
図画工作科	「図画工作」(開隆堂)
家庭科	「小学校家庭科」(開隆堂)

2. 中学校

国語科	「中学校現代の国語」(三省堂)
	「中学習字」(教育出版)
社会科	「中学生の社会科 地理的分野」(中教出版)
	「中学社会 日本の歴史と世界」(日本書籍)
	「新しい社会 公民的分野」(東京書籍)
	「社会科中学生の地図」(日本書院)
数学科	「中学校数学」(学校図書)
理科	「改訂理科」(啓林館)
音楽科	「中学生の音楽」(教育芸術)
	「新版標準中学生の器楽」(教育出版)
美術科	「美術」(日文)
保健体育科	「中学校保健体育」(学研)
技術家庭科	「技術・家庭 男子用」(実教)
	「技術・家庭 女子用」(実教)
外国語科	「Everyday English」(中教)

昭和51年度 指導主事分担一覧

日野市教育委員会

指導主事 蓮池 守一

指導主事 前田 徹

1 校種別分担

○幼稚園教育……蓮池 ○小学校教育……蓮池 ○中学校教育……前田

2 教科・領域別分担

○国語(含書写)……蓮池	○社会……蓮池	○算数・数学……前田
○理科……前田	○音楽……蓮池	○図工・美術……蓮池
○体育・保健体育……前田	○家庭・技術家庭……前田	○外国語(英)……前田
○道徳……蓮池	○生活指導……前田	○特別活動……前田
○学校行事等……前田	○学校経営……前田	○教育相談……蓮池
○心障教育……蓮池	○視聴覚教育……前田	○図書館教育……蓮池
○学校給食……前田	○保健教育……前田	○安全教育……前田
○同和教育……蓮池	○公害教育……前田	○進路指導……前田
○幼児教育……蓮池	○学校事務……前田	

3 施設・行事等分担

○教育相談室……蓮池	○心障学級……蓮池	○科学センター……前田
○教科書センター……前田	○文化行事……蓮池	○体育行事……前田
○修学旅行……前田	○移動教室……蓮池	

4 指導事務分担

○指導部・都研……蓮池	○研究員、現代化委…蓮池	○教育課程届出……前田
○研究集録……前田	○学校訪問……蓮池	○教材届出承認……前田
○遠足修学旅行届出…前田	○調査資料収集……前田	○指導要領……蓮池・前田
○まどべ編集…蓮池・前田 発行	○月行事予定……前田	○教育実習……蓮池
○授業研究校…蓮池・前田	○教職員研究委託……前田	○都・研究奨励……蓮池

5 渉外分担

○校長会…蓮池・前田	○教頭会…蓮池・前田	○教務主任会…蓮池・前田
○生活指導…前田・蓮池 連絡協	○教育方法…前田・蓮池 研究委	○日野市教研…蓮池・前田

- 都市指導主事会…蓮池・前田
- 第2地区指導主事会…蓮池・前田

6 研修等分担

- 学校経営研…蓮池・前田
- 学習指導研…蓮池・前田
- 幼児教育研…蓮池・前田
- 学校図書館研…蓮池・前田
- 小三社会科スライド作成委…蓮池・前田
- 新任教諭兼学級経営研…前田・蓮池
- 実技研…前田・蓮池
- 同和教育研…蓮池・前田
- 学校保健研…前田・蓮池
- 社会科副読本改訂研…蓮池・前田
- 教育相談研…蓮池・前田
- 心障教育研…蓮池・前田
- 事務職員研…前田・蓮池

日野市教育委員会事務局組織

教育委員会		
委員長	森久保	敏治
職務代理	池尾	テル子
委員	高木	昂
委員	山下	羊平
委員	倉又	秀作

教育長
倉又 秀作

庶務課長
永瀬 誠一

庶務係長

神尾 傑

傑

1. 教育委員会に関する事。
2. 公印、職員の管守に関する事。
3. 条例、規則等の制定、改廃に関する事。
4. 訴訟、和解、異議の申立及び請願に関する事。
5. 表彰及び儀式に関する事。
6. 関係機関との連絡調整に関する事。
7. 教育委員会所管職員の任免その他人事に関する事。
8. 教育委員会所管職員の給与に関する事。
9. 教育委員会所管職員の研修、服務、福利、厚生に関する事。
10. 文書の受発、保管に関する事。
11. 公文書の浄書、校合に関する事。
12. 公告、示達に関する事。
13. 歳入、歳出、予算及び経理に関する事。
14. 広報に関する事。
15. 備品、消耗品の調達に関する事。
16. 事務局内取締りに関する事。
17. 奨学資金に関する事。
18. 他課、係に属さない事。

施設係長

吉川 重徳

1. 教育施設の管轄、保全の計画及びその実施に関する事。
2. 教育財産（施設を含むもの）の管理に関する事。
3. 教育施設の目的外使用に関する事。
4. 教育施設に関する研究調査及び統計に関する事。
5. 教育関係起債補助の計画及び申請に関する事。

学校教育課長
長 沢 三 郎

学務係長

谷 正 幸

幸

1. 学校の設置、廃止及び管理運営に関する事。
2. 学級の編成、割当に関する事。
3. 小中学校の通学区域の設定、廃止に関する事。
4. 園児の入園、転園及び退園に関する事。
5. 児童・生徒の就学、転学及び退学に関する事。
6. 幼児・児童・生徒の安全に関する事。
7. 移動教室等に関する事。
8. 育英会その他就学奨励に関する事。
9. 教材教具の整備に関する事。
10. 学校教育関係補助金に関する事。
11. 学令簿の調整、整理、保管に関する事。
12. 学校教育係の調査統計に関する事。
13. その他、他の係に属さない事。

教職員係長

平 敏 夫

夫

1. 校長及び教職員（以下「学校教職員」という）の任免、服務、分限、昇給、昇格等の内申事務人事調査、その他人事に関する事。
2. 学校教職員の給与、恩給、退職手当、公務災害補償に関する事。
3. 学校教職員の職員団体に関する事。
4. 学校教職員の福利、厚生に関する事。
5. 執行委員による都費の経理に関する事。
6. 学校教職員の共済事業に関する事。

指導係長

平 敏 夫

夫

1. 教育課程の整備、改善の指導に関する事。
2. 学習指導、生活指導に関する事。
3. 教科用図書の採択、教材の取扱いに関する事。
4. 校長、教員の研修に関する事。
5. 学校教育に関する専務的事項の指導と指導相談に関する事。
6. 教育相談に関する事。（含、障害教育）

社会教育課長
柳 下 章

社会教育係長

中 里 正 市

市

1. 社会教育の総合計画に関する事。
2. 社会教育委員、青少年委員、文化財専門委員、青少年問題協議会に関する事。
3. 芸術、文化、芸能に関する事。
4. 各種学級、講座の開設、運営に関する事。
5. 文化材（古文書を除く）の調査及び保護に関する事。
6. 文化団体の助成に関する事。
7. 課内の庶務に関する事。

家庭教育係長（兼）

中 里 正 市

市

1. 家庭教育の総合企画及び立案に関する事。
2. 家庭教育学級、講座、通信、相談に関する事。
3. 社会教育指導者の養成、充実に関する事。
4. PTAに関する事。
5. その他家庭教育に関する事。

体育課長
日 野 義 人

保健給食係長

土 方 留 春

春

1. 学校教職員、児童、生徒及び園児の保健管理に関する事。
2. 学校の環境衛生に関する事。
3. 学校安全会に関する事。
4. 学校給食に関する事。
5. 課内の庶務に関する事。

体育係長

比留間 義 武

武

1. 体育施設の計画、調査に関する事。
2. 体育（スポーツを含む）及びレクリエーションの計画実施、奨励、助成に関する事。
3. 体育指導委員に関する事。
4. 学校開放（体育施設に限る）に関する事。
5. 体育及びレクリエーション団体の助成に関する事。
6. 体育及びレクリエーション指導者の養成に関する事。
7. 市民総合グラウンド及び市民プールの管理運営に関する事。

市立図書館長

砂 川 雄 一

（兼）奉仕係長

業務係長

庶務整理係長

斎 藤 隆 夫

田 中 一 男

（指導主事の事務分担は本文中に示す）

日野市立小・中学校主任（代表）一覧表

51年4月

担当 学 校	第 一 小	第 二 小	第 三 小	第 四 小	第 五 小	第 六 小	潤 徳 小	平 山 小	第 七 小
教 務	上 山 洋一郎	松 井 慶 吾	井 上 保	高 倉 教 行	中 川 金 作	曾 我 哲 夫	小 竹 章	和 田 文 雄	小板橋 五佐男
生 活 指 導	佐々木 玄 吾	田 村 和 樹	藤 本 憲 康	上 野 森 良	生 田 彰	野 口 昭 平	椿 坂 俊 夫	大 上 琢 磨	田 森 諦 詮
研究または研修	古 屋 光 男	石 岡 信 行	森 甫		中 村 大	広 沢 フサ子	古 谷 孝 太	岩 井 豊 子	小板橋 五佐男
人権尊重の教育	上 山 洋一郎	高 橋 立 身	井 上 保	遠 藤 綾	大 竹 三 郎	曾 我 哲 夫	小 竹 章	和 田 文 雄	小板橋 五佐男
国 語	久保田 由 子	石 岡 信 行	関 根 敦 子	佐々木 茂 登	大 竹 三 郎	秋 永 悦 郎	小 山 節 子	溝 江 恵美子	田 森 諦 詮
社 会	斎 木 昭 朗	高 橋 立 身	蔵 元 幸 二	色 川 和 代	前 川 せ っ	長 田 正 夫	石 川 茂 子	佐々木 実 幸	小 室 恒
算 数 ・ 数 学	野 口 すみ子	松 井 慶 吾	林 和 子	小 山 富 子	伊 山 節 雄	老 沼 義 晴	川原田 和 子	会 田 尚 子	加 藤 美知子
理 科	古 屋 光 男	倉 石 桂	佐 藤 民 男	佐 野 静 江	岡 田 充 生	鹿島田 荻 江	松 田 英 明	吉 川 郁 子	上 田 憲 二
音 楽	宮 岡 和 恵	大 場 と み	森 甫	村 田 那智子	厚 坊 ヒデ子	嶋 真理子	内 山 美知子	立 花 せつ子	池 田 宏 子
図 工 ・ 美 術	酒 井 栄 一	鶴 田 久美子	岩 永 ヒ ラ	渡 辺 芳 郎	戸 塚 春 男	岸 本 和 子	小 口 清 一	藤 田 富治郎	河 合 香 子
体育・保健体育	増 田 実	佐々木 正 典	藤 本 憲 康	堀 内 弘	伊 山 節 雄	山 添 邦 男	中 野 弥 生	信 夫 清 彦	嶋 貫 博
技術家庭（男）									
家庭・技術家庭（女）	奈 良 悦 子	峰 岸 サ ヨ	天 野 正 枝	日下部 芳 子	永 原 節	清 水 しずか	石 川 成 子	藤 岡 和 子	栄 久 子
外 国 語 （ 英 ）									
道 徳	上 山 洋一郎	石 原 八重子	山 口 和 子	佐々木 茂 登	内 藤 まつ代	広 沢 フサ子	古 谷 孝 太	大 上 琢 磨	小板橋 五佐男
特 別 活 動	小笠原 久 雄	峰 岸 サ ヨ	赤 池 正 人	板 谷 敏	中 川 金 作	越 村 清 治	加 藤 タ イ	溝 江 恵美子	上 田 憲 二
学 校 行 事	上 山 洋一郎	松 井 慶 吾	井 上 保	杉 本 瑛 之	生 田 彰	清 水 辰 己	小 竹 章	和 田 文 雄	小板橋 五佐男
学 校 教 育 相 談	野 口 すみ子	石 原 八重子	梅 原 秀 明	斉 藤 弥 生	前 川 せ っ	野 口 昭 平	古 谷 孝 太	中 沢 芙美子	加 藤 美知子
進 路 指 導									
視聴覚または教育機器	片 野 茂 夫	高 島 和 子	浜 野 美 広	色 川 和 代	白 石 俊 二	清 水 しずか	川 井 矩 子	川 上 昇 一	小 室 恒
学 校 図 書 館	守 屋 ふ み	高 島 和 子	高 野 ちひろ	飯 田 竹	西 川 朝 子	今 野 すみ子	後 藤 楚 子	佐々木 実 幸	堀 内 美恵子
給 食	奈 良 悦 子	塚 本 喜美子	橋 本 美代子	日下部 芳 子	武 内 千尋子	草 刈 喜 一	伊 藤 清 子	赤 松 紀 子	斉 藤 イ ク
安 全 教 育	辻 田 静 江	田 村 利 樹	市 川 純 子	渡 辺 芳 郎	藤 本 大 策	山 崎 充 子	茅 野 とめ子	川 上 昇 一	田 森 諦 詮
保 健	清 雲 よ志子	川 崎 照 子	伊 佐 弘 江	古 越 富 子	井 尻 武 子	斉 藤 八重子	松 井 玉 江	信 夫 清 彦	舞 田 章 子
養 護	清 水 妙 子	倉 林 紀 子	伊 佐 弘 江	古 越 富 子	小 島 典 子	上 山 美智子	松 井 玉 江	小 林 ふと子	佐 藤 麻砂子
管 材	石 井 三 士	倉 石 桂	石 川 聖 子	渡 辺 芳 郎	川 崎 浩	伊 東 淳 司	渡 辺 みち子	田 中 義 之	成 井 朝 雄
事 務	上 田 博 文	伊 藤 功	石 川 聖 子	大 淵 隆 夫	川 崎 浩	伊 東 淳 司	橋 田 晟	田 中 義 之	吉 村 達 也

担 当 学 校	第 八 小	百草台小	滝 合 小	高幡台小	南 平 小	第 一 中	第 二 中	七 生 中	第 三 中	第 四 中
教 務	飯 田 幸 次	三 浦 勝 也	伊 藤 恵 造	末 継 逸 夫	進 真 郎	長谷川 忠 男	井 田 武	明 石 敏 春	遠 藤 仁	高 木 宏 文
生 活 指 導	佐 藤 章 吾	荻 沢 モト子	岩 尾 照 夫	河原田 桂 子	藤 田 孝 彦	立 川 泰 司	稲 川 正 義	山 辺 文 男	大 塚 長 栄	鈴 木 良 身
研 究 又 は 研 修	市 川 恭 子	永 井 三 郎	山 口 武 彦	佐久間 久美子	坂 井 和 子	山 賀 典 雄	武 藤 光 哉	釣 晃 敏	綿 引 正 己	富 士 堯
人 権 尊 重 教 育	佐 藤 章 吾	荻 沢 モト子	清 水 輝 夫	末 継 逸 夫	藤 田 孝 彦	市 塚 正 史	伊 東 道 雄	釣 晃 敏	綿 引 正 己	丸 山 尙 夫
国 語	西 田 陽	若 月 美登里	宮 川 征三郎	増 田 静 香	前 川 花 子	森 田 与一郎	井 田 武	大 石 文 秋	五十嵐 公 恵	田 中 栄 一
社 会	水 谷 辰 夫	油 井 朝 子	山 口 武 彦	青 柳 佳 子	宇 土 悦 子	天 野 義 雄	森 紀 子	佐 藤 栄	富 山 謙 一	六 本 木 茂
算 数 ・ 数 学	渡 辺 和 子	田 中 鈴 子	小田切 みさき	土 方 邦 男	河 村 令 子	岡 田 文 彦	古 莊 斗糸子	明 石 敏 春	高見沢 文 男	丸 山 尙 夫
理 科	池 田 康 雄	千 台 健 治	村 越 正	江 口 耕 一	森 清 晃	立 川 泰 司	福 地 和 子	成 舞 京 子	塩 野 邦 夫	工 藤 満 春
音 楽	北 原 恒 雄	飯 島 睦 子	岡 田 あつ子	河原田 桂 子	村 上 悦 子	青 木 保	佐 藤 光 子	大 宅 寛	安 治 道 夫	大 野 滯 子
図 工 ・ 美 術	高 山 晴 子	佐 藤 カズ子	鳥 飼 政 喜	辻 田 六 郎	加 納 博 元	逸 見 敏	北 野 義 昭	中 村 剛 紀	小 林 節 夫	小 畑 亮
体 育 ・ 保 体	間 瀬 静 夫	佐 藤 昭 彦	井 上 善 夫	佐 藤 慎 一	佐々木 守 夫	阿 藤 貞 夫	柳 井 佐和子	伊 藤 秀 則	加 藤 常 光	伊 藤 誠
技 術 家 庭 (男)						山 賀 典 雄	飯 島 利 三	志 村 嘉 信	加 島 俊 博	鈴 木 良 身
家 庭 ・ 技 術 家 庭 (女)	林 道 子	幸 野 嘉 子	萩 原 章 子	佐久間 久美子	塚 本 純 子	筒 井 ハ ル	西 村 敦 子	河 田 公 枝	佐 藤 寿 枝	萩 原 典 子
外 国 語 (英)						黒 木 利 武	広 瀬 昭	内 藤 由紀子	鍛 治 真 理	木 村 守
道 徳	平 山 毅	三 浦 勝 也	鈴 木 ナヲ	小 口 澄 代	藤 田 孝 彦	天 野 義 雄	石 田 洋 子	成 舞 京 子	長 島 寿 平	富 士 堯
特 別 活 動	比 企 通 男	佐 藤 昭 彦	川 井 龍 介	川 上 卓 一	坂 本 富 子	設 楽 益 穂	和 田 琢 子	中 村 剛 紀		設 楽 悦 代
学 校 行 事	内 藤 康	三 浦 勝 也	伊 藤 恵 造	安 西 利 江	進 真 郎	長谷川 忠 雄	井 田 武	明 石 敏 春		高 木 宏 文
学 校 教 育 相 談	中 川 元 美	永 井 一 郎	赤 松 昭 子	中 村 笙 子	清 水 征 子	立 川 泰 司	永 谷 豊	山 辺 文 男	大 塚 長 栄	鈴 木 良 身
進 路 指 導						山 浦 宏	武 藤 光 哉	阿 部 晃 一		相 原 美智子
視 聴 覚 ・ 教 育 機 器	長 田 裕 子	千 台 健 治	橋 本 清	山 口 重 雄	和 田 いさを	大 山 正 昭	飯 島 利 三	大 宅 寛		工 藤 満 春
学 校 図 書 館	橋 本 允 子	佐 藤 カズ子	西 田 敦 子	赤 井 光 子	当 間 糸 子	大 貫 米 子	内 田 耕一郎	阿 部 晃 一	東 郷 隆 盛	田 中 栄 一
給 食	川 田 浩 子	山 浦 幸 子	萩 原 章 子	須 藤 貞 雄	高 橋 昭 子	渡 辺 礼 子	筆 吉 則 子	木 下 満 子		藤 倉 満里子
安 全 教 育	平 山 毅	菊 池 悦 子		川 上 卓 一	藤 田 孝 彦	宇津木 十四男	秦 好 一	山 辺 文 男		伊 藤 誠
保 健	石 川 耀 子	佐々木 加津子		辻 田 六 郎	佐々木 守 夫	小 谷 澄 江	柳 井 佐和子	大 塚 和 子		長 峯 幸 子
養 護	佐 藤 ヒサ子	佐々木 加津子	田 島 佳 子	細 井 聖 子	土 屋 良 子	小 谷 澄 江	須 藤 節 子	大 塚 和 子	伊 佐 節 子	長 峯 幸 子
管 材	郷 原 敦	石 川 一 政		鈴 木 弘 子	加 納 博 元	古 塚 淳 子	佐 藤 博 助	吉 岡 興 村		大 野 馨
事 務	郷 原 敦	石 川 一 政		石 田 義 一	田 辺 正 志	黒 木 利 武	佐 藤 博 助	吉 岡 興 村		大 野 馨



園 名 日野市立第一幼稚園

所 在 地 日野市多摩平 4-3

電 話 0425-81-4105

順 路 豊田駅より北へ約10分

園長氏名 江 角 正 子

主任氏名 平 向 邦 江

1. 沿革の概要

昭40.4.1 日野市立第一幼稚園として設置さる。学級7,定員280名職員教諭8名,用務員1名。園敷地2700 m^2 ,園舎777 m^2 プレハブ1棟。

昭40.4.10 開園 園児280名

5.25 創立記念日とす

5.30 園章制定

昭41.3.19 第一回修了児 119名

昭42.12.20 鳥小屋完成

昭43.9.6 プール第一次計画完成
(中庭)

昭43.12.20 ホール増築完成

昭44.2.10 プール第二次計画完成
(プールサイド,シャワー)

昭45.6.1 プレハブ園舎,ベランダ増設
工事完成

昭45.7.15 運動場拡張完成

昭45.7.15 園塀ブロック金網塀に改装完成

昭48.2.5 本館下水工事完成

昭48.3.14 東京都交通安全教育実験学校
研究発表会(第一年次)

昭48.10.23 東京都交通安全教育実験学校
研究発表会(第二年次)

昭50.3.10 10周年記念研究発表会開催
園歌制定

昭50.12.25 園舎増築完成
保育室8,プレイコーナー,図
書コーナー各1,保健室1,
資料室1,屋上,トイレ

2. 歴代園長

氏 名 年 月 ~ 年 月

江 角 正 子 昭40.4.1~現在

3. 地域の環境

市の一大集団住宅地域である多摩平団地および周辺住宅の中心にある。近くには公園もあり,比較的閑静な環境にあったが,甲州街道と平行してそのバイパス的役割をなす道路に面しているため近年は交通量も多くなり危険になってきた。

4. 教育目標

- (1) 明るく元気にがんばることも。
- (2) よく見,よく聞き,よく考えることも。
- (3) やさしい心をもつことも。

5. 本年度指導の重点

教育目標の具現化を図るために学級経営を充実させる。

- (1) 園をとりまく家庭や地域社会の理解を深め幼児の実態に即した教育を推進する。
- (2) 幼児に与える経験や活動を精選しその的確な組織配列化につとめる。
- (3) 幼児に情操豊かな人間性を培うための伝承文化のはあく精選を行う。

6. 幼 児 数

	5 才	計
学 級 数	7	7
男	122	122
女	135	135
計	257	257

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教材	そ の 他
1	江 角 正 子	56	園 長	昭40. 4. 1	経 営	
2	平 向 邦 江	33	主 任	昭40. 4. 1	健 康	教務 庶務 会計
3	田 中 洋 子	27	二年年長	昭47. 4. 1	音 楽	管 理
4	高 橋 悦 子	25	一年保育	昭49. 4. 1	自 然	園内研究
5	倉 林 利 衣	25	一年保育	昭49. 4. 1	言 語	家庭連絡
6	村 木 順 子	24	一年保育	昭48. 4. 1	社 会	行 事
7	会 田 美津子	24	一年保育	昭48. 4. 1	社 会	管 理
8	久 嶋 明 子	24	一年保育	昭51. 4. 1	絵画製作	行 事
9	近 間 典 子	23	一年保育	昭51. 4. 1	自 然	園内研究

8. 本校研究主題の推移

昭和41年度	図書コーナーの利用(1)
昭和42年度	図書コーナーを利用して(2)
昭和43年度	丈夫なからだ(体力づくり)
昭和44年度	「意欲的によく遊べる子」 (1) ひとりひとりの幼児の理解を中心に (2) 指導過程における指導の方法を中心に
昭和45年度	44年度研究「意欲的に遊べる子」について継続研究
昭和46年度	教育過程と指導計画の実践にもとづいた再編成
昭和47年度	母と子のための交通安全教育 ～教育機器を活用して～
昭和48年度	母と子のための交通安全教育 ～指導計画の作成～
昭和49年度	幼児と地域の実態を生かした教育過程の編成
昭和50年度	教育過程にもとづいた望ましい経験や活動の選択

9. 本校の特色

心身ともに健康な幼児の育成と幼児の幸せを願い、教師、父母が協力して内容の充実深化に力を入れ努力している。

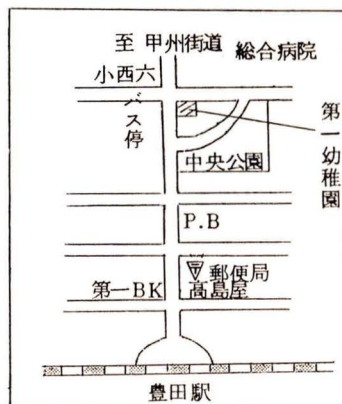
10. 都教育研究員、研究生出身歴

昭和49年度 研究員 平 向 邦 江

11. 園に至るまでの地図

11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%
1. 会 社 員	199	77
2. 公 務 員	33	13
3. 医 師	2	1
4. 農 業	0	0
5. 自 営 業	18	7
6. そ の 他	5	2





園 名 日野市立第二幼稚園

所 在 地 日野市平山4-8-4

電 話 0425-91-4125

順 路 京王線平山城址公園下車徒歩10分

園長氏名 深 沢 真 人

主任氏名 樋 山 欣 子

1. 沿革の概要

- 昭40. 4. 1 日野市立第二幼稚園として
平山小学校内に設置。
園児 131名
- 昭40. 5.10 開校記念日と定める。
- 昭40. 5.30 園章制定
- 昭41. 2.23 放送施設完成
- 昭46. 3.10 日野市研究協力園として研
究発表を行なう。
- 昭46. 3.10 第二幼稚園の歌制定
- 昭47. 3.15 雨天時の泥粘土コーナー完
成
- 昭47. 6.15 園舎園堀完成
- 昭48. 2.21 東京都交通安全教育推進学
校研究発表会（第一年次）
- 昭49.10.22 東京都交通安全教育推進学
校研究発表会本発表

2. 歴代園長氏名

氏 名 年月 ～ 年月

後 藤 正 太 昭40.4～昭42.3

安 積 利 治 昭42.4～昭47.3

小 野 晃 昭47.4～昭51.3

深 沢 真 人 昭51.4～

3. 地域の環境

市の南西部にあり、南に多摩丘陵がづらなり、自然に恵まれ景観のよい環境である。近年は宅地や住宅団地造成により住宅地と化し、都内に勤務する人の子弟が多くなっている。

4. 教育目標

- (1) 明るく ゆたかな心の子ども
- (2) つよいからだで 元気な子ども
- (3) なかよくみんなで遊べる子ども

5. 本年度の指導の重点

- (1) 野外活動に重点をおき、特に体力づくり
情操面の育成に力を注ぐ。
- (2) 野外活動をととし、特に一年保育児の遊
びの発展経過を観察記録し、正しい集団生
活に必要な自主性、協調性を養う。
- (3) 交通安全教育と対策
父母の協力のもと活発に行ない、地域の
交通安全の向上につとめたい。

6. 幼 児 数

学 年	5 才 児
学 級 数	3
男 児	53名
女 児	51名
計	104名

7. 教 職 員

番 号	氏 名	年 令	担 任	本 校 就 任 年 月 日	研 究 教 科
1	深沢 真人	52	園 長	51.4.1	経 営
2	樋山 欣子	52	主 任	47.4.1	社 会
3	上野美津枝	36	つくし	48.4.1	言 語
4	小川 陽子	27	たんぽぽ	48.4.1	健 康
5	青井 菊代	24	すみれ	50.4.1	音 楽 リズム

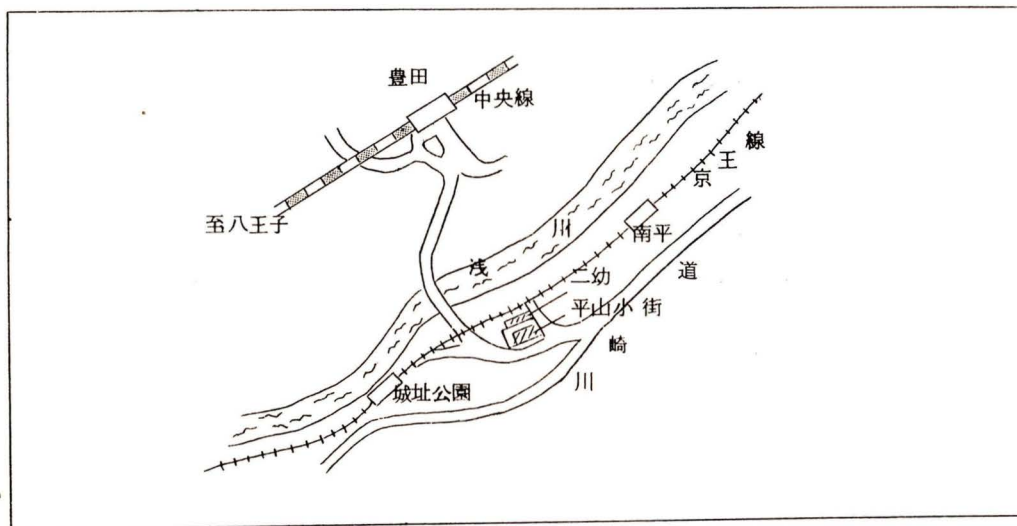
8. 本校研究主題の推移

昭和41年度	遊びと施設
昭和42年度	子どもの健康状態と体力の向上について
昭和43年度	粘土あそび だろ粘土コーナーの利用
昭和44年度	遊具を使用した幼児の体育指導
昭和45年度	地域環境に即した野外指導の年間計画と実践
昭和46年度	45年度の研究継続
昭和47年度	自然を生かした野外指導（考える目を養う）
昭和48年度	地域の実態に即した交通安全教育・安全対策の推進 ― 正しい踏切の渡り方
昭和49年度	地域の実態に即した交通安全教育・安全対策の推進 ― 踏切の正しい渡り方

9. 保護者職業一覧

○ 会 社 員	67
○ 自 営 業	8
○ 公 務 員	28
○ 農 業	0
○ 医師・薬剤	2
○ そ の 他	0

10. 園に至るまでの地図





園 名 日 野 市 立 第 三 幼 稚 園
所 在 地 日 野 市 日 野 2800
電 話 0 4 2 5 - 8 1 - 7 1 2 7
順 路 国 電 日 野 駅 下 車 徒 歩 7 分
バ ス 日 野 市 役 所 前

園長氏名 溝呂木 桂 次

主任氏名 鷺 見 照 子

1. 沿革の概要

昭 41 . 2 . 28 園舎完成
昭 41 . 4 . 1 設置認可
昭 41 . 4 . 11 開 園
(4 学級・園児数 143 名)
昭 42 . 2 園舎東側ブロック塀工事
昭 42 . 5 裏門両袖ブロック塀工事完了
昭 42 . 10 花壇完成
昭 42 . 11 コークス小屋完成
昭 42 . 11 観察池完成
昭 44 . 9 砂場用足洗 (手洗場) 場
昭 46 市研究協力園
昭 47 . 3 屋外小鳥飼育舎新設
昭 51 . 2 区画整理のため正門東側に
移動

2. 歴代園長

氏 名	年月 ~ 年月
吉 田 辰 次	41.6 ~ 41.5
永 野 林 弘	41.6 ~ 42.3
吉 田 辰 次	42.3 ~ 44.3
下 田 忍	44.3 ~ 50.3
溝呂木 桂 次	50.4 ~ 現 在

3. 地域の環境

- ・ 田畑 (果樹園) , 丘 , 林 , 川 など自然環境に恵まれ , 公園 , 神社 , 広場 などもあり , こども達 のあそび場所 となっている。
- ・ 通園区域 が 広く バス 通園児 もある。
- ・ 小学校 が隣接 し , 広い校庭 が使用 できる。
- ・ 甲州街道 (国道 20 号線) , 高幡街道 が近いので交通事情 も急激 に変化 してきている。

4. 教育目標

- (1) 意欲をもって活動できる子
ア . じょうぶで元気 な子
イ . 自分を表現 できる子
ウ . いろいろなことに興味 や関心 を持つ子
- (2) 友だちと遊べる子
- (3) 情操豊かな子

5. 本年度指導の重点

- (1) 教育課程の編成と改善についての重点
ア . ひとりひとりの子を生かす指導を考える。
イ . 幼児自ら選んで行う活動の中に , 教師の意図する活動をどうとり入れて指導したらよいか考える。
- (2) 環境構成
ア . 自然の環境を幼児の身近かなものとして生かし , 子どもが働きかけられるようにととのえていく。
- (3) 家庭との連絡
ア . 家庭連絡の通知文や , 園の子どものようすなどを印刷で知らせる時に内容や時期を検討し , 幼稚園への関心を高める。
イ . 懇談会 , 参観日などを通し幼稚園での保育内容の理解を深める。
- (4) そ の 他
ア . ひとりひとりの子どもに目をむけ , 職員間での共通理解を深め研修の場をもつ。
イ . 通園路について調査し , 子どもに交通规则を知らせる。

6. 幼 児 数

	二年保育年長 (5才)	一 年 保 育 (5才)	計
学 級 数	1	3	4
男	18	51	69
女	14	38	52
計	32	89	121

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	溝呂木 桂 次	56	園 長	昭50. 4.1	経 営	
2	鷺 見 照 子	50	主 任	昭41. 4.1	自 然	教務・庶務・会計
3	石 川 和 子	31	5 才 児	昭47. 4.1	自 然	教育相談
4	斉 藤 伊津子	29	5 才 児	昭50. 4.1	音 楽 リ ズ ム	
5	古 谷 みち子	25	2年保育年長	昭47. 5.1	言 語	
6	永 瀬 町 子	22	5 才 児	昭50. 4.1	健 康	

8. 本校研究主題の推移

昭和41年度	自然の領域における教材の選択
昭和42年度	幼, 小の関連について
昭和43年度	幼, 小の関連
昭和44年度	幼, 小の関連 「自然の領域についての実践的研究」
昭和45年度	自然の領域における評価の観点について
昭和46年度	科学的思考力の芽生えをつちかう指導法
昭和47年度	野外の自然環境
昭和50年度	子どもの行動をどう理解していったらよいか(幼児理解)

9. 本校の特色

園外保育を行って河原や野山で遊んだり, 園内では幼児と教師が, 土を耕したり, ほぐしたり, 土運びをしたり, 玉石やブロックで花壇を作ることから栽培を始める。種まき, 球根うえをしたり花をとって飾ったり遊んだり, 種集めをすることなどが自然な形でできるようにしている。また幼児にかかわりのもてる木を計画植樹している。

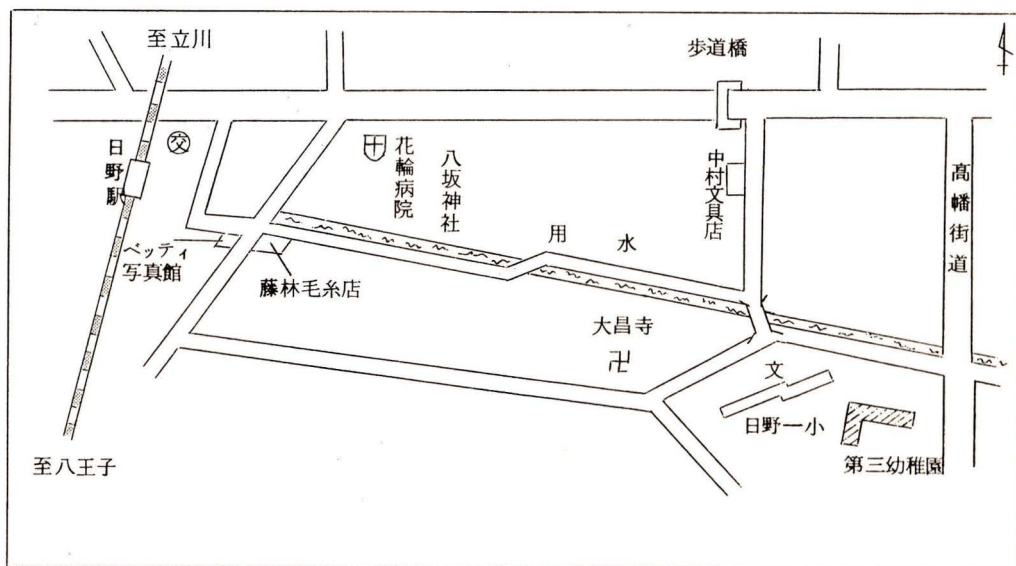
10. 都教育研究員，研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科・領域	研究員・研究生別
昭和43年度	鷺見 照子	社 会	研 究 員

11. 保護者の職業一覧

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
1. 会 社 員	92	76	4. 医 師	2	2
2. 公 務 員	20	17	5. そ の 他	3	2
3. 自 営 業	4	3			

12. 学校に至るまでの地図





園 名 日野市立第四幼稚園
所 在 地 日野市石田 431-6
電 話 0425-83-3903
順 路 立 川⇄高幡不動 京王バス
日野四小前下車 徒歩5分

園長氏名 内 藤 達 夫

主任氏名 沖 山 英 代

1. 沿革の概要

昭47. 8.11 園舎新築工事起工
昭48. 1.31 園舎完成
昭48. 4. 1 日野市立第四幼稚園として
開園
学 級 数 2 級
園 児 数 60 名
教 諭 30 名
用 務 員 1 名
平屋園舎 495 m²
園 敷 地 2008 m²
昭48. 4.10 入園式举行
昭48.10.29 落成式举行
昭48.11. 1 開園記念日と定める。
昭48.11. 7 園庭の植樹完了
昭48.12. 1 鉄骨製藤棚工事完了
昭49. 3.20 第1回修了証書授与式举行
修了者46名
昭50. 1.13 うさぎ小屋(鉄骨製)工事
完了

2. 歴代園長

初代 内 藤 達 夫 48.4.1～現在

3. 地域の環境

本園は、日野橋から東へ通1Km,多摩川の
土手近くにあり、小学校に隣接している。農
業中心のこの地域は、近年急激に宅地化が進
み、園舎前には、中央高速道路が東西に走り、
西側の都道も交通がひんぱんである。桑園や
梨畑が続く小道には、緑が豊富にあり、四季
を通じて野外活動の場になっている。園児た
ちの過半数は四小学区から通学しているが、
その他は、バス又は自転車(親が付添って)

で通園している。

4. 教育目標

- (1) 丈夫なからだで仲良く遊べる子ども。
- (2) 意欲的に活動する子ども。
- (3) ゆたかな心を持つ子ども。

5. 指導の重点

- ① 園児の健康管理に留意し、基本的な生活
習慣を身につけて、園生活が楽しく安全に
おくれるようにする。
- ② いろいろな場面において、積極的に活動
し、進んできまりを守り仲良く集団生活が
できるようにする。
- ③ 幼児が十分活動できるように環境を整え、
ゆたかな感受性と創造性の芽ばえを大切に
し、更に友だちを思いやるやさしい心を育
てるようにする。

6. 幼 児 数

	5才児	計
学 級 数	2	2
男	28	28
女	32	32
計	60	60

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	内 藤 達 夫	55	兼 園 長	昭 48. 4. 1	経 営	
2	沖 山 英 代	37	主 任	昭 48. 4. 1	言 語	教務・庶務
3	南 谷 彰 子	25	ばら組	昭 48. 4. 1	自 然	
4	松 本 真 弓	22	ゆり組	昭 49. 4. 1	健 康	

8. 研究主題の推移

昭和48年度	野外活動の指導をどのように行なったらよいか ～ 自然環境を利用して ～
昭和49年度	上 記 と 同 じ
昭和50年度	上 記 と 同 じ

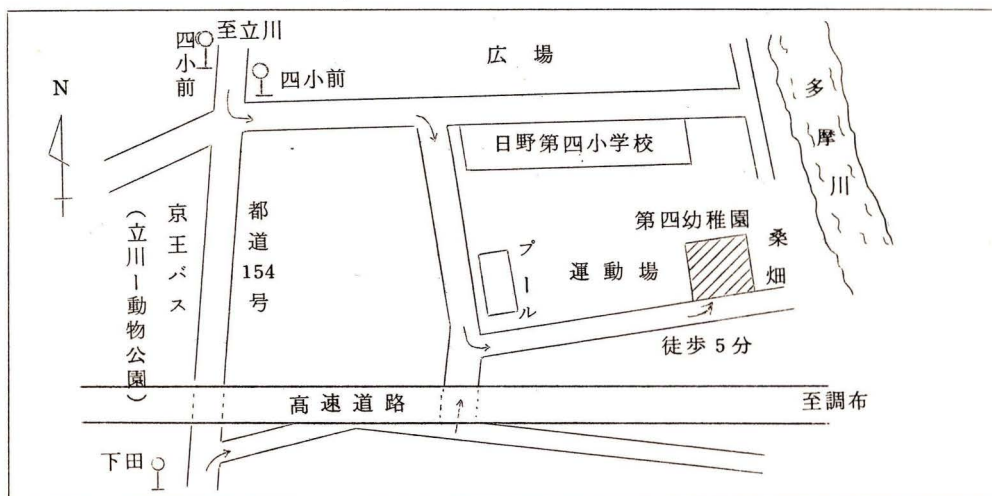
9. 本園の特色

川原遊び、草摘み、梨もぎなど四季折々の自然に親しむ経験や活動を多くして、幼児の体力づくりや協調性の芽ばえが大切に育つよう指導している。

10. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%
会 社 員	44	73
公 務 員	7	12
自 営 業	5	8
そ の 他	4	7

11. 園に至るまでの略図





園 名 日野市立第五幼稚園

所 在 地 日野市三沢175番地

電 話 0425-92-0432

順 路 京王線 高幡不動駅より東へ約13分

園長氏名 岡 本 省 吾

主任氏名 坂 口 嘉津子

1. 沿革の概要

昭49.4.1 日野市立第五幼稚園として
設置さる。

学級数 2, 定員 80名

教諭 3名, 用務員 1名

園敷地面積 2,444 m^2

園舎面積 4,288 m^2

昭49.4.15 開園, 園児数 62名

昭49.11.1 落成式

昭49.11.1 開園記念日とする。

昭50.1.20 園庭拡張される。

昭50.3.20 第1回修了児 70名

昭51.3.19 修了児 79名

昭51.3.31 鳥小屋完成

2. 歴代園長

氏 名 年 月 ～ 年 月

岡本 省吾 昭49.4.1～現在

3. 地域の環境

- 京王線高幡不動駅と百草駅のはぼ中間の位置にあり, 周囲には田んぼ, 畑が多く自然に恵まれた環境である。

4. 教育目標

- 元気に友だちと遊べる子。
- 豊かな心を持ち, 自分を素直に表現できる子。
- 望ましい生活習慣を身につけた子。

5. 本年度指導の重点

- 豊かな環境の中で自然や事象に興味や関心を示し意欲的に活動できる指導のあり方を考える。
- 集団での遊びを通して, 豊かな人間関係が育つようにする。

6. 幼 児 数

	5才児	計
学 級 数	2	2
男	41	41
女	34	34
計	75	75

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	岡 本 省 吾	56	園 長	昭 49. 4 . 1	経 営	
2	坂 口 嘉津子	35	主 任	昭 50. 4 . 1	言 語	教務, 庶務
3	斉 藤 美津子	29	1 年 保 育 つ く し 組	昭 50. 4 . 1	自 然	心障児教育
4	小 林 茂 子	25	1 年 保 育 た ん ぼ 組	昭 49. 4 . 1	健 康	教材, 図書

8. 研究主題

昭和50年度	創造性を高めるための環境設定をどうしたらよいか。
昭和51年度	〃

9. 本園の特色

- 恵まれた自然環境を利用し、思う存分活動する中で動植物に対する思いやり、いたわりが育つよう指導している。
- 広い園庭をいかして、こどもたちの運動能力を高める遊びを高くとりいれている。

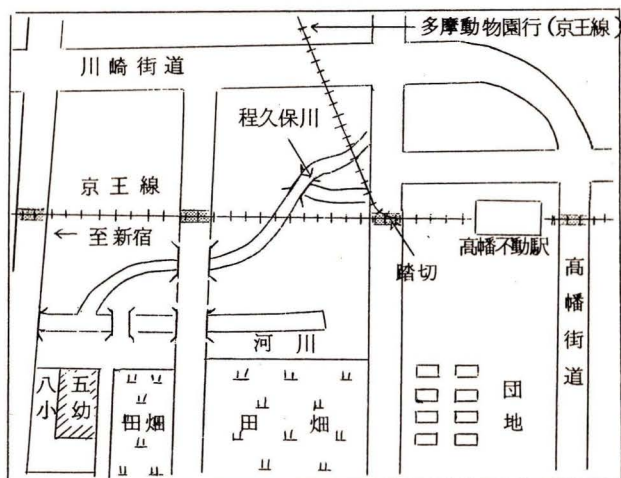
10. 都教育研究員, 研究生出身歴

昭和45年度	研 究 員	坂 口 嘉津子	教科領域	言 語
--------	-------	---------	------	-----

11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%
会社員	48	64
公務員	8	10.7
自 営	12	16
その他	7	9.3

12. 園に至るまでの地図





園 名 日野市立第六幼稚園
所 在 地 日野市程久保876-2
電 話 0425-92-6330
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバス
にて5分、高幡台団地下車

園長氏名 手代木 和 夫

主任氏名 田 中 澄 子

1. 沿革の概要

昭50. 9. 6 園舎新築工事起工
昭51. 3.19 園舎完成
昭51. 4. 1 日野市立第六幼稚園として
開園
鉄筋平家建園舎
学級数 2, 定員80名
教諭3名, 用務員1名
敷地面積 1,408,259 m^2
園舎面積 473,386 m^2
昭51. 4.10 入園式挙行
園児数 73名

2. 歴代園長

氏 名	年月～年月
手代木 和 夫	昭51.4.1～

3. 地域の環境

日野市の南東部にある多摩丘陵に造成された高幡台団地と百草団地との分岐点に位置し、園舎は緑の森林に囲まれた美しい眺めの場所にある。近くには多摩動物公園、百草園、高幡不動などがあり、野あそびを楽しむ場所も多く、自然を満喫できる。

4. 教育目標

- (1) 明るくはつらつとした子ども
- (2) やさしい心で助け合う子ども
- (3) よく考えて行動する子ども

5. 本年度指導の重点

- (1) 学級経営の充実をはかり、ひとりひとりのこどもを大切に、個性を豊かにのばすようにつとめる。
- (2) 地域の自然を活用し、健康の増進、自然の事象への関心や愛情を育てる。

6. 幼 児 数

5 才 児	学 級 数	2
	男	34
	女	39
	計	73

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	手代木 和 夫	57	園 長	昭51. 4 . 1	理 科	経 営
2	田 中 澄 子	49	主 任	昭51. 4 . 1	社 会	教 務・庶 務
3	市 川 やす子	27	一年保育 さくら組	昭51. 4 . 1	自 然	教 育 相 談
4	森久保 裕 子	21	一年保育 すみれ組	昭51. 4 . 1	音 楽	図 書

8. 本園研究主題の推移

昭和51年度 環境の整備とその活用

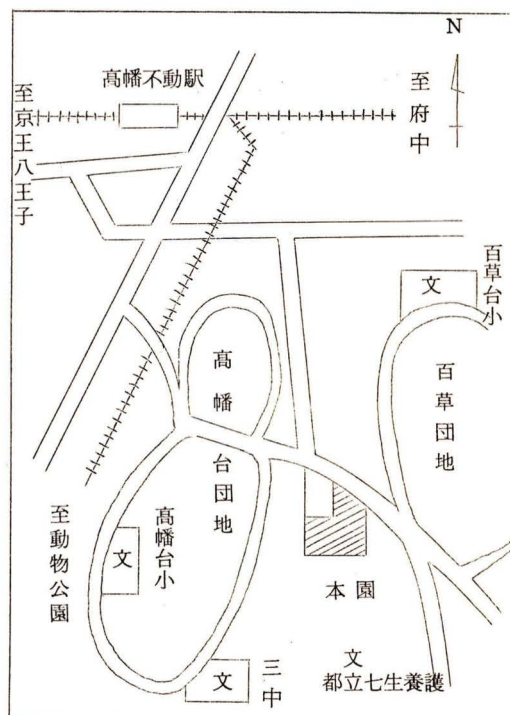
9. 本園の特色

- (1) 在園する園児の約85%が、高幡台団地、百草団地の公団住宅から通園している団地幼稚園である。入園前には、そのほとんどが、何らかの施設で保育の経験をして入園しているため、友だちも多く集団に慣れている。
- (2) 新設園のため、環境の整備と、その効果的な活用法について力を注ぎ、家庭とも協力しながら園づくりに努力したい。

10. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭 和 48年度	田中澄子	学校経営	現代化委員

12. 園に至るまでの地図



11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭数	%	職 業	家庭数	%
会社員	55	75.4	その他	4	5.5
自営業	3	4.1	計	73	100
公務員	11	15.0			



学 校 名 日野市立日野第一小学校
 所 在 地 日野市日野2800番地
 電 話 0425-81-0073・0061
 順 路 中央線日野駅下車 徒歩6分

校長氏名 溝呂木 桂 次

教頭氏名 石 井 三 士

1. 沿革の概要

明 6. 5. 5 士淵山普門寺の本堂をあて開校，第一大学区第八中学区第五十四番小学日野学校と称す。（現在の中央公民館のとなり 当時神奈川県）

明 45. 2. 11 校歌，校章制定，校舎改増築，校地拡張（現中央公民館の所）

昭 11. 4. 29 校旗寄贈（古谷剛次郎氏）

昭 15 日野 2800 番地（現在地）に土地 900 余坪，新校舎建築開始。（戦時中軍徴用）

昭 23. 4. 25 新校舎に移転完了

昭 25. 4. 1 東京都指定実験学校となり，教育課程の研究発足 27 年 3 月 5 日発表

昭 28. 8. 22 80 周年記念プール竣工

昭 38. 11. 3 日野市制施行により日野市立日野第一小学校と校名を変更。

昭 40. 4. 防音校舎三期をもって完成

昭 43. 4. 1 日野市研究協力校として「教育環境の整備」を主題として研究発足。
44 年 2 月 21 日に研究発表。

昭 43. 8. 1 日野市集会場を屋内運動場兼講堂として移管

昭 44. 2. 21 日野市研究協力校として「教育環境の整備について」発表

昭 44. 5. 1 東京都学校花壇協力校となる。

昭 46. 4. 1 日野市小学校訪問学級（肢

体不自由学級）設置，5 月 17 日開校。

昭 47. 2 都市計画神明上区画整理事業開始，校庭南側一部縮少，遊具移動

昭 47. 5 ビデオ一式購入（ビデオコーダー，ビデオカメラ，ビデオモニター等）

昭 48. 4 授業研究校

昭 48. 11 創立百周年記念祭

昭 49. 4 授業研究校

昭 50. 4 授業研究校

昭 51. 3 非常階段設置
教室黒板スチール化 10 教室

昭 51. 3 室

昭 51. 4 授業研究校

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
1. 日 野 義 順	明 6. 5 ～明 9. 7
2. 国府田 学	明 9. 7 ～明 11. 3
3. 小 川 則 要	明 11. 4 ～明 15. 3
4. 鈴 木 宗 也	明 15. 4 ～明 16. 8
5. 上 野 謙 松	明 16. 9 ～明 18. 3
6. 二 見 友三郎	明 18. 4 ～明 19. 4
7. 八木岡 寛 制	明 19. 5 ～明 21. 10
8. 佐 野 鶴 松	明 21. 11 ～大 5. 3
9. 古 谷 剛次郎	大 5. 4 ～大 12. 1
10. 河 合 平 作	大 12. 2 ～大 15. 3
11. 古 谷 剛次郎	大 15. 4 ～昭 11. 1
12. 宮 川 海 三	昭 11. 2 ～昭 18. 3
13. 貫 井 半 蔵	昭 18. 4 ～昭 23. 8
14. 小 池 嘉 一	昭 23. 9 ～昭 34. 3
15. 尾 崎 半次郎	昭 34. 4 ～昭 37. 3

16. 五十嵐 光 昭37.4～昭38.3 19. 下 田 忍 昭44.4～昭50.3
 17. 木 村 清 昭38.4～昭41.3 20. 溝呂木 桂 次 昭50.4～現在
 18. 吉 田 辰 次 昭41.4～昭44.3

3. 地域の環境

本校は中央線日野駅の南方に位置し、農地、工場、商店、住宅により構成される地域を校区としている。駅より近く交通の便はよいが、甲州、川崎の両街道をかかえ、交通禍の危険をはらんでいる。校区内は区画、地番の整理も十分でなく、近代都市への脱皮の途上にあるようである。最近田畑は宅地造成区画整理などにより宅地化しつつある。しかし今のところは公害におそわれることもほとんどなく、自然の緑の美しい心やすまる環境も残されている。

4. 教育目標

本校の教育は、自主的に人格の完成につとめる児童の育成をめざし、つぎのことがらを中心として展開する。

- (1) 科学性を身につける子ども (2) 豊かな心情をもつ子ども
 (3) つよい意志をそだてる子ども (4) じょうぶな体をつくる子ども

年度の重点 ものごとをよく観察する。 連帯感を高める。 表現力を高める。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動の指導の重点

ア. 各教科 授業研究を通して教材性の吟味と指導の適正をはかりながら深く考えながら学ぶ子どもを育成する。

イ. 道徳 思慮深い子どもの育成と相まって差別と偏見のない人間形成を目ざして指導にあたる。

ウ. 特別活動 児童が目標をもって活動すること、特に話し合いの指導には力を注ぎたい。

(2) 生活指導の重点

集団の秩序と安全保持の立場からよく考えて行動する子どもの育成につとめる。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特殊学級訪問学級	計
学 級 数	4	5	4	3	3	4	1	24
男	82	98	83	58	69	75	(3年2) (2年1) (4年1) (1年1)	470
女	71	91	67	52	59	66	1	407
計	153	189	150	110	128	141	6	877

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	溝呂木 桂 次	56	校 長	50. 4. 1	理 科	経 営
2	石 井 三 士	45	教 頭	49. 4. 1	国 語	"
3	辻 田 静 江	46	1 の 1	43. 4. 1	図 工	生活指導
4	塩 浦 玲 子	29	1 の 2	51. 4. 1	体 育	教 務
5	西 山 由美子	26	1 の 3	51. 4. 1	理 科	保 健
6	伊 藤 千恵子	23	1 の 4	50. 4. 1	社 会	図 書
7	田 中 陸 夫	24	2 の 1	50. 4. 1	社 会	特 活
8	深 沢 美知子	26	2 の 2	50. 4. 1	算 数	特 活
9	高 木 映 子	41	2 の 3	47. 4. 1	社 会	教 務
10.	吉 成 千津子	26	2 の 4	49. 4. 1	理 科	給 食
11.	武 藤 志津子	30	2 の 5	50. 4. 1	図 工	生活指導
12.	片 野 茂 夫	32	3 の 1	46. 4. 1	理 科	視 聴 覚
13.	佐々木 玄 吾	46	3 の 2	51. 4. 1	社 会	生活指導主任
14.	久保田 由 子	33	3 の 3	50. 4. 1	国 語	図 書
15.	落 合 茂 子	48	3 の 4	50. 4. 1	社 会	給 食
16.	清 雲 よ志子	55	4 の 1	44. 4. 1	音 楽	保 健
17.	森 秀 伸	26	4 の 2	50. 4. 1	体 育	生活指導
18.	武 川 俊 子	26	4 の 3	48. 4. 1	体 育	特 活
19.	野 口 すみ子	35	5 の 1	50. 4. 1	算 数	生活指導
20.	古 屋 光 男	46	5 の 2	49. 4. 1	理 科	教 務
21.	小笠原 久 雄	34	5 の 3	51. 4. 1	体 育	特 活
22.	上 山 洋一郎	46	6 の 1	42. 4. 1	道 徳	教務主任
23.	岡 本 朋 子	23	6 の 2	50. 4. 1	国 語	生活指導
24.	斎 木 昭 朗	42	6 の 3	41. 9.16	社 会	教 務
25.	守 屋 ふ み	53	6 の 4	46. 4. 1	国 語	図 書
26.	宮 岡 和 恵	28	音 楽	45. 4. 1	音 楽	視 聴 覚
27.	酒 井 栄 一	63	図 工	42. 4. 1	図 工	生活指導
28.	奈 良 悦 子	44	家 庭	41. 4. 1	家 庭	給 食
29.	増 田 実	27	体 育	48. 4. 1	体 育	保 健
30.	金 井 信 房	60	訪 問	51. 4. 1	図 工	教育相談
31.	中 村 由美子	24	"	50. 9.16	音 楽	教育相談
32.	清 水 妙 子	34	養 護	49. 4. 1	体 育	保 健
33.	上 田 博 文	40	事 務	47. 4. 1	事 務	事 務
34.	加 藤 広 子	32	栄 養 士	51. 1. 1	給 食	給 食
35.	蓮 池 守 一	43	指導主事	48. 4. 1	社 会	市 教 委

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	不 詳
昭和41年度	教材の系統制について
昭和42年度	学校運営の能率化
昭和43年度	学校運営の能率化，教育環境の整備
昭和44年度	教育環境の整備と活用
昭和45年度	ひとりひとりを生かす生活指導
昭和46年度	考える子どもの育成（教科・道徳・特別活動を通して）
昭和47年度	考える子どもの育成（学年経営・学級経営・指導の重点・重点研究の3本柱）
昭和48年度	「考える力をのばす」
昭和49年度	「考える力をのばす」
昭和50年度	「考える力をのばす」
昭和51年度	「考える力をのばす」（特に事実をきちんと見つめること，表現力を高める）

9. 本校の特色

- 全職員で授業研究に取り組む。
- 教育環境の整備
学校花壇，教材園，自然園等の充実

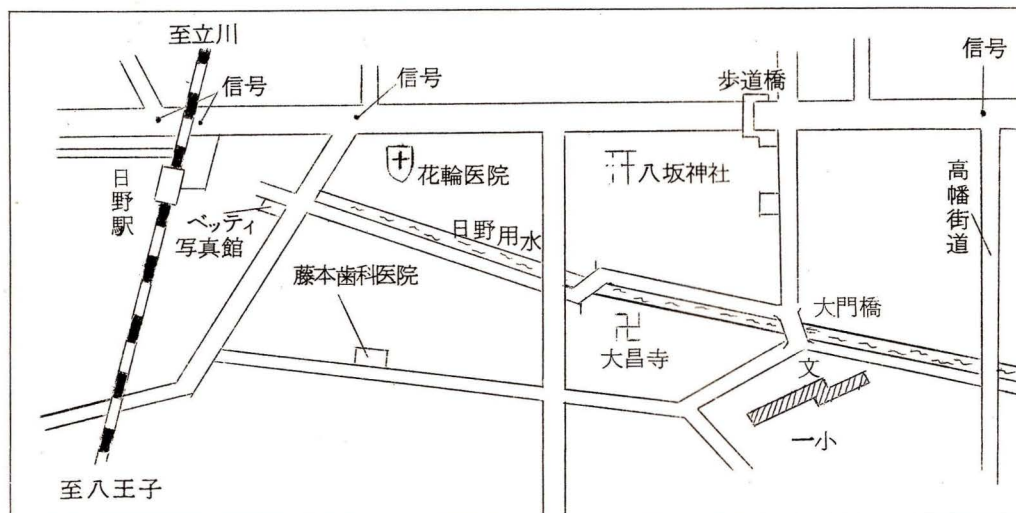
10 都教育研究員，研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研 究 員 研究生別
昭和37年度	古 屋 光 男	理 科	研 究 員
昭和42年度	上 山 洋一郎	道 徳	〃
〃	村 上 澄 江	〃	〃
昭和44年度	石 井 三 士	国 語	〃
〃	奈 良 悦 子	家 庭 科	〃
昭和45年度	松 井 玉 江	養 護	〃
昭和46年度	青 柳 俊 夫	体 育	〃
昭和47年度	安 藤 和 枝	給 食	〃
昭和48年度	越 村 清 治	社 会	〃
昭和50年度	高 木 映 子	教育方法	〃
昭和49年度	小笠原 久 雄	特 活	〃
昭和50年度	佐々木 玄 吾	社 会	〃
昭和51年度	片 野 茂 夫	理 科	〃

11. 保護者の職業一覧

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
会 社 員	344	52.0	運 輸 通 信	25	3.8
公 務 員	90	13.5	農 業	13	2.0
自 宅 商	31	4.7	無 職	2	0.3
自 宅 工	26	3.9	自 営 業	92	13.9
サ ー ビ ス 業	23	3.5	そ の 他	6	0.9
自 由 業	10	1.5		662	100

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立日野第二小学校
所 在 地 日野市東豊田2-14-1
電 話 0425-81-0070・0851
順 路 中央線 豊田駅下車 徒歩10分
京王線 南平駅下車 徒歩17分

校長氏名 永 井 雅 夫

教頭氏名 大 熊 喜 一

1. 沿革の概要

明 7. 3 神奈川県9大区小4区豊田
村尋常小学校として創設，
戸長山口平太夫氏長屋を仮
校舎にする。

年月不詳 善生寺本堂を校舎とし，上
下2等級に分け，下等小学
校は満6才より9才，上等
小学校は満10才より13
才までとする。

明12. 2 豊田1320番地善生寺の西
隣に新校舎建築

明26. 4 東京府に編入される。

明41. 3 日野小学校豊田分教場とな
る。

昭17. 豊田218番地に新校舎建築

昭21. 6 南多摩郡豊田国民学校とし
て再び独立

昭27.12 第一次増築2階建8教室
276坪 拡張校地366坪

昭30. 4 日野町日野第二小学校と校
名変更

昭31. 4 第2次増築2階建6教室
168坪 拡張校地366坪

昭38.11 日野市立日野第二小学校と
校名変更

昭43. 6 防音改築第1期工事完成

昭44. 3 防音改築第2期工事完成

昭45. 2 日野市指定研究「教材教具
の整備と活用」研究発表を
おこなう

昭46. 2 体育館工事落成

昭46. 4 プレハブ教室1教室設置

昭46. 5 全教室テレビ配置

昭46.12 体育倉庫新設

昭48. 3 安全のために西側に通用門
設置

昭49. 3 新校舎増築（8教室）

昭49.11 創立100周年記念式典

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
小 山 茂 平	昭21. 6～27. 9
増 島 光 一	27.10～34. 3
小 池 嘉 一	34. 4～38. 3
森久保 惣 次	38. 4～42. 3
後 藤 正 太	42. 4～47. 3
安 積 利 治	47. 4～50. 3
永 井 雅 夫	50. 4～現在

3. 地域の環境

- (1) 本校の学区は、かつては“豊田の里”と呼ばれ、静かな農村であった。ところが、近年になって急激に宅地造成が進み、住宅が急増し、農家の割合が4%にも激減している。
- それでも、浅川を中心として田畑が散在し、屋上から見る景観はすぐれて美しい。
- (2) また、ローラースケートのできる駒形公園、市民プール、市立中央図書館など、公共施設にも恵まれている。
- (3) さらに、父母は、学校教育に対する関心が深い。登校時の交通指導を積極的に進めるなど、きわめて建設的であり、また、協力的である。
- (4) 一方、学校前の都道をはじめとして、学区内の道路は、どこも道幅がせまく、そのほとんどに歩道がない。しかも、交通量が

しだいに増加し，登下校の安全が憂慮される状況になってきている。

4. 教育目標

- (1) からだも心も強く明るい子
- (2) みんなと仲よく力をあわせられる子
- (3) よく考え進んで行動する子
- (4) 責任をもって最後までやりぬく子

5. 本年度指導の重点

- (1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア. 各教科

㌞ 指導内容を精選し，指導の効果をたかめる。

㌟ 授業研究を行い，指導法の研究を実践する。

イ. 道徳

教育目標と道徳徳目との関連をはかり，効果的な指導を行なう。

ウ. 特別活動

㌞ 集団行動をとおして心身の調和的発表を図る。

㌟ 自主的行なう行動をとおして，豊かな自主性，社会性を育成し，個性の伸長を図る。

- (2) 生活指導・進路指導の重点

ア. 学校における基本的行動様式を身につけさせる。

イ. 健康安全の生活指導を徹底する。

- (3) その他の配慮事項

特に交通事故の防止について，万全を期する。交通訓練の実施。学校だより等により家庭に協力依頼する。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	4	4	4	3	3	3	22
男	93	70	75	69	63	63	433
女	82	68	72	51	53	74	400
計	175	138	147	120	116	137	833

7. 教育員氏名

番号	氏 名	年 令	担 任	研 究	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	永 井 雅 夫	54.6			50. 4. 1	経 営	
2	大 熊 喜 一	47.6			51. 4. 1	経 営	
3	倉 石 桂	65.4	理 科		40. 4. 1	○理 科	管財
4	高 橋 立 身	49.5	○ 4-1		51. 4. 1	○社 会	人権尊重教育担当
5	高 島 和 子	48.1	○ 1-1		45. 4. 1	社 会	図 書 館 ・ 視 聴 覚
6	松 井 慶 吾	51.1.1	5-3		46. 4. 1	○算 数	教務（学校行事）
7	石 岡 信 行	50.1	○ 3-1		45. 4. 1	○国 語	研究
8	石 原 八重子	45.1.0	6-4		47. 4. 1	○道 徳	教育相談
9	峰 岸 サ ヨ	48.8	○ 6-1		42. 4. 1	○家 庭	特別活動
10	川 崎 照 子	47.1	○ 2-1		47. 4. 1	理 科	保健
11	大 場 と み	43.4	音 楽		48. 4. 1	○音 楽	
12	田 村 利 樹	40.6	○ 5-1		44. 4. 1	体 育	生活指導（安全教育）
13	鶴 田 久美子	39.5	図 工		45. 4. 1	○図 工	
14	小 村 満紀子	38.5	3-4		51. 4. 1	音 楽	
15	倉 林 紀 子	35.6	養 護		46. 9. 1	保 健	
16	宮 坂 恵美子	32.1	3-2		49. 4. 1	図 工	
17	塚 本 喜美子	31.1.1	2-4		49. 4. 1	国 語	給食
18	沢 本 年 人	31.2	6-3		50. 4. 1	社 会	
19	紺 屋 富 夫	30.5	1-4		50. 4. 1	国 語	
20	島 田 美代子	27.2	2-2		46. 4. 1	国 語	
21	戸 嶋 レイ子	28.1	1-3		51. 4. 1	体 育	
22	宮 本 容 子	26.5	1-2		47. 4. 1	算 数	
23	佐々木 正 典	25.0	4-3		49. 4. 1	○体 育	
24	樋 口 静 江	24.7	体 育		49. 4. 1	体 育	
25	吉 沢 佐久子	43.1.0	6-2		51. 4. 1	図 語	
26	高 橋 淑 子	23.6	3-3		49. 4. 1	図 工	
27	佐 藤 恵 子	22.9	4-2		49. 4. 1	道 徳	
28	佐 多 千鶴子	22.0	2-3		49. 4. 1	体 育	
29	小 沼 利 江	22.0	5-2		51. 4. 1	国 語	
30	伊 藤 功	30.1	事 務		48. 4. 1	事 務	※○印は学年，専科， 教科，道徳主任
31	赤 石 亨	51.0	休 職		42. 4. 1		

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	生活指導の研究
昭和41年度	道徳の指導計画の作製
昭和42年度	道徳の指導計画の作製
昭和43年度	国語科における読解教材の効果的な指導法
昭和44年度	教材教具の効果的な整備と活用
昭和45年度	学級会活動における児童の自主性の育成
昭和46年度	学級会の話し合いの指導，国語科における読速力の指導
昭和47年度	鉄棒運動の段階的指導，数と計算領域の指導
昭和48年度	数と計算領域の指導，器械運動の段階的指導
昭和49年度	国語科における説明的文章の読解指導の研究
昭和50年度	国語科における説明的文章の読解指導の研究
昭和51年度	主体的に学習し活動する子どもを育てる研究

9. 本校の特色

- (1) 本校は，開校百二年の伝統を誇る由緒ある学校である。充実した百年祭も終わり，父母の協力のもと，これまでの歴史をだいじにしながら新たな伝統づくりに励んでいる。
- (2) 児童の体位は標準程度であるが，体力はすぐれている。これは，学区内が自然環境に恵まれていることが大きな要因と考えられる。
- (3) 児童の心情は，すなおであり，態度もまじめである。

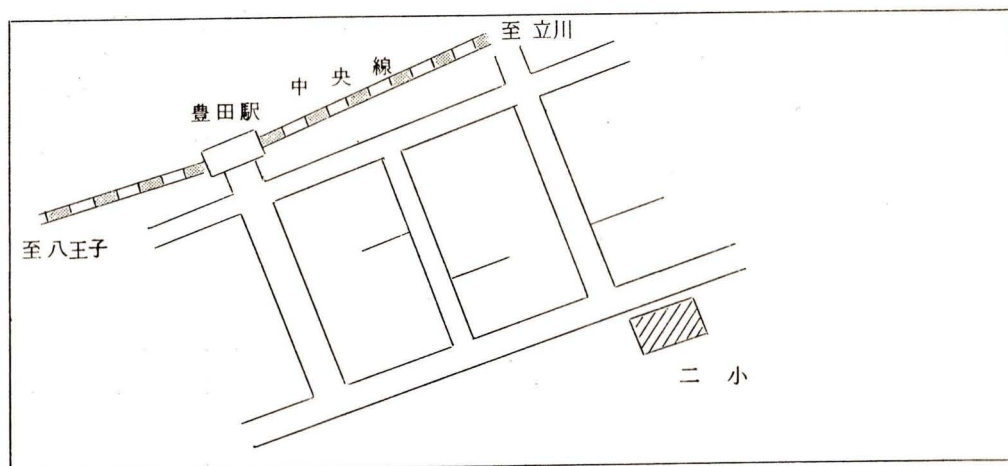
10. 都教育研究員，研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員，研究生別
昭和43年度	赤 石 亨	給 食	研 究 員
昭和44年度	石 井 三 士	国 語	研 究 員
"	小 林 繁 人	学級経営	研 究 生
昭和39年度	大 熊 喜 一	生活指導	研究生(東京大学)

11. 保護者の職業一覧

職 種	家 庭 数	%	職 種	家 庭 数	%
企 業 経 営 者	14	2	労 務 的 従 業 者	56	9
専 門 技 術 的 職 業	111	18	サ ー ビ ス 従 業 員	30	5
管 理 的 職 業	56	9	農 林 漁 業 従 事 者	21	4
小 企 業 者	58	10	そ の 他	22	4
事 務 的 職 業	235	39	計	606	100

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立日野第三小学校

所 在 地 日野市日野台 2 丁目 1 番地 1 号

電 話 0425-81-0101
0850

順 路 中央線 日野駅下車徒歩 15 分

校長氏名 平 松 健太郎

教頭氏名 多 昌 直 之

1. 沿革の概要

- 昭 23. 4. 1 日野小学校日野台分校として設置される。児童 1～3 年 340 名，教室 4，全学年 2 部授業
- 昭 25. 6.10 日野台小学校として独立する。児童数 696 名，教室 9 年生迄 2 部授業
- 昭 25. 7.18 校章制定
- 昭 25. 9.19 4 教室増築，教室数 13，3 年まで 2 部授業
- 昭 27. 4.15 4 教室増築，教室数 17，2 年まで 2 部授業
- 昭 27. 6.10 校歌制定
- 昭 28. 6.10 校地 850 坪拡張，6 教室増築，教室数 23，2 部授業解消される。
- 昭 30. 4. 1 日野第三小学校と校名を変更
- 昭 32. 3. 4 旧教室 4 を取除き 6 教室を増築，教室数 25，児童数 869 名
- 昭 33. 8. 3 給食調理室完成
- 昭 33. 8. 3 大小プール落成
- 昭 34. 3. 校地 1100 坪拡張
- 昭 34. 5.11 34 年度東京都小学校理科教育研究協力学校に指定される。
- 昭 35. 4. 1 日野町特殊学級が併置される。
- 昭 35. 6.10 開校 10 周年記念日を迎え記念式，祝賀会を催す。
- 昭 37. 4. 5 校門完成
- 昭 38.11. 3 日野市制施行に伴い日野市

立日野第三小学校と校名を変更。

- 昭 39. 6. 2 放送室，用務員室完成
- 昭 42. 4. 7 防音校舎新築起工式
- 昭 42. 9. 1 3 年以上新校舎使用開始，順次に木造旧校舎解体
- 昭 43.11.15 校地地番変更，日野市日野台 2 丁目 1 番地 1 号
- 昭 44.12.20 学校北側の外柵落成
- 昭 45. 6 プレハブ 2 教室落成
- 昭 46. 2.16 体育館落成式，校章制定
- 昭 46. 4.20 プレハブ 2 教室増設
- 昭 47. 4. 1 プレハブ 2 教室増設
- 昭 48. 4. 1 鉄筋新校舎 9 教室増築落成
プレハブ 4 教室撤去
- 昭 50. 2.25 鉄筋新校舎（5 教室，職員室，校長室，事務室，放送室など）竣工
- 昭 50. 6. 1 校旗制定

2. 歴代校長

氏 名 年月～年月

高 野 忠 正 昭 25. 6.10～26. 3.12
(事務取扱)

高 野 忠 正 昭 26. 3.13～27. 9.30
(校 長)

尾 崎 半次郎 昭 27.10. 1～34. 3.31

五十嵐 光 昭 34. 4. 1～37. 3.31

塚 本 正 昭 37. 4. 1～41. 3.31

池 田 瑞 男 昭 41. 4. 1～47. 3.31

岩 井 庄 三 昭 47. 4. 1～50. 3.31

平 松 健太郎 昭 50. 4. 1 着 任

3. 地域の環境

東京都の南西多摩川の南岸，甲州街道沿いに位置し，海拔 800 m の日野台地及び多摩川沿いに平地を含む地域である。

日野自動車工場とともに発展した地域であり，台地のため公害も少ない。

日野台地（学区）の北部は多摩川をへだて立川市，南は多摩丘陵，西部は八王子が眺望できるすぐれた環境に恵まれている。

4. 教育目標

本校の教育は，憲法及び教育基本法に基づいて，民主的な社会人としての人間形成の基礎作りにある。

- 健康で明るい子ども ○ よく考える子ども ○ 責任を果たす子ども

※ 指導の重点 主体的に考え行動することの育成

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各教科

主体的に考え，学習にとりくむことのできる子どもの育成

- 友だちと協力して学習をすすめることができる。
- 自分の意見を積極的に述べたり，質問したりすることができる。
- 自分から課題をみつけて解決のため努力することができる。

イ 道徳

道徳的判断が行動化されることのできる子どもの育成

- 先生や友だちに対してきちんと挨拶ができる。
- 公共物の後始末をきちんとすることができる。
- 心身障害学級と仲よく協力して学校生活ができる。

ウ 特別活動

主体的に活動にとりくむことのできる子どもの育成

- 児童活動を主体的にすすめ，特に集会活動の企画や運営ができる。
- 係活動や清掃活動に積極的にとりくむことができる。
- 低，中，高学年相互に縦の協力助け合いができる。

(2) 生活指導の重点

社会生活のきまりを身につけ主体的に実践できることのできる子どもの育成

- 物を大切に扱い，後始末がきちんとできる。
- 廊下や道路での正しい歩行ができる。
- 先生や友だちの話を静かに聞くことができる。

(3) その他の配慮事項

- 心身障害児学級と一般学級との教師相互，児童相互の交流の場を積極的に設け，障害をもつ児童に対して，正しい認識と理解を深める。

- 交通安全日，避難訓練を月 1 回実施し，安全教育の推進をはかるとともに安全対策に万全を期す。
- 校舎建築完了を契機として，校舎内外の環境整備と美化に努める。
- 学校の教育目標を地域，学校及び児童の実態に適合するよう再検討する。

6. 児 童 数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	ひばり	計
学級数	5	5	6	5	5	4	2	32
男	110	105	112	104	100	73	10	614
女	95	96	115	79	83	96	6	575
計	205	201	227	183	188	169	16	1,189

7. 教 職 員 ※ 年令は昭和 52 年 3 月 現在

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	平 松 健太郎	52	校 長	昭 50.4.1	学校経営	
2	多 昌 直 之	49	教 頭	" 48.4.1	学校経営	
3	岩 永 ヒ ラ	50	図 工	" 51.4.1	図 工	校内指導
4	山 口 和 子	50	2 の 1	" 50.4.1	道 徳	給食 庶務
5	森 甫	49	音 楽	" 43.4.1	音 楽	視聴覚 校外指導
6	橋 本 美千代	48	1 の 4	" 42.4.1	児童文化	給食 庶務
7	福 地 保	47	3 の 1	" 51.4.1	理 科	視聴覚 特活 教務
8	井 上 保	47	2 の 5	" 44.4.1	社 会	教務主任 特活
9	藤 本 憲 康	47	5 の 2	" 47.4.1	体 育	校外指導 教務
10	関 根 敦 子	44	5 の 5	" 51.4.1	国 語	清掃 教務
11	種 田 嘉 枝	42	4 の 5	" 49.4.1	図 書 館	保健 職員福祉
12	三 村 礼 子	42	6 の 1	" 50.4.1	国 語	特活 管理事務
13	赤 池 正 人	40	4 の 3	" 51.4.1	算 数	特活 教務
14	蔵 元 幸 二	35	6 の 3	" 50.4.1	社 会	給食 管理事務
15	麻 生 文 雄	35	ひばり	" 50.4.1	心障教育	特活 教務事務
16	川原田 和 子	33	5 の 1	" 49.4.1	理 科	保健 教務事務
17	吉 川 都 子	33	1 の 3	" 42.4.16	児童文化	特活 管理事務
18	中 原 正 子	32	4 の 1	" 49.4.1	図 工	保健 職員福祉
19	有 馬 由紀子	32	4 の 2	" 48.4.1	図 書 館	保健 教務事務
20	飯 田 国 代	31	3 の 5	" 48.4.1	算 数	清掃 教務
21	西 川 征 矢	31	1 の 2	" 48.4.1	音 楽	校外指導 庶務
22	矢 野 百合子	31	1 の 1	" 49.4.1	道 徳	清掃 教務事務

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
23	森 田 隆 子	30	ひ ば り	昭 46.4.1	心障教育	清掃 教務
24	西 山 伸	30	ひ ば り	" 48.4.1	心障教育	清掃 教務事務
25	長 沼 良 子	28	3 の 6	" 48.4.1	音 楽	給食 教務事務
26	山 田 一 夫	28	2 の 4	" 47.4.1	児童文化	校外指導 P T A書記
27	井 上 明 子	27	3 の 3	" 47.4.1	家 庭	給食 教務事務
28	中 村 美 子	27	6 の 2	" 47.4.1	理 科	保健 教務事務
29	渡 辺 静 枝	27	2 の 2	" 48.4.1	図 工	保健 教務
30	浜 野 美 広	27	5 の 4	" 48.4.1	視 聴 覚	特活 管理事務
31	林 和 子	27	2 の 3	" 48.4.1	算 数	給食 管理事務
32	宇留野 勝 幸	27	6 の 4	" 51.4.1	視 聴 覚	特活 管理事務
33	市 川 純 子	27	1 の 5	" 51.4.1	児童文化	校内指導 管理事務
34	高 野 ちひろ	27	3 の 4	" 49.4.1	図 書 館	保健 教務
35	天 野 正 枝	26	家 庭	" 46.9.1	家 庭	給食 庶務
36	佐 藤 民 男	26	理 科	" 49.4.1	理 科	校内指導 管理事務
37	篠 原 正 人	26	5 の 3	" 50.4.1	国 語	校内指導 庶務
38	村 川 敬 子	25	3 の 2	" 49.4.1	家 庭	特活 教務事務
39	足 立 光 江	25	ひ ば り	" 50.4.1	心障教育	清掃 管理事務
40	梅 原 秀 明	24	4 の 4	" 50.4.1	理 科	校内指導 管理事務
41	伊 佐 弘 江	41	養 護	" 51.4.1	体 育	保健 教務
42	石 川 聖 子	28	事 務	" 47.4.1		
43	和 田 房 子	29	栄 養 士	" 49.4.1		

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	道 徳
昭和41年度	児童の思考を高めるための授業の進め方を国語科，理科を通して究明し，学力の充実を期す
昭和42年度	児童の思考を高めるための授業の進め方を究明し，学力の充実を期す。
昭和43年度	情緒の安定をはかり，基礎的生活態度を育成する。
昭和44年度	情緒の安定をはかり，基本生活態度を育成する。
昭和45年度	情緒の安定をはかり，基本的生活態度を育成する。
昭和46年度	情緒の安定をはかり，基本的生活態度を育成する。
昭和47年度	主体的に勉強や仕事にとりくむことの育成をはかる。
昭和48年度	主体的な学習態度や生活態度の育成をはかる。そのための適切な指導内容・指導方法等について研究を深める。
昭和49年度	主体的に考え行動することの育成をめざす授業のすすめ方。
昭和50年度	主体的に考え行動することの育成をめざす授業のすすめ方。
昭和51年度	主体的に学習にとりくむ子どもの育成

9. 本校の特色

- 児童は明るくすなおで、決まったことや言われたことはよくするが、やや主体性を欠き、ねばり強くやりぬこうとするたくましさがない。
- 校内研修で、市教委の委託研究を受け、児童の主体性を高める授業研究を実施している。また心障学級があり、教育相談の研修に力を入れている。
- 多摩川をのぞみ、たんぼ、はたけ、丘陵などの緑にかこまれた自然環境に恵まれている。
- 父母は、教育に対する関心が深く、PTAは自主的に活発に活動している。住宅は個人住宅が約7割を占め、近年、団地などが建設され、児童数も増加しつつある。

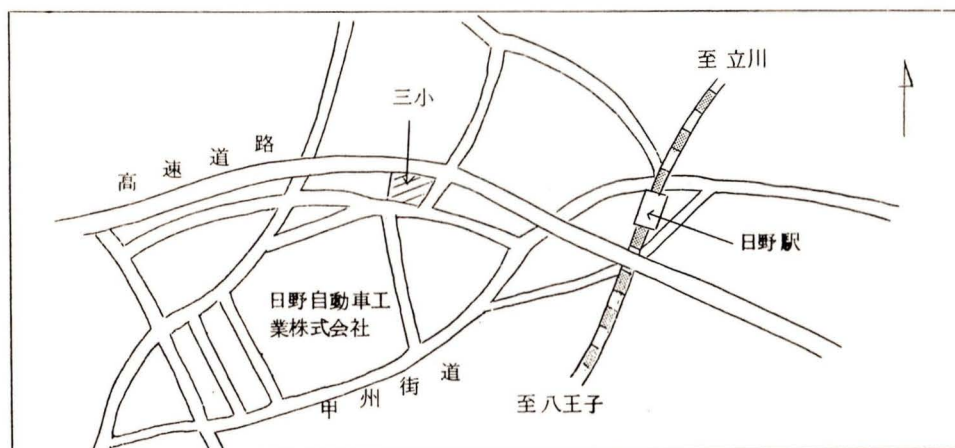
10. 都教育研究員、研究生の出身歴

年	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和33年度	松 村 典 孝	国 語	研 究 員
昭和37年度	溝呂木 桂 次	理 科	"
昭和37年度	広 瀬 邦 夫	社 会	研究派遣生
昭和38年度	原 田 成 大	特 殊	研 究 員
昭和49年度	松日楽 敬 治	理 科	現代化委員
昭和51年度	麻 生 文 雄	心障教育	研 究 員

11. 保護者の職業一覧（※昭和51年4月10日現在）

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
会 社 員	568	64.6	教 職 員	21	2.4
公 務 員	81	9.2	農 業	11	1.3
自 宅 商	67	7.6	建 築 関 係	10	1.1
自 宅 工	49	5.6	無 職	7	0.8
運 輸 交 通 業	31	3.5	そ の 他	34	3.9
			計	879	100.0

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立日野第四小学校
所 在 地 日野市石田430番地
電 話 0425-81-0038・3076
順 路 日野駅から立川行バス南詰下車徒歩7分
立川駅北口から多摩動物公園行バス 四
小前下車 徒歩2分

校長氏名 内 藤 達 夫

教頭氏名 大 島 昭 子

1. 沿革の概要

明 6. 5. 5 下田 学舎
21.11. 下田小学校
41. 3. 日野小学校下田分校場
29. 8.18 校地決定 4259.14 坪
30. 4. 4 落成式並開校式 この日を
開校記念日とする。
昭 30.12.22 校章制定
30.12.25 第三期校舎竣工
31. 3. 5 校旗完成
32.11.20 学校給食開始
35. 7.20 プール落成式並祝賀会
36. 3.26 第三期校舎落成式
36.11. 1 校歌発表会、以後この日を
開校記念日とする。
39. 6.10 校地拡張及防音校舎に改築
が決定
40. 3.31 防音校舎9教室完成
41. 3.31 防音校舎第2期工事完了
14教室完成
41. 7. 9 防音校舎落成、独立11周年
下田学舎創立92周年記念式
典
43.11.27 統計教育研究指定校として
研究発表会をする。(都、
市指定校)
45. 3.31 体育館落成
防音校舎7教室増築完成
46. 7. 5 遊び開放用物置、便所設置
46. 8.31 理科室給排水、配電設備設
置
47. 6.30 裏庭花だん新設
47. 9.30 体育倉庫新設、校長室、保
健室移転、印刷室新設

昭 49. 2. 7 事務室設置、飼育舎新設
49. 9.15 新校舎と体育館の渡り廊下
改修、危険物倉庫新設、給
食室一部改修
50. 8.30 給食室かまど、戸棚改修
調理室更衣室、シャワー、
便所新設

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
浦上増太郎	昭 30. 3.29 ～ 36. 3.31
田中 善次	36. 4. 1 ～ 44. 3.31
森 巖	44. 4. 1 ～ 47. 3.31
内藤 達夫	47. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

市の東端、多摩川と浅川のおちあう三角地帯、9地区1900戸である。甲州街道から約1Km南にへだたった多摩川あたりにくらし、田畑に囲まれ、前面に中央高速道路が走っている。米どころ日野の田園地帯と多摩川梨の産出地域である。
万願荘の集団住宅を始め近年宅地化が漸次進められ田園地域より住宅地化しつつある。

4. 教育目標

(1) 学校のエ育目標

地域社会の特性を生かし、児童の実態を把握し、個性と能力に即し、児童の日常生活を基盤として次の事項を目標とする。

1. 丈夫な身体で 健康安全教育
2. いつも元気に 明朗で活動的な人間の育成

3. 何事も自分で考え 真実を求め科学する心の育成
4. 仲 よ く 人間尊重と協力奉仕する民主的社会人の育成
5. 学びましょう 自主的学習態度の養成と基礎学力の充実

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア 学年会を研究的に進め、教師間の共通理解を深めながら指導性を高め目標の達成を図る。
- イ あらゆる生活場面で、教師と児童との心の交流を図りながら児童の自主的な学習意欲を高めると共に、計画的な体力作りを推し進める。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア. 各 教 科

自主的学習態度を重視して学力の向上をはかる。

イ. 道 徳

- ㍿ 生命を尊重し健康の増進と安全の保持につとめることができるようにする。
- (イ) よいと思ったことは進んで実行し、強い意志と責任感をもって最後までやり通すようにする。

ウ. 特別活動

各種の活動計画と実践のくふうをはかり、連帯感、所属感を育てる。

- ・ 児童活動…児童の自主的、実践的な態度を育て個性の伸長をはかる。
- ・ 学級指導…統一ある指導計画に基づき、学級の実態に即した指導を徹底させる。
- ・ 学校行事…行事の効果的な運営を工夫すると共に集団への連帯感や規律ある行動の実践をはかる。特に体育的行事の狙いを明確にし、計画的な指導と児童の主体的参加を伸ばすようにする。

(2) 生活指導の重点

集団生活をとおして個々の児童の生活態度の向上を図りながら教育課程が能率的、効果的に実施されるように努める。

〔具体目標〕 学校生活を楽しむために、学級、学校のきまりをたいせつに考え行動する子どもを育てる。

- ア. 個々の児童の能力、特性に応じた個別指導に力を入れる。
- イ. 学級、学校集団の質を高めるための集団指導に力を入れる。

(3) その他の配慮事項

- ア. 日課時程の一単位時間を40分とする。
- イ. 朝の児童集会活動を充実し、教師と児童、児童間の心の結びつきと体力の向上に努める。
- ウ. 児童とともに環境の美化につとめる。
- エ. 本年度の研究主題

子どもが生き生きと学習に参加できる授業の研究

— 国語の学習指導を通して —

6. 児 童 数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	3	4	4	3	3	3	20
男	59	76	67	66	52	69	389
女	57	61	73	52	69	59	371
計	116	137	140	118	121	128	760

7. 教 職 員

(※ 年令は昭51.3現在)

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	内 藤 達 夫	56	校 長	47. 4. 1	学校経営	
2	大 島 昭 子	50	教 頭	49. 4. 1	学校経営	
3	板 谷 敏	48	1 - 1	46. 4. 1	社 会	○特 活
4	色 川 和 代	30	1 - 2	47. 4. 1	社 会	○視聴覚
5	渡 辺 世津子	28	1 - 3	49. 4. 1	体 育	保 健
6	窪 田 正 子	31	2 - 1	43. 4. 1	○国 語	図書館
7	高 倉 教 行	48	2 - 2	45. 4. 1	国 語	特活 教務主任
8	飯 田 竹	33	2 - 3	48. 4. 1	図 工	○図書館
9	川 寄 愛 子	27	2 - 4	47. 4. 1	算 数	給 食
10	越 村 あや子	28	3 - 1	49. 4. 1	体 育	○教育相談
11	岡 島 政 吉	27	3 - 2	51. 4. 1	体 育	特 活
12	小 山 富 子	27	3 - 3	51. 4. 1	○算 数	給 食
13	杉 本 瑛 之	50	3 - 4	44. 4. 1	理 科	生 活
14	佐々木 茂 登	52	4 - 1	48. 4. 1	国 語	○道 徳
15	笹 岡 佐和子	40	4 - 2	50. 4. 1	音 楽	生 活
16	斉 藤 弥 生	30	4 - 3	47. 4. 1	家 庭	教育相談
17	堀 内 弘	32	5 - 1	43. 4. 1	○体 育	視聴覚
18	日下部 芳 子	56	5 - 2	43. 4. 1	○家 庭	○給 食
19	尾 関 博 文	38	5 - 3	51. 4. 1	体 育	視聴覚
20	上 野 森 良	46	6 - 1	43. 4. 1	社 会	○生活 生活指導主任
21	菊 地 敬 子	27	6 - 2	50. 4. 1	国 語	図書館
22	遠 藤 綾	51	6 - 3	48. 4. 1	算 数	保 健
23	佐 野 静 江	23	理 科	51. 4. 1	○理 科	視聴覚
24	村 田 那智子	38	音 楽	46. 4. 1	○音 楽	道 徳
25	渡 辺 芳 郎	54	図 工	39. 4. 1	○図 工	生 活
26	古 越 富 子	21	養 護	51. 4. 1	体 育	○保 健
27	大 淵 隆 夫	31	事 松	48. 4. 1		事 務

○印は主任

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	教育技術の研究（研究授業年8回実施）
昭和41年度	研究授業の励行，指導案作成の研究
昭和42年度	都，市研究協力校，統計教育
昭和43年度	同上
昭和44年度	国語科を中心とした読解力指導の充実をはかる
昭和45年度	読み，解く力をつけるための基礎的指導をどのように進めたらよいか。
昭和46年度	児童の自主性を生かした学習指導
昭和47年度	子どもが生き生きとした学習をするくふう→算数（計算，文章題）
昭和48年度	子どもが生き生きと学習に参加できる授業の研究→国語（かん字の指導）
昭和49年度	（国，算，社 指導計画の作成，指導法の工夫）
昭和50年度	（ ” ” ” ” ）
昭和51年度	（国語科 ” ” ” ” ）

9. 本校の特色

本校は過去数年，統計教育に取り組んできた。その成果を更に深化拡充するため，昭和46年より子どもの自主性を生かす授業の研究を進めている。児童の実態についていえば，まじめにこつこつと努力する面はみられるが，自らの力で思考し，自らの力で解決しようとする力が十分育っていないようである。今年度は特に特別活動における児童の自主性を伸ばすことに力を入れると共に，体育的行事や日常生活における体力作りももり上げ，身心両面における児童の主体性の伸長をめざして研究に取り組んでいる。

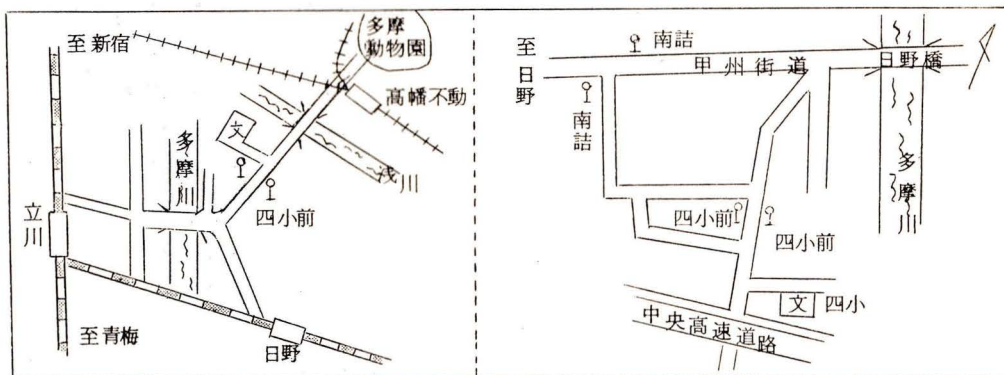
10. 都教育研究員，研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員，研究生別
昭和32年度	高 瀬 三 郎	算 数	研 究 員
昭和32年度	新 井 忠三郎	音 楽	”
昭和37年度	井之下 茂	体 育	”
昭和38年度	加 藤 隆 輔	図 工	”
昭和42年度	渡 辺 芳 郎	図 工	”
昭和46年度	亀 山 恵之助	特 活	”
昭和49年度	上 野 森 良	国 語	”

11. 保護者の職業

	会社員	公務員	教員	交通・運輸	土建業	農業	工員	自宅工	自宅商	その他	無職	合計
1 年	25	5	0	3	7	2	3	5	4	2	0	56
2 年	38	7	2	6	0	0	10	6	8	3	1	76
3 年	38	8	3	6	8	2	6	8	5	5	3	92
4 年	37	9	2	3	1	4	14	9	8	5	1	93
5 年	42	5	2	7	1	6	14	12	10	11	0	110
6 年	50	7	4	7	4	6	16	11	10	13	0	128
合計	230	41	13	32	21	20	63	51	40	39	5	555
%	41.4	7.4	2.3	5.8	3.8	3.6	11.4	9.2	7.2	7.0	0.9	100

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 五 小 学 校
所 在 地 日 野 市 多 摩 平 5-21-1
電 話 0425-81-0407(代)・0445
順 路 豊田駅北口より京王バス 日野駅行き
五小前にて下車
甲州街道を通るバス(京王・都)に乗
り日野自動車工場前下車

校 長 氏 名 三 井 知 夫

教 頭 氏 名 近 内 信 輝

1. 沿革の概要

- 昭 34. 4. 1 日野市立日野第五小学校開校。初代校長に増島光一就任。
- 昭 34. 4. 6 日野第二小学校の3教室(児童73名) 日野第三小学校の5教室(児童169名)を借用して授業開始。
- 昭 34. 6. 8 第1期工事完成(鉄筋コンクリート2階建, 普通教室10, 特別教室3, 管理室5), 9学級274名 新校舎に移る。
- 昭 35. 9.13 第2期工事完成(鉄筋コンクリート平家建, 普通教室8, 小講堂1)2部授業解消
- 昭 36. 4. 1 増島光一校長定年勇退。浦上増太郎第二代校長に就任
- 昭 36. 5.31 第三期工事完成(鉄筋コンクリート2階建, 普通教室6, 特別教室1)
- 昭 36. 8.28 大プール, 小プール竣工
- 昭 38. 2.20 校章制定
- 昭 38. 4. 4 仮教室1完成
- 昭 39. 3.11 校歌発表会
- 昭 39. 3.25 卒業記念として校旗寄贈を受く
- 昭 39. 4. 1 浦上増太郎校長定年勇退, 福寿文雄第三代校長に就任

- 昭 39. 4. 6 芝山分校7学級(1~3年)263名で発足
- 昭 40. 4. 1 芝山分校は日野市立第六小学校として独立
- 昭 41. 4. 1 仮教室2完成
- 昭 42. 2.23 都・市研究協力校発表会
- 昭 42. 4. 1 福寿文雄校長転出, 星野正男校長就任
- 昭 43. 3.20 校舎改修工事着工
- 昭 43. 5.20 体育館, 新校舎増設(2階建10教室)
- 昭 44. 3. 3 創立10周年記念式典
- 昭 47. 4.11 星野正男校長転出, 荒井一男校長就任
- 昭 49. 4. 1 荒井一男校長転出, 三井和夫校長就任
- 昭 49. 8.21 放送施設工事着工
- 昭 49.10. 1 給食室改修工事着工
- 昭 50. 4. 1 訪問学級設置(市立病院内)
- 昭 50. 1.23 第二理科室工事着工
- 昭 51. 3.31 アルミサッシ工事5教室改修

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ~ 年 月
増 島 光 一	昭 34.4.1 ~ 昭 36.3.31
浦 上 増太郎	昭 36.4.1 ~ 昭 39.3.31
福 寿 文 雄	昭 39.4.1 ~ 昭 42.3.31
星 野 正 男	昭 42.4.1 ~ 昭 47.3.31
荒 井 一 男	昭 47.4.1 ~ 昭 49.3.31
三 井 知 夫	昭 49.4.1 ~ 現 在

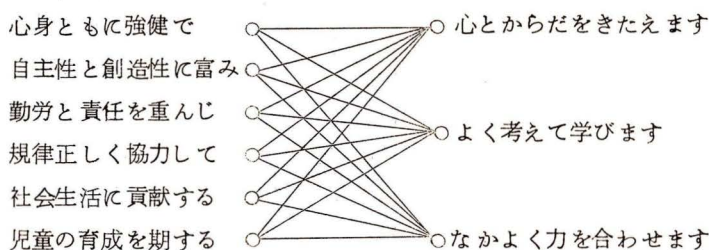
3. 地域の環境

昭和33年日本住宅公団により日野台地が切り開かれ、多摩平団地誕生。この中に第五小学校がある。南は中央線、北は国道20号線(甲州街道)にはさまれ、バス網が発達していて交通は便利である。

団地の住宅以外に分譲住宅、都営住宅などがかかえ、付近には日野自動車など4つの大会社があり近代工業地域に接している。

団地内は公園、緑地、広場など整備され、立木、芝生にかこまれた空間は静かな住宅地としてよい教育環境となっている。

4. 教育目標



5. 指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各教科

児童の思考過程を重視しながら、自主協力的学習の指導法の研究を通して基礎学力の伸長を期する。

イ 道徳

道徳教育の全体計画の改善をはかり、協調の精神を培うなかで道徳的心情を深化し、実践力のある児童を育成する。

ウ 特別活動

本校の特別活動の年間指導計画の改善をはかり、児童の望ましい集団活動とその実践を通して、自主性、協調性をもった個性豊かな人間形成に努める。

(2) 生活指導

学校および社会生活における基本的行動様式や望ましい生活習慣を実践指導を通して身につけさせる。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計	訪問学級
学級数	4	4	4	4	4	4	24	1
男	92	86	85	76	85	86	510	6
女	90	86	87	65	82	80	489	2
計	182	172	172	141	167	166	1,000	8

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	三 井 知 夫	51	校 長	49. 4. 1	学校経営	
2	近 内 信 輝	52	教 頭	51. 4. 1	学校経営	
3	西 川 朝 子	30	1 - 1	46. 4. 1	国 語	図書館
4	生 田 彰	51	1 - 2	50. 4. 1	社 会	教務、生活指導
5	本 保 陽 子	47	1 - 3	51. 4. 1	算 数	道德、保健
6	岩 尾 ふ き	49	1 - 4	51. 4. 1	理 科	家庭、総務
7	長 沢 佳都子	41	2 - 1	49. 4. 1	国 語	図書館、総務
8	前 川 セ っ	49	2 - 2	47. 4. 1	社 会	教育相談、教務
9	白 石 俊 二	35	2 - 3	50. 4. 1	算 数	視聴覚
10	山 田 恵 子	26	2 - 4	50. 4. 1	理 科	視聴覚、教育相談
11	武 内 千尋子	50	3 - 1	51. 4. 1	国 語	音楽、給食
12	番 場 春 枝	27	3 - 2	51. 4. 1	社 会	特活、図書館
13	逸 見 黎 子	33	3 - 3	47. 4. 1	算 数	育児休業52.1.12まで
14	小 俣 政 治	62	3 - 4	42. 4. 1	理 科	図書館
15	中 川 金 作	51	4 - 1	44. 4. 1	国 語	教務、特活
16	渋 江 美 雪	27	4 - 2	51. 4. 1	社 会	図工、教育環境
17	山 内 春 美	50	4 - 3	50. 4. 1	算 数	教育相談、教育環境
18	針 田 和 子	29	4 - 4	50. 4. 1	理 科	図書館
19	大 竹 三 郎	50	5 - 1	45. 4. 1	国 語	教務、図工
20	前 田 洋 子	26	5 - 2	51. 4. 1	社 会	体育、給食
21	高 田 真 澄	25	5 - 3	49. 4. 1	算 数	視聴覚
22	中 村 大	45	5 - 4	45. 4. 1	理 科	教務、特活
23	藤 本 大 策	32	6 - 1	51. 4. 1	国 語	総務、特活
24	内 藤 まつ代	48	6 - 2	45. 4. 1	社 会	教務、道德
25	伊 山 節 雄	46	6 - 3	51. 4. 1	算 数	体育、視聴覚
26	井 尻 武 子	47	6 - 4	41. 4. 1	理 科	教育相談、給食、保健
27	古 川 明 子	27	訪 問	50. 4. 1	国 語	心障教育、図書館
28	野 村 菜穂子	24	訪 問	50. 4. 1	社 会	心障教育 視聴覚
29	厚 坊 ヒデ子	42	音 楽	47. 4. 1	音 楽	教育相談、音楽
30	戸 塚 春 雄	53	図 工	51. 4. 1	図 工	教育相談
31	林 茂 子	31	家 庭	43. 4. 1	家 庭	育児休業52.2.22まで
32	岡 田 充 生	31	理 科	43. 4. 1	理 科	教育環境、教育相談
33	小 島 典 子	41	養 護	50. 4. 1	保 健	保健給食
34	川 崎 浩	31	事 務	46. 4. 1	事 務	
35	伊 藤 多摩子	50	栄 養 士	44. 4. 1	給 食	保健給食
36	塩 川 憲 子	27	3 の 3	50.12. 5	算 数	育児代替52.1.12まで
37	永 原 節	41	家 庭	50.12. 5	家 庭	育児代替52.2.22まで

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	自主的生活態度の完成と実践化（市） 教材教具資料の収集と活用，基礎学力の充実
昭和41年度	学校と家庭の教育上の協力（都）（市），花壇の整備（都）
昭和42年度	道徳の指導計画の作成，指導内容の精選
昭和43年度	道徳の指導法のくふうと資料整備，基本的行動様式の実践，体力増強のための計画と実践
昭和44年度	生活指導における基本的行動様式の実践指導 特に特別教育活動との関連で計画の再検討と特活の年間計画の作成
昭和45年度	学力の定着をめざした指導法のくふうと指導の実践
昭和46年度	各教科の学習における児童の思考力の伸長をはかるくふうと指導の実践
昭和47年度	特別活動の年間指導計画に基づき児童の望ましい集団生活を通して実践的態度を育てる。
昭和48年度	思考力を伸長するための教材教具の活用法の研究
昭和49年度	思考力を伸長するための指導法の研究
昭和50年度	思考力の伸長と自主協力学習の指導法の研究
昭和51年	思考力の伸長と自主協力学習の指導法の研究（継続）

9. 本校の特色

本校は公団住宅のこの地への進出に伴い設置され，新しい学校建築の様式をとり入れて建てられた学校である。当時の五小は少人数で静かな環境の中で広い校庭を使い理想的教育活動をめざしていた。その後児童の増加にともない，8回にわたる増改築を繰り返えし，創立当時の意図とは違った様相を呈すようになった。しかし校地内には手入れのゆきとどいた樹木が多く，静かな環境の中で学習ができるようにと環境の整備ができています。

児童は身長が高く胸囲が狭いという都市型の体位体格のものが多く，肥満児は最近減少してきている。

学校では地域や児童の実態を考え別掲のような教育目標をたて，この目標を学年相応にかみくだき，学年会を中心にして，創意工夫を凝らした日々の教育実践をして，成果をあげ父母の信頼を得ている。

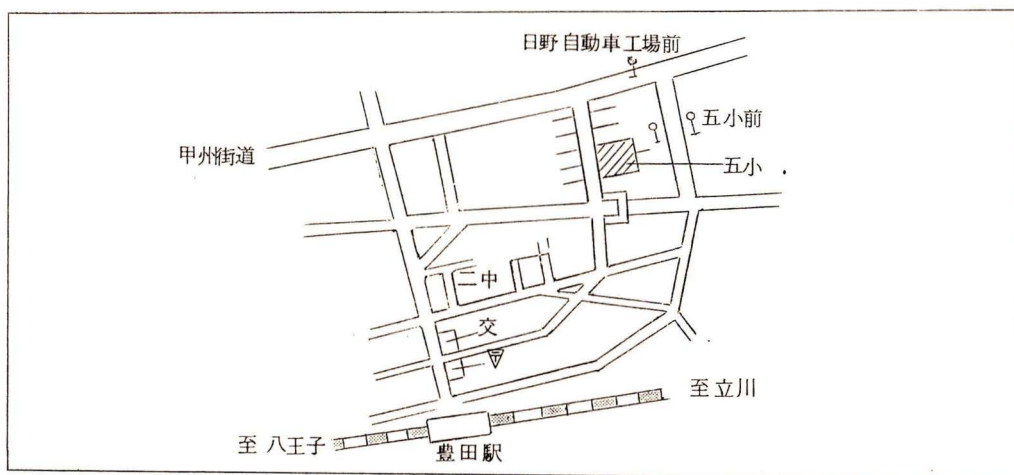
10. 都教育研究員，研究生の出身歴

年 度	氏 名	教 科 領 域	研 究 員 研 究 生 別	年 度	氏 名	教 科 領 域	研 究 員 研 究 生 別
昭和33年度	三井 知夫	国 語	研 究 員	昭和47年度	藤崎 健児	算 数	研 究 員
昭和36年度	石川 実	国 語	"	昭和49年度	福地 保	教 育 経 営	"
昭和39年度	黒沢 保雄	社 会	"	昭和49年度	赤池 正人	算 数	"
昭和39年度	堀 フサ子	給 食	"	昭和50年度	大竹 三郎	書 写	"
昭和40年度	関口 忠子	家 庭	"	昭和51年度	山内 春美	算 数	"
昭和41年度	渋谷 義一	理 科	"	昭和37年度	近内 信輝	社 会	研 究 生
昭和45年度	小坂橋五佐男	算 数	"	昭和39年度	大熊 喜一	算 数	"
昭和45年度	三浦 勝也	特 活	"	昭和42年度	渋谷 義一	理 科	"

11. 保護者の職業一覧

職 種	家 庭 数	%	職 種	家 庭 数	%
会 社 員	541	69.5	自 宅 工	18	2.3
公 務 員	74	9.4	そ の 他	45	5.7
教 職 員	44	5.6	無 職	3	0.4
自 宅 商	64	8.1	計	789	100.0

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 六 小 学 校
 所 在 地 日 野 市 多 摩 平 3 丁 目 21 番 地
 電 話 0 4 2 5 - 8 1 - 4 6 8 6 ・ 0 3 6 6
 順 路 中 央 線 豊 田 駅 北 口 下 車 徒 歩 1 2 分
 京 王 バ ス 小 西 六 裏 門 下 車 3 分

校長氏名 安 積 利 治

教頭氏名 小 野 寺 東 雄

1. 沿革の概要

昭 39. 4. 1 日野第五小学校芝山分校として設置 児童1年～3年7学級263名
 昭 40. 4. 1 日野第六小学校として開校 初代校長として平山小学校長加々美良英就任 14学級 児童数515名 教職員21名
 昭 40. 9. 6 プール完成(6コース25m)
 昭 42. 2. 21 校歌の発表会
 昭 43. 2. 22 児童の体力づくりの研究発表会
 昭 43. 3. 31 校長加々美良英退職
 昭 43. 4. 1 国立市国立第一小学校校長 峰岸敬次郎第2代校長として就任
 昭 43. 6. 19 南校舎(普通教室11, 職員室, 校長室)完成
 昭 43. 11. 6 第13回学研教育賞を受ける。
 昭 44. 3. 校地の土どめ工事完成
 昭 45. 2. 28 屋内体育館完成
 昭 45. 3. 16 落成式挙行(学校, PTA共催)
 昭 46. 3. 31 校長峰岸敬次郎滝合小学校長として転出
 昭 46. 4. 1 中野区上高田小学校新海圭三第3代校長として就任
 昭 46. 4. 1 日野市科学センター校
 昭 47. 2. 28 正門前舗装, 北西門取付
 昭 47. 3 「児童の社会性育成の実践指導」発表(市研究協力校)
 昭 47. 3. 25 プレハブ3教室増設
 昭 47. 4 「考えさせる授業への手だ

て」発足
 昭 47. 5. 6 日野市科学センター校2年目
 昭 47. 6. 10 校庭東側に自然林造成
 昭 48. 3. 10 小鳥小屋, 自転車置場設置
 昭 48. 4. 1 「考えさせる授業への手だて」2年目
 昭 48. 4. 1 日野市科学センター校3年目
 昭 49. 4 南校舎3階増築(普通教室5, 音楽室・管理室4)
 昭 49. 4 「考えさせる授業への手だて」3年目
 昭 49. 4 日野市科学センター北部センター校
 昭 49. 4 「ふれあう授業方式」発足
 昭 49. 5 南門完成
 昭 49. 7. 12 児童の登下校はすべて南門
 昭 49. 8. 31 北校舎黒板塗替 19教室
 昭 49. 10. 26 給食調理室増改築完成
 昭 50. 3. 18 49年度都愛鳥モデル校に指定
 昭 50. 3. 31 校長新海圭三中野区仲町小学校へ転出
 昭 50. 4. 1 日野第二小学校校長安積利治 第四代校長として就任
 昭 50. 4. 1 「考えさせる授業への手だて」4年目
 昭 50. 4. 1 「ふれあう授業方式」2年目
 昭 50. 4. 1 「自主学習」の試行開始
 昭 50. 4. 4 プレハブ教室使用開始 3の4, 第2理科室
 昭 50. 4. 15 しばやま第1号発行

- 昭50. 6.27 プレハブ教室通風装置完成。
- 6.28 開校十周年を祝う会。
7. 5 謄写ファックス到着 学研GOM608型
- 8.31 新校舎汚水工事完成。
- 9.22 南校舎花壇のフェンス完成。
- 9.28 開校十周年記念，秋季大運動会，教育実習生7名来校（4名10/11まで3名10/25まで）
10. 7 電動印刷機到着 デュプロM730型
- 11.20 カラー親テレビ到着 ナショナルクイントリックス20型TH20-A23BT
- 12.22 東京都選挙管理委員会より感謝状を受ける。永年選挙ポスターコンクールに協力したため。
- 昭51. 1. 9 16ミリ発声映写機到着 映機RM-2型 ㊞21265
- 2.20 燈油置場完成（少量危険物貯蔵取扱所）第4類第2石油類燈油最大数量480リットル

2. 歴代校長氏名

氏 名	年 月 ～ 年 月
加々美 良 英	昭40. 4. 1 ～ 昭43. 3. 31
峰 岸 敬次郎	昭43. 4. 1 ～ 昭46. 3. 31
新 海 圭 三	昭46. 4. 1 ～ 昭50. 3. 31
安 積 利 治	昭50. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

多摩平の台地に位置し，公団住宅と分譲住宅よりなり，近くに小西六，富士電機，帝人，千代田自動車等の工場がある。飛行機の騒音はあるが教育的環境は比較的よい。最近，学校の西の旭が丘地区に住宅が増加しつつある。

4. 学校の教育目標

本校の教育は法規に基づき，地域社会の特性をふまえ，児童の個性と能力に即して，次のことを目指して行なう。

- (1) たくましい身体と心をきたえる。
- (2) 考えながら学ぶ。
- (3) みんなと仲よくする。
- (4) がんばりぬく心を養う。
- (5) しっかり働く。
- (6) 生き物を育てる。

学校の教育目標を達成するための基本方針

- ・「子どもが創る学校」のとりくみを各分野でさらにつみかさねる。
- ・学校運営は委員会，学習指導は学年が中心に，自主性，協調性を基盤に創造的におしすすめる。
- ・「ふれあう授業方式」をさらにつみかさねて学習指導の効率化をはかる。
- ・楽しい学習環境づくりをさらにつみかさねる。

5. 指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア. 各教科

- ・「考えさせる授業への手だて」の研究を、日常の授業を通してさらに追求し、あわせてこれまでの研究課題も解決していく。
- ・自主学習の機会を意図的、計画的につくり、主体的、積極的に学習にとりくませる。
- ・教科部会の活動を充実させ、教材の精選や学習環境の整備をはかる。

イ. 道徳

- ・児童の感動を尊重し、心豊かな人間の育成をめざす。

ウ. 特別活動

- ・自主・創造・協調を基盤にした好ましい集団作りを主体的にとりくませる。

(2) 生活指導の重点

- ・「学校のきまり」をたいせつにし、自ら創る学校への努力をしていく子どもを育てる。
- ・たくましい身体の発達をはかり「けがのない日」への積極的な実践をつづける。

(3) その他の配慮事項

- ・学校運営の大きな柱については年度末の反省だけでなく、研究や実践交流の機会を積極的につくる。
- ・委員会・学年・係は年度計画をたて、効果的な運営につとめる。
- ・教師・児童・父母相互の信頼を高め、地域社会との結びつきを一層深めるための手だてをさらに改善する。

6. 児童数（51.4.10）

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	6	6	5	5	5	5	32
男	124	111	119	84	84	85	607
女	121	121	91	102	100	107	642
計	245	232	210	186	184	192	1,249

7. 教職員一覧

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	安 積 利 治	59	校 長	50. 4. 1	経 営	経 営
2	小野寺 東 雄	50	教 頭	49. 4. 1	経営理科	経 営
3	秋 永 悦 郎	46	1 の 1	49. 4. 1	国 語	学年主任・研究委員・教務・ 人退学・国語主任
4	高 橋 孝 子	33	1 の 2	48. 4. 1	図 工	からだ委員・給食
5	今 野 すみ子	44	1 の 3	47. 4. 1	社 会	くらし委員・PTA・学校図 書館主任
6	鶴 留 節 子	30	1 の 4	48. 4. 1	社 会	からだ委員・扶助費
7	比田井 茂 子	27	1 の 5	49. 4. 16	国 語	環境委員・給食
8	来 間 志 信	35	1 の 6	43. 4. 1	算 数	つとい委員・学童保育
9	藤 波 弥 生	24	2 の 1	51. 4. 1	音 楽	くらし委員・教科書
10	原 田 美智子	31	2 の 2	47. 4. 1	国 語	研究委員・扶助費
11	永 見 明 子	26	2 の 3	48. 4. 1	国 語	研究委員・補教
12	草 刈 喜 一	42	2 の 4	46. 4. 1	体 育	学年主任・からだ委員・教科 書・給食主任
13	佐 藤 和 子	27	2 の 5	47. 4. 1	図 工	つとい委員・図書
14	河 原 百合子	22	2 の 6	50. 9. 1	図 工	環境委員・補教
15	小 野 博 子	49	3 の 1	44. 4. 1	理 科	学年主任・環境委員
16	阪 本 緑	37	3 の 2	45. 4. 1	図 工	くらし委員
17	山 添 邦 男	33	3 の 3	47. 4. 1	体 育	つとい委員・体育主任
18	上 条 浩 子	31	3 の 4	44. 4. 1	図 工	研究委員
19	斉 藤 八重子	47	3 の 5	43. 4. 1	体 育	からだ委員長・保健主任
20	西 条 淑 子	56	4 の 1	42. 4. 1	算 数	学年主任・環境委員
21	弥 延 潤 太	26	4 の 2	51. 4. 1	算 数	からだ委員
22	岡 茂 美	26	4 の 3	49. 4. 1	国 語	つとい委員
23	長 田 正 夫	36	4 の 4	45. 4. 1	社 会	くらし委員長・社会科主任
24	広 沢 フサ子	38	4 の 5	43. 4. 1	道 徳	研究委員長・研究主任 道徳主任
25	野 口 昭 平	50	5 の 1	49. 4. 1	理 科	学年主任・くらし委員・教務 ・生活指導主任・学校教育相談
26	根 岸 優 子	30	5 の 2	50. 4. 1	国 語	からだ委員
27	清 水 辰 己	39	5 の 3	49. 4. 1	社 会	つとい委員長・学校行事主任
28	落 合 貴美江	30	5 の 4	49. 4. 1	社 会	研究委員
29	鹿島田 恭 江	39	5 の 5	50. 4. 1	理 科	環境委員・理科主任
30	清 水 しずか	45	6 の 1	40. 4. 1	家 庭	学年主任・つとい委員・家庭科主 任・視聴覚主任
31	越 村 清 治	32	6 の 2	50. 4. 1	社 会	研究委員・特別活動主任
32	老 沼 義 晴	27	6 の 3	47. 4. 1	算 数	からだ委員・算数主任
33	林 克 己	26	6 の 4	49. 4. 1	算 数	環境委員長
34	山 崎 充 子	35	6 の 5	50. 4. 1	家 庭	くらし委員・安全教育主任
35	曾 我 哲 夫	45	5・6年	43. 4. 1	算 数	研究委員・教務主任 ・人権尊重の教育担当

番号	氏 名	年齢	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
36	曲 田 春 子	25	3・4年音楽	49. 4. 1	音 楽	環境委員・給食
37	嶋 真理子	25	5・6年音楽	50. 4. 1	音 楽	つどい委員・図書・音楽主任
38	岸 本 和 子	53	5・6年図工	46. 4. 1	図 工	くらし委員・入退学 図工主任
39	上 山 美智子	40	養 護	40. 4. 1	保 健	からだ委員・養護主任
40	伊 東 淳 司	29	事 務	49. 4. 1	事 務	管財主任・事務主任
41	宮 坂 典	34	栄 養 士	(44. 4. 1) (51. 1. 1)	給 食	からだ委員

研 究……研究しあう会 環 境……良い環境作り会 からだ……強い身体作り会
くらし……正しいくらしの会 つどい……楽しい集いの会

8. 本校における研究主題の推移

昭和40年度	児童と父母を対象とした実態調査
昭和41年度	児童の「たくましい身体をきたえる」ための実践について
昭和42年度	児童の「たくましい身体をきたえる」ための指導の具体化と実践について 市指定
昭和43年度	各教科道德の教材配列及び教科内容の充実
昭和44年度	自ら考える意欲を高め思考力を伸す学習指導について
昭和45年度	児童の社会性育成の実践指導 学級指導と関連して
昭和46年度	児童の社会性の育成 学校教育目標の達成をめざして（市研究協力校）
昭和47年度	考えさせる授業への手だて
昭和48年度	〃 （継続研究）
昭和49年度	〃 （継続研究）
昭和50年度	〃 （継続研究）
昭和51年度	〃 （継続研究）

9. 本校の特色

- (1) 多摩平団地の造成に伴って新設された団地校であり、大規模校である。
- (2) 児童は細長型、都会型の体位をしめし、ねばり強さに欠け、父母への依頼心が強い。
- (3) 父母の教育的関心は高く、父母会の出席状況はよい。
- (4) 児童、教職員一体となって、花だん、自然林、情操池を作成し、学校緑化と環境整備に効果をあげている。都の愛鳥モデル校となり野鳥の愛護にも努めている。
- (5) 「考えさせる授業への手だて」を主題に、校内研修活動に力を入れている。授業研究を5年間継続している。
- (6) 「ふれあう授業」として、全校で協力授業をしている。
- (7) 児童が主体的、自主的に学習するよう学年の発達に応じて計画的に指導している。

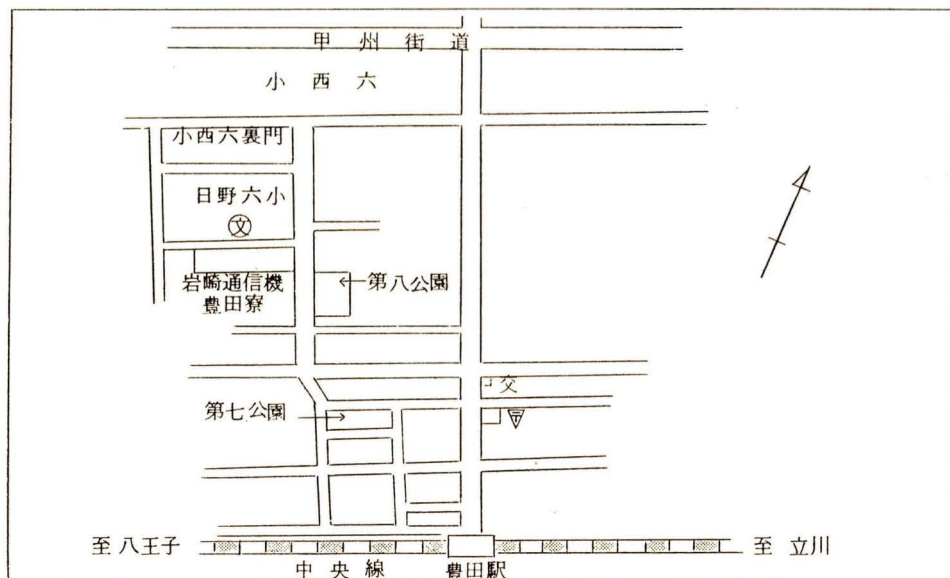
10. 都教育研究員，研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員，研究生別
昭和35年度	黒 沢 保 雄	社 会	研究生（教育大）
昭和39年度	"	社 会	教 育 研 究 員
昭和43年度	岩 尾 照 夫	算 数	研究生（学 大）
昭和43年度	上 山 美智子	養 護	教 育 研 究 員
昭和45年度	高 田 敏	給 食	"
昭和48年度	藤 田 孝 彦	特 活	"
昭和42年度	小野寺 東 雄	理 科	"
昭和45年度	秋 永 悦 郎	国 語	"
昭和40年度	野 口 昭 平	道 徳	"
昭和48年度	越 村 清 治	社 会	"
昭和50年度	長 田 正 夫	社 会	"
昭和50年度	草 刈 喜 一	給 食	"

11. 保護者の職業一覧

職 業	家族実数	%	職 業	家族実数	%
農 業	1	0.1	団 体 職 員	60	6.2
工 業	33	3.4	会 社 員	649	66.6
商 業	64	6.6	医 師	21	2.1
運 輸 交 通 業	25	2.6	そ の 他	29	3.0
国 家 公 務 員	39	4.0	無 職	3	0.3
地 方 公 務 員	50	5.1	計	974	100.0

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 潤 徳 小 学 校
所 在 地 日 野 市 高 幡 402 番 地
電 話 0425-91-0409, 0410
順 路 京 王 線 高 幡 不 動 駅 下 車 北 へ 徒 歩 4 分

校長氏名 村 田 安 正

教頭氏名 梅 田 茂

1. 沿革の概要

- 明 6. 5 三沢医王寺本堂を仮校舎として開校，潤徳学舎と称す。
- 明11.11 三沢 701 番地に移転し，潤徳学校と称し校舎を新築する。
- 明20. 4 校名を潤徳尋常高等小学校と変更
- 明26. 4 校名を潤徳尋常小学校と変更
- 明34. 4 校名を潤徳尋常高等小学校と変更
- 明42. 5 昭栄尋常小学校を廃止し，落川分校とする。
- 昭16. 4 校名を潤徳国民学校と変更
- 昭22. 4 校名を七生村立潤徳小学校と変更
- 昭27. 5 創立 80 周年記念として，白鳥省吾作詩，信時潔作曲の校歌を作成す。
- 昭30.10 学校保健委員会が都教委及び都学校保健会より表彰さる。
- 昭33. 2 校名を日野町立潤徳小学校と変更
- 昭38.11 校名を日野市立潤徳小学校と変更(90 周年記念式典挙行，記念事業として水棲動物園，河川模型完成)
- 昭40.12 安全教育優良校として都教委及び都学校保健会より表彰さる。
- 昭41. 3 現在地に鉄筋コンクリート三階建防音校舎完成，落川分校廃止
- 昭44. 2 屋内体育館落成
- 昭44. 9 日野市立第八小学校分離

- 昭44.10 百草台分校併設
- 昭45. 4 百草台分校独立日野市立百草台小学校となる。
- 昭46. 2 日野市研究協力校として「学級指導の計画と実践」の主題のもとに研究発表協議会を開催。
- 昭46. 4 普通教室9教室，学校図書館(2 教室分)増築
- 昭47. 4 プレハブ教室増築
- 昭48. 4 プレハブ教室増築(4 教室)
- 昭48. 5 開校百年記念式典挙行記念碑植樹完成
- 昭49. 4 日野市立南平小学校分離
- 昭50. 4 仮称第15小学校建設希望提出

2. 歴代校長

- | 氏 名 | 年 月 ～ 年 月 |
|------------|-----------------|
| 初 大塚四郎 右衛門 | 創 立 |
| 2 覚 井 諦暁 | 明19.12 - 明11.11 |
| 3 和 田 作太郎 | 明11.11 - 明15.11 |
| 4 土方 喜久太郎 | 明15.11 - 明17. 2 |
| 5 宮 倉 保五郎 | 明17. 2 - 明19.10 |
| 6 小 宮 太之助 | 明19.10 - 明20.10 |
| 7 須 崎 和 蔵 | 明20.10 - 明31. 2 |
| 8 小 宮 弥一郎 | 明31. 2 - 明34. 4 |
| 9 加 藤 菊次郎 | 明34. 4 - 明36. 1 |
| 10 佐 藤 良 輔 | 明36. 1 - 明42. 4 |
| 11 沖 倉 与 一 | 明42. 4 - 明43. 4 |
| 12 荒 木 田大夫 | 明43. 5 - 明45. 3 |
| 13 小 宮 弥一郎 | 明45. 4 - 大12. 3 |
| 14 平 杉 蔵 | 大12. 4 - 大13. 3 |
| 15 矢 沢 久 司 | 大13. 3 - 大14. 9 |

16	小 泉 栄 一	大14.10～昭 3. 3
17	広 井 博	昭 3. 4～昭 7. 9
18	重 松 正 顕	昭 7. 9～昭14. 7
19	鈴 木 慶 蔵	昭14. 7～昭22. 2
20	赤 坂 元 春	昭22. 2～昭27. 9
21	塚 本 正	昭27.10～昭37. 3
22	尾 崎 半次郎	昭37. 4～昭41. 3
23	塚 本 正	昭41. 4～昭43. 3
24	溝呂木 桂 次	昭43. 4～昭47. 3
25	星 野 正 男	昭47. 4～昭51. 3
26	村 田 安 正	昭51. 4～ 現 在

3. 地域の環境

南に多摩丘陵が連なり、北には浅川が流れ、東西に田園が広がり、自然環境には恵まれていたが、最近急激に丘陵地帯には公団住宅や分譲住宅の造成が盛んに行なわれ、田園にも都営団地や住宅がふえ、過密化の傾向にあり、農業に従事する保護者の割合は約3%である。

東西に走る川崎街道の交通量も激増し、交通事故もふえている。休日には、高幡不動尊、多摩動物公園、多摩テック等に行楽客も多い。

4. 教育目標

- 敬 愛 ・心とからだをきたえます。
- 自 由 ・仲よく力を合わせます。
- 勤 労 ・よく考えて学びます。

5. 指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア. 各 教 科

児童にあった内容を選定して、学習効果を高める。

- ・学習過程を重視し、児童の思考力を伸ばす。
- ・指導方法をくふうし、教具を整備活用する。

イ. 道 徳

児童の実態に応じて道徳性を高める。

- ・公共心を培い、協力し合う心情を高める。
- ・勤労を尊び進んで物事をやりぬく態度を育成する。

ウ. 特別活動

児童の自主性・創造性を育てる。

- ・自分たちの問題に気づき、力を合わせて自分たちの手でこれを解決しようとする実践態度を養う。

- ・学習指導の内容を精選し，児童の態度，適応指導を進める。
- ・学級会での正しい話し合いのしかたを身につけさせる。

(2) 生活指導・進路指導の重点

学年，学級における生活指導の充実と徹底をはかる。

- ・学校における基本的行動様式を身につけさせる。
- ・児童ひとりひとりを見つめ，教師と児童との心の交流をはかる。
- ・安全指導を計画的に行なう。

(3) その他の配慮事項

- (1) 学校行事を精選し，教育活動にゆとりをもち，父母との連帯をすすめる。
- (2) 授業研究を通して指導方法をくふうし，児童の基礎学力の充実をはかる。

6. 児 童 数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	6	6	5	5	5	5	32
男	133	138	111	111	112	96	701
女	125	114	113	114	93	121	680
計	258	252	224	225	205	217	1,381

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	村 田 安 正	53	校 長	51. 4. 1	学校経営	
2	梅 田 茂	49	教 頭	47. 4. 1	道 徳	
3	古 谷 二三子	49	1 - 1	51. 4. 1	学級経営	一年学年主任
4	河 野 千 秋	40	2	48. 4. 1	社 会	
5	石 原 美 代	28	3	47. 4. 1	図 書	
6	伊 藤 清 子	46	4	45. 4. 1	家 庭	給食主任
7	渡 辺 トモ子	27	5	51. 4. 1	図 工	
8	大 森 ツル子	27	6	51. 4. 1	図 書	
9	渡 辺 孝 雄	40	2 - 1	50. 4. 1	体 育	渉外主任
10	川原田 和 子	31	2	46. 4. 1	心 障	算数主任
11	大 石 年 志	30	3	49. 4. 1	体 育	
12	小 山 節 子	32	4	46. 4. 1	算 数	国語主任
13	小 橋 奉 天	32	5	50. 4. 1	算 数	
14	三 浦 みのり	46	6	49. 4. 1	保 健	二年学年主任
15	青 木 良 子	54	3 - 1	48. 4. 1	図 工	三年 "

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
16	石 川 茂 子	24	3 - 2	50. 4. 1	社 会	社会科主任
17	高 橋 茂 子	32	3	49. 4. 1	算 数	
18	椿 坂 俊 夫	34	4	50. 4. 1	生活指導	生活指導主任
19	土 方 淳 子	29	5	45. 4. 1	理 科	
20	茅 野 とめ子	30	4 - 1	46. 4. 1	図 書	
21	中 野 弥 生	29	2	47. 1. 1	体 育	体育主任
22	斉 藤 己 吉	46	3	49. 4. 1	体 育	四年学年主任 環境整備主任
23	間 瀬 悦 子	26	4	47. 4. 1	図 書	
24	佐 藤 栄久雄	36	5	51. 4. 1	国 語	
25	小 川 雪 子	49	5 - 1	47. 4. 1	図 書	五年学年主任
26	渡 辺 みち子	25	2	48. 4. 1	図 書	財務主任
27	後 藤 楚 子	38	3	45. 4. 1	図 書	図書主任
28	加 藤 タ イ	37	4	51. 4. 1	理 科	
29	古 谷 孝 太	46	5	48. 4. 1	道 徳	道徳主任 研究主任
30	小 竹 章	51	6 - 1	49. 4. 1	特 活	教務主任
31	松 田 英 明	27	2	49. 4. 1	理 科	理科主任
32	川 井 矩 子	25	3	48. 4. 1	図 書	視聴覚主任
33	福 島 ちよ子	24	4	48. 4. 1	図 書	
34	岡 上 和 子	45	5	51. 4. 1	図 書	六年学年主任
35	内 山 美知子	43	音 楽	50. 4. 1	音 楽	音楽主任
36	小 堀 こうこ	27	"	47. 4. 1	音 楽	
37	小 口 清 一	38	図 工	47. 4. 1	図 工	図工主任
38	石 川 成 子	36	家 庭	45. 9.16	家 庭	家庭科主任
39	松 井 玉 江	47	養 護	49. 4. 1	保 健	保健主任
40	橘 田 晟	39	事 務	46. 4. 1	事 務	庶務会計主任
41	馬 場 典 子	24	栄 養 士	47. 4. 1	給 食	

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	学校における望ましい習慣形成のあり方
昭和41年度	基礎学力の充実 授業研究をととしての教材研究
昭和42年度	徒手体操の系統的指導法の研究
昭和43年度	体育の効果的な指導法 器械運動について
昭和44年度	系統性を重視したボール運動 社会的態度の育成をめざした集団行動
昭和45年度	学校生活における基本的行動様式の実践 学級指導を通して
昭和46年度	学級指導の計画化に基づく指導実践
昭和47年度	学習効果をたかめるための教材教具の整備と活用
昭和48年度	各教科の指導内容を精選し、指導課程をくふうして思考力を伸ばす。
昭和49年度	学年を中心とした授業研究と併せて普通学級における心身障害児の問題解決
昭和50年度	思考力を高める授業研究

9. 都教育研究員，研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員，研究生別
昭和35年度	斎 藤 宏	社 会	研 究 員
昭和38年度	斎 藤 イ ク	学校給食	"
昭和38年度	天 野 七 郎		"
昭和42年度	天 野 七 郎	算 数	"
昭和43年度	坂 井 和 子	教育方法	"
昭和45年度	村 上 悦 子	音 楽	"
昭和46年度	な し		
昭和47年度	清 水 七 郎	教育方法	研 究 員
昭和47年度	新 沼 英 樹	理 科	"
昭和48年度	な し		
昭和49年度	伊 藤 清 子	学校給食	研 究 員
昭和50年度	森 清 晃	理 科	研 究 員

10. 本校の特色

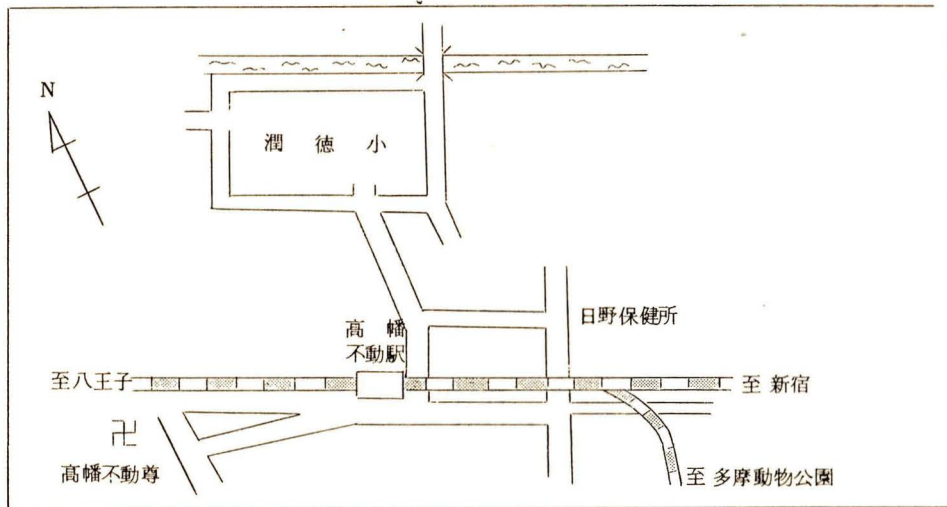
本校は明治6年5月12日に開校以来本年をもって百年式を迎え輝かしい伝統と歴史にはぐくまれ、また多摩丘陵の宅地造成にともなうベッドタウンとしての新興住宅地として転入の児童・父母との融和のなかに、新しい時代に則応した社会人の育成にあたっている。

本市第二の大規模校として、さまざまな困難な条件のなかで全職員一丸となって真の教育の理念達成をめざし邁進している。

11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
専門的・技術的職業	205	19.5	サービス従事者	52	4.9
管 理 的 職 業	107	10.2	農林，漁業従事者	18	1.7
事 務 的 職 業	260	24.9	そ の 他	57	5.6
自 営 業	75	7.1			
労 務 従 事 者	272	26.0	計	1,046	100

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立平山小学校
所 在 地 日野市平山4-8-6
電 話 0425-91-4123・0512
順 路 京王線 平山城址公園下車 徒歩8分
▽ 191

校長氏名 深 沢 真 人

教頭氏名 石 井 富 藏

1. 沿革の概要

- 明 6. 5 宗印寺を仮校舎として開校
(真心学舎といい修業年限は
8カ年)
- 明 17 平山598番地に新築移転
- 明 20. 校名を平山尋常小学校と改め
る。
- 明 35. 5 校名を平山尋常高等小学校と
改める。
- 明 41. 尋常科を6カ年, 高等科を2
カ年とする。
- 昭 16. 4 国民学校令の施行により七生
村立平山国民学校と改める。
- 昭 22. 4 新学校教育制度の実施により
七生村立平山小学校と改める。
- 昭 32. 2 日野町, 七生村合併により日
野町立平山小学校と改める。
- 昭 37. 2 東京都給食研究協力校として
研究発表。
- 昭 38. 11 市制施行により日野市立平山
小学校と改める。
- 昭 42. 5 鉄筋防音校舎および屋内体育
館の落成により, 平山4-8
-6に移転する。
- 昭 44 日野市研究協力校として「児
童の体力の向上」について研
究発表
- 昭 45. 3 防音鉄筋校舎9教室および機
械室工事完成
- 昭 46. 3 滝合小の新設に伴う学区変
更, 平山小学区は浅川の南側
の地区となる。

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ~ 年 月
梁 義 伯	明 6. 5 ~ 明 12. 1
大 沢 教之助	明 12. 1 ~ 明 20. 3
石 井 芳 丸	明 20. 4 ~ 明 30. 5
吉 永 信 丸	明 30. 6 ~ 明 35. 5
小 宮 弥一郎	明 35. 6 ~ 明 45. 3
古 屋 障 司	明 45. 4 ~ 大 2. 5
勝 又 房太郎	大 2. 5 ~ 大 4. 5
平 杉 藏	大 4. 6 ~ 大 9. 3
上 田 富 弥	大 9. 4 ~ 大 15. 3
杉山 喜知太郎	大 15. 4 ~ 昭 6. 3
石 川 雄 丸	昭 6. 4 ~ 昭 11. 2
鳥 羽 照 司	昭 11. 2 ~ 昭 13. 3
石 谷 倉太郎	昭 13. 4 ~ 昭 21. 3
飯 塚 節 三	昭 21. 3 ~ 昭 22. 3
田宮五郎右衛門	昭 22. 4 ~ 昭 28. 3
森久保 惣 治	昭 28. 4 ~ 昭 34. 3
高 橋 本 義	昭 34. 4 ~ 昭 37. 3
加々美 良 英	昭 37. 4 ~ 昭 40. 3
後 藤 正 太	昭 40. 4 ~ 昭 42. 3
安 積 利 治	昭 42. 4 ~ 昭 47. 3
小 野 晁	昭 47. 4 ~ 昭 51. 3
深 沢 真 人	昭 51. 4 ~ 現 在

3. 地域の環境

- (1) 浅川と多摩丘陵に挟まれた西は八王子市
に接する平地, 田んぼ, 畑等の農地も残っ
ており, 自然に恵まれた環境である。
- (2) 近年, 団地, 都営住宅, 造成地住宅等市
街化されつつあり, 他地域からの転入者が
多く, 児童数も急激に増加している。

4. 教育目標

- | | |
|-------------|----------------------|
| ① 健康安全教育的充実 | (1) 健康で 明るい子ども |
| ② 学力の充実 | (2) よく考えて さいごまでやりぬく子 |
| ③ 自主性の育成 | (3) 進んでよいことをする子ども |
| | (4) 力を合わせて働く子ども |

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各教科

- 指導の効率を高めるために、指導内容の精選はもちろん教材教具のくふう、機器の活用に重点をおき、学年会、校内研修活動を中心にすすめる。

イ 道徳

- 日常生活ののぞましい行動様式を育成する。
- 教材教具の整備、機器の利用をさらにすすめ、実態に即した徳目を精選して指導する。

ウ 特別活動

- 前年度につづき、行事、学級指導をととし、交通安全教育の指導をさらにすすめていく。
- 児童会活動・係活動をととし、自主性や協力のしかたを学ばせる。

(2) 生活指導・進路指導の重点

- 日々の学校生活をととし、教師対児童、児童対児童がひとりひとりを理解し、尊重し合っていくようにつとめる。
- 安全教育には特に留意し、児童ひとりひとりが自覚していくよう指導する。

(3) その他の配慮事項

- 前年に続き 40 分授業を実施し、児童にゆとりある学校生活を送らせ、教師対児童、児童対児童の心の交流をはかる。
- 放課後の時間をくふうし、教材研究、研修会、学年会にあて、いっそう指導の効率化をはかる。さらに、年間 3 回の授業研究を実施し、研究を深める。
- 心身障害児学級との交流につとめる。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	わかくさ	計
学級数	5	5	5	4	4	4	2	29
男	92	99	101	77	73	72	10	524
女	89	84	84	62	81	78	5	483
計	181	183	185	139	154	150	15	1,007

7. 教 職 員

(年齢は52年3月末現在)

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	深 沢 真 人	52	校 長	51. 4. 1	学校経営	
2	石 井 富 蔵	60	教 頭	46. 4. 1	学校経営	
3	小 林 和 子	33	1 - 1	49. 4. 1	国 語	教育相談
4	岩 井 豊 子	56	1 - 2	41. 4. 1	国 語	研究主任
5	梅 津 久 子	25	1 - 3	51. 4. 1	算 数	図 書 館
6	月 成 カズ子	27	1 - 4	47. 4. 1	算 数	研究相談
7	渡 部 由紀子	25	1 - 5	51. 4. 16	国 語	図 書 館
8	関 恒 夫	48	2 - 1	45. 4. 1	図 工	生活指導主任
9	田 美枝子	31	2 - 2	50. 4. 1	国 語	給 食
10	阿 部 二三子	28	2 - 3	50. 4. 1	国 語	図 書 館
11	多 久 江 美	24	2 - 4	50. 4. 1	算 数	図 書 館
12	安 達 美 武	31	2 - 5	44. 4. 1	社 会	生活指導
13	会 田 尚 子	40	3 - 1	44. 4. 1	算 数	生活指導
14	加 藤 千恵子	27	3 - 2	49. 4. 16	音 楽	教 務
15	坂 本 守	27	3 - 3	51. 4. 1	理 科	視 聴 覚
16	大 園 智 子	21	3 - 4	51. 4. 1	音 楽	教 務
17	塩 津 孝 子	29	3 - 5	51. 4. 1	図 工	給 食
18	長 尾 節 子	57	4 - 1	45. 4. 1	図 工	給 食
19	落 合 陽 子	27	4 - 2	48. 4. 1	図 工	図 書 館
20	和 田 文 雄	43	4 - 3	43. 4. 1	体 育	教務主任
21	綿 貫 清 江	25	4 - 4	49. 4. 1	図 工	心障教育
22	甘 利 信 子	29	5 - 1	49. 4. 1	社 会	視 聴 覚
23	藤 岡 和 子	42	5 - 2	51. 4. 1	理 科	教育相談
24	赤 松 紀 子	35	5 - 3	44. 4. 1	音 楽	給 食
25	溝 江 恵美子	35	5 - 4	39. 4. 1	国 語	心障教育
26	佐々木 実 幸	29	6 - 1	50. 4. 1	社 会	図書館, 心障教育
27	信 夫 清 彦	32	6 - 2	48. 4. 1	体 育	視 聴 覚
28	大 上 琢 磨	45	6 - 3	50. 4. 1	体 育	生活指導主任
29	碩 みよの	25	6 - 4	49. 4. 1	国 語	見学活動
30	大 鳥 ルミ子	39	わかくさ	48. 4. 1	社 会	心障教育
31	中 沢 芙美子	39	わかくさ	50. 4. 1	図 工	心障教育
32	三 浦 晴 代	27	わかくさ	49. 4. 1	家 庭	心障教育
33	吉 川 郁 子	42	理 科	44. 4. 1	理 科	視 聴 覚
34	川 上 昇 一	32	理 科	45. 4. 1	理 科	視 聴 覚
35	立 花 せつ子	30	音 楽	50. 4. 1	音 楽	図 書 館
36	藤 田 富治郎	31	図 工	48. 4. 1	図 工	クラブ活動
37	小 林 ふと子	29	養 護	49. 4. 1	体 育	保 健
38	田 中 義 之	30	事 務	44. 4. 1	事 務	

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	理科（すじ道をたてて考える学習）
昭和41年度	同 上
昭和42年度	道徳（道徳指導計画の改訂）
昭和43年度	道徳・体育（道徳，体育を中心に資料の充実と視聴覚教材の活用）
昭和44年度	体育（体育活動を中心に体力の向上をはかる） 市研究協力校
昭和45年度	体育（体力の向上をはかる体育学習）
昭和46年度	生活指導（自主性を育てる）
昭和47年度	同 上
昭和48年度	同 上
昭和49年度	交通安全教育・安全対策の推進（地域の実態に即した）
昭和50年度	国語の指導
昭和51年度	国語の指導

9. 本校の特色

- 教育目標第一の柱「健康安全教育の充実」に重点をおき，地域の実態に即し交通安全教育の推進をはかっている。環境は約131㎡の大花壇・教材園，約100㎡の芝生園があり，児童の心情を暖める場を形成している。また，職員の手になるタイヤ山・電柱利用の固定平均台等の遊具施設がある。なお，昭和48年度から特殊学級が併設された。

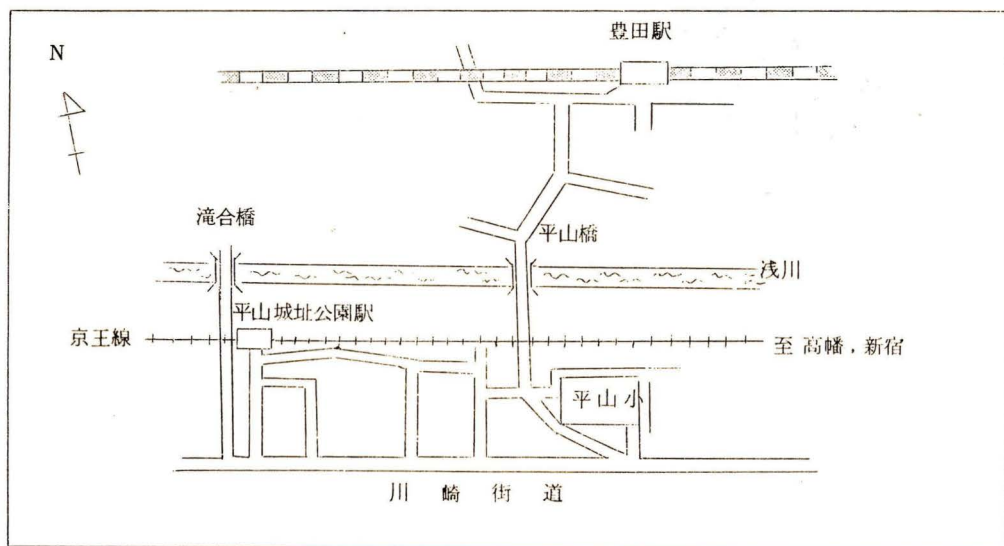
10. 都教育研究員，研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員，研究生別
昭和40年度	小 野 晃	道 徳	都研究員
昭和49年度	和 田 文 雄	体 育	都研究員
昭和50年度	大 上 琢 磨	体 育	都教育現代化委員

11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
企業経営者	26	4	労務従事者	85	12
専門・技術的職業	83	12	サービス従事者	77	11
管理的職業	51	7	農 林 漁 業	21	3
小 企 業 者	49	7	そ の 他	28	4
事務的職業	273	38	無 職	13	2

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立日野第七小学校
所 在 地 日野市神明上区画整理地域内106街区
電 話 0425-83-3907・3908
順 路 国電 中央線日野駅下車 徒歩約10分
▽191

校長氏名 星 野 武 之

教頭氏名 清 水 七 郎

1. 沿革の概要

- 昭46.12 ・七小開校促進委員会を、第五小学校PTAを母体として発足。以後、小委員会を14回にわたって開催し、七小開校に伴う諸問題について協議。
- 昭47. 3 ・市議会において、七小建設に伴う案件承認。
- 昭48. 4 ・日野市立日野第七小学校として開校。日野第一小学校および日野第七小学校の学区域を定め、児童数384名、12学級の規模で開校。
- ・トラックをのぞく運動場全面にティフトワーフ（洋芝）の植付け完了。
- 昭48. 5 ・プール建設工事着工
- 昭48. 6 ・校章制定『ひの七小』を、いちょうの葉で図案化したものである。植樹計画にいちょうの木を多くいれ、将来、いちょうの木が七小のイメージに合致することを夢見たものである。
- 昭48. 7 ・体育館建設工事着工
- 昭48. 8 ・プール建設工事完了。10日プール開き、水泳指導開始。体育倉庫も完成。
- ・フェンス建設工事着工
- 昭48. 9 ・校旗制定。校章を金糸、銀糸で表示。紫の布地にはえてあざやか。
- 昭48.11 ・第1次植樹計画完了。いちょうの並木、さくら、とうじゅろ、ヒマラヤすぎ、つつじ、さつき

など。学校らしくなる。

- 昭48.12 ・プールのフェンス完成。
- ・校歌制定。作詩、作曲、国立音楽大学教授 岡本敏明先生。
- 昭49. 2 ・体育館建設工事完了。体育倉庫を付設。
- 昭49. 3 ・日野市立日野第七小学校『校舎および体育館の落成記念式』と『校歌発表』
- ・3月1日を開校記念日に制定。校舎および体育館の落成記念式を記念。
 - ・第1回、卒業証書授与式。卒業生 2学級 45名。（男24，女21）
- 昭49. 4 ・開校2年目、入学児77名、児童数398名、12学級の規模で始業。
- ・西洋木づた、B棟の南面と西面に植付け。
 - ・第1次植樹の樹木、活着。いちょう並木のつつじ、鮮かなレッド、2列咲きそろう。
- 昭49. 5 ・東通用門わきに学級園、観察池と水田各1。正門わきに花壇、裏庭に焼却場完成。それぞれに区画の美をくふう。
- ・洋芝、順調に成長。再び、トラックをのぞく校庭全面が緑でおおわれる。
 - ・強風で、体育倉庫の屋根がとぶ。ただちに、修理復元。
- 昭49. 6 ・第1次避難場所に、集合場所の看板を設置。

- 昭 49. 9 ・夏季休業中の工事完了。音楽室の2重防音と換気扇の取付け。飼育小屋の建設。
給食室の前室の床、防塵フィルター・網戸の取付け。玄関の水道取付け。砂場の
新設。駐車場のくさり取付け。
- 昭 50. 2 ・西側通用門内の通路にじゃり敷き。
- 昭 50. 2 ・運動場のトラックと芝の境にれんがなどで仕切り取付け。
- 昭 50. 3 ・第2回卒業証書授与式。卒業生、2学級65名。男子31名、女子34名。
- 昭 50. 4 ・開校3年目、入学児童76名、児童総数426名、12学級の規模で始業。
・校庭芝の芽生え順調。
- 昭 50. 7 ・校庭西側に円形砂場完成。
- 昭 50. 9 ・実践女子大西側通学路、3年めによりやく舗装される。
- 昭 50.12 ・B棟の周囲に植えた西洋木づた、はい登りはじめる。
- 昭 51. 1 ・西通用門に、飛び出し防止さくを仮設。
- 昭 51. 3 ・第3回、卒業証書授与式。卒業生、2学級58名。男子29名。女子29名。

2. 歴代校長

初 代 星 野 武 之 昭和48年4月～現在

3. 地域の環境

本校は中央線日野駅から線路ぞいに徒歩10分。二つの坂を登りつめた高台に位置している。坂を登りながら眺められる校舎は、周囲にさえぎられることなく自然と調和して、環境のよさに心をひかれる。

本校所在地の日野市神明上区画整理地域内の呼称が示すように、校舎の北側に少々住宅がたちはじめたほかは、東側、そして南側には、樹木、雑草、畑作物の緑が広がっている。

屋上に登ると、学区全体をくまなく見渡すことができる。本校児童の95%は、中央線の鉄路でへだてられた西側の台地に居住している。この地域は、こゝ10余年の間に旧甲州街道ぞいに発達した新興住宅地帯である。都営住宅、さらに分譲住宅という順に急速にふくらんできた町である。あちこちに林があり、樹木が散在するこの地域は、児童の成長にとってすこぶる好ましい状況にある。

現在、本校の南側0.5Kmのところの日野消防署がある。日野市の庁舎をこの地に建て市の中心街とする青写真ができています。また、現在整理中の宅地造成の作業がここ数年のうちに完了すると聞いている。

校舎の東側校地に、これからの人口増を予想した校舎増築の構想ができています。

4. 教育目標

生命の尊重を基調とし、仲よく健康で豊かな個性と能力をもった子どもを育成する。

- みんなと仲よく がんばります。 ○ 心とからだを きたえます。
- 深く考えて 学びます。 ○ いきものを だいじにそだてます。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科

- ムリ，ムダ，ムラのない授業の創造をはかる。（授業の効率化を目ざして～第1段階）
- 学習過程をととして，児童の主体性を育て，思考を高める。（学習～教授過程の改善とくふう）

(2) 道徳

- 指導法にくふうを加えながら，児童の道徳心情と態度の向上をはかる。
- 特に，本校児童の実態から，自主，自律の心，動植物愛護の心，向上心，努力心の向上に重点をおく。

(3) 特別活動

- 児童の自主的，自発的活動の場を設定し，自主，自発の心を育てる。
- 集団活動に，積極的に参加する態度を育てる。

(4) 生活指導

- 安全指導の徹底をはかる。
- 望ましい生活習慣の育成に努める。
- 望ましい友だち関係の育成に努める。

6. 児童数（昭和51年4月15日現在）

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	2	2	2	2	2	2	12
男	46	32	40	38	42	39	237
女	21	45	40	32	45	35	218
計	67	77	80	70	87	74	455

7. 教職員一覧

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	星 野 武 之	52	校 長	48. 4. 1	経営・国語	
2	清 水 七 郎	45	教 頭	51. 4. 1	経営・特活	
3	斉 藤 イ ク	67	1 - 1	48. 4. 1	音楽・図工	給食主任
4	小 室 恒	31	1 - 2	"	○社 会	視聴覚主任
5	成 井 朝 雄	48	2 - 1	"	理科・体育	施設主任
6	加 藤 美知子	26	2 - 2	"	○算数・家庭	（学校教育相談係）
7	信 夫 頼 子	31	3 - 1	51. 4. 1	図工・家庭	
8	小坂橋 五佐男	48	3 - 2	48. 4. 1	算数・道徳	教務主任
9	堀 内 美恵子	31	4 - 1	"	国語・算数	図書主任
10	舞 田 章 子	47	4 - 2	"	理科・体育	保健主任
11	嶋 貫 博	30	5 - 1	"	○体育・特活	

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
12	上 田 憲 二	29	5 - 2	48. 4. 1	○理科・体育○特活	
13	田 森 脩 詮	48	6 - 1	"	○国 語	生活指導主任
14	栄 久 子	29	6 - 2	"	算 数 ○ 家 庭	
15	池 田 宏 子	31	音 楽	"	○音 楽	
16	河 合 香 子	29	図 工	51. 4. 1	○図 工	
17	佐 藤 麻砂子	26	養 護	48. 4. 1	保 健	(教員相談 研修員)
18	吉 村 達 也	29	事 務	"	事 務	

※ 年令は、昭和52年3月31日現在 ○印は主任

8. 研究主題の推移

昭和48年度	学習環境の整備 ～学級経営の創意くふう～
昭和49年度	学習環境の整備 ～効率を高めるためのむだのない授業～
昭和50年度	学習環境の整備 ～効率を高めるためのむりむだのない授業～
昭和51年度	学習環境の整備 ～効率を高めるためのむりむだのない授業～

9. 本校の特色

(1) 小規模校の特性を生かした学校づくりを進めている。

開校4年め。児童数455名，12学級，日野市における最小規模の学校である。開校後1年間で，校庭の芝，プール，フェンス，植樹，体育館と，施設・設備のほとんどが完成した。2，3年めは，その充実・活用につとめてきた。本年度は，発展を目指す年である。

小さな学校でも大きく見えるように，ますます児童・父母・教職員がひとかたまりになって学校づくりに励んでいる。

(2) 自然環境に恵まれている。

学校周辺は，区画整理進行中のため住民が少なく，畑地が点在し，灌木の群れも見られ緑が多い。児童朝会するとき，耳をすますと野鳥のさえずりがさわやかに聞こえてくる。南には多摩丘陵西には奥多摩の山並，富士山なども眺められるすぐれた自然環境である。

(3) 校庭緑化の一環として，校庭に芝が植えられている。

この芝は，ティフトワーフといって，校底用としてきわめて適切な洋芝だといわれている。さか立ちする子，でんぐりかえしをする子，寝ころんで天を仰ぐ子，走っても歩いてもころんでもふわっとしたソフトな感触が返ってくる。緑のマットとなり，時には，緑のじゅうたんとなって子どもたちの心まではぐんでくれる。

将来を見とおして，校庭に整然と植えられた，いちょう，さくら，ひまらやすぎ，とうじゅろ，つつじ，さつき，たまいぶきといった樹木と調和して，体育面ではもちろんのこと，情操面でのすぐれた環境となっている。

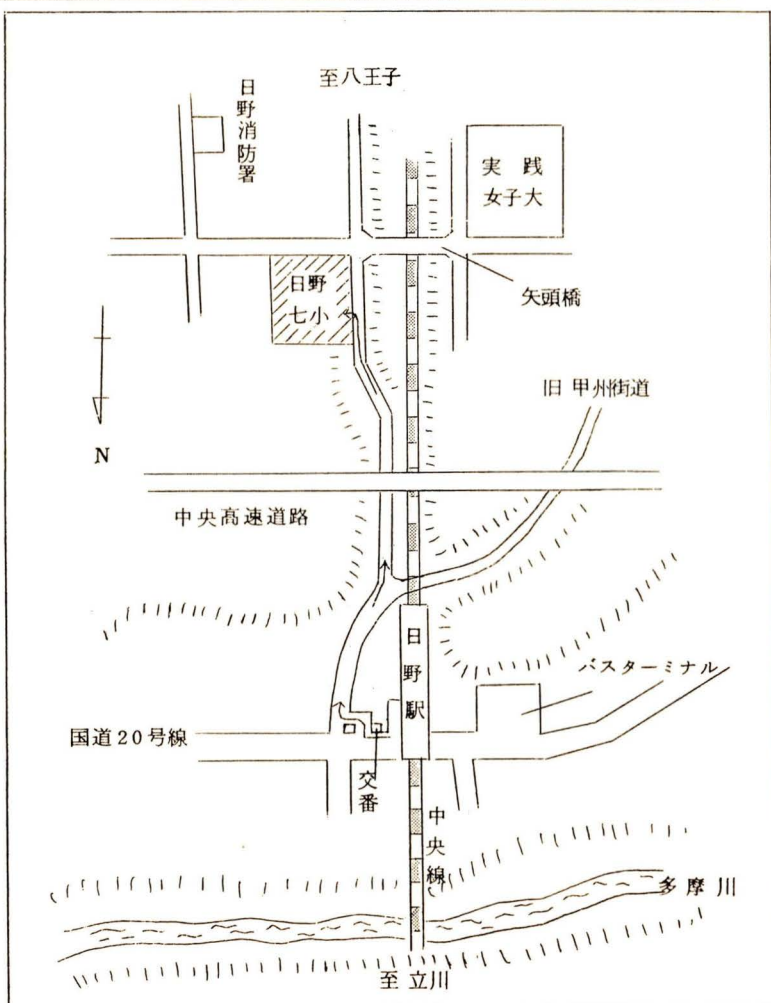
10. 都教育研究員・研究生出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員・研究生別
昭和48年度	田 森 詮	国 語	研 究 員
昭和45年度	小板橋 五佐男	算 数	"
昭和38年度	斉 藤 イ ク	学校給食	"
昭和36年度	星 野 武 之	生活指導	研究生(東京大学)
昭和39年度	大 熊 喜 一	生活指導	" (")
昭和47年度	清 水 七 郎	特 活	研 究 員
昭和50年度	清 水 七 郎	学校経営	現代化委員

11. 保護者の職業一覧 (昭和48年5月1日調査)

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
企 業 経 営 者	2	0.7	労 務 従 事 者	59	20.6
専 門 ・ 技 術 的 職 業	61	21.3	サ ー ビ ス 業 従 事 者	21	7.3
管 理 的 職 業	33	11.5	農 林 漁 業	0	0
小 企 業 者	28	9.8	そ の 他	9	3.1
事 務 的 職 業	74	25.4	無 職	1	0.3

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立日野第八小学校
所 在 地 日野市三沢 200
電 話 0425-91-2411・2412
順 路 京王線 高幡不動駅より東へ徒歩15分

校長氏名 岡 本 省 吾

教頭氏名 和 田 国 平

1. 沿革の概要

昭和44年度

- 44. 1. 2 潤徳小学校の児童激増に伴い
第八小学校開設が決定し、工
事に着手した。
- 44. 4. 1 第八小学校の開設を9月1日
と予定し、潤徳小学校におい
て八小関係の教員並に児童を
分離して編成し授業を開始し
た。
- 44. 8.16 日野第八小学校が開設され金
子武夫 初代校長と 長井新次郎
教頭の二名が着任した。
- 44. 8.16 教員 16 名と事務職員1名が
八小教諭ならびに事務主事に
補せられた。
- 44. 9. 1 日野第八小学校が開校となり、
八小関係児童に入学通知が出
され、415名の児童が潤徳小
より転入した。しかし校舎未
完成のため移転できず、その
まま潤徳小で授業を行なう。
- 44.11. 1 開校式挙行 11月1日開校記
念日と決定。
- 44.11.25 第八小学校落成式祝賀式挙行。
- 45. 1.15 公募により八小の校章決定
- 45. 3.25 第一回卒業式挙行
56名の卒業生を送る。

昭和45年度

- 45. 4. 1 学級増の14学級となりブレ
ハブ2教室増築。
- 45. 4. 6 第1回入学式を挙行し、94
名の一年生を迎えた。

- 45. 5.28 P T A奉仕により校庭の植樹
作業を行なう。
- 45. 6.15 今年度の校内研究の重点教科
を体育と定め、毎月研究授業
並びに研究会を行なった。
- 45. 7.15 日野第八小学校の校旗ができ
た。
- 45. 7.16 25m6コースの新プールが
完成し、落成式並びにプール
開きを行なう。
- 45. 9. 7 新校歌が完成し秋の大運動会
で披露した。なお作詩は米津
千之、作曲は渡辺浦人による
ものである。
- 45.12.20 校地のまわりの柵が完成した。
- 46. 3.25 第2回卒業式挙行 67名の
卒業生を送る。

昭和46年度

- 46. 4. 6 第2回入学式を挙行し、109
名の一年生が入学した。
学校全体では1学級増の15
学級となり、教師は1名増員
となった。教室不足のため校
舎東側にプレハブの教室を増
築した。
- 46. 4.10 本年度より水、木の2日間を
40分授業とし、業間体育並び
に集会を行なうことにした。
- 46. 6. 4 本年度中に校舎施設、体育研
究等に関する他県より本校参
観は7件にのぼった。
市の社会教育のための校庭解
放が本年度より実施されるこ

- とになった。
46. 9.15 体育館工事が完成され、47年1月31日に完成した。
- 46.12. 3 日野市教育委員会研究協力校として「授業の効率を高める体育指導」というテーマで、練習カードの活用を中心に体育研究発表会を行なう。市及び市外の参加者約100名で盛会裡に終了した。
47. 2.15 体育館落成式並びに祝賀会を挙行了した。
47. 3. 6 来年度の学級増に伴なうプレハブ2教室が完成した。
47. 3.25 第3回卒業式を新体育館において挙行し、5学年以上が参加した。59名の卒業生を送る。

昭和47年度

47. 4. 6 第3回入学式を行ない、159名の一年生が入学した。1学級増の4学級となる。全校児童数は681名で、昨年より3学級増の18学級となった。プレハブ5教室使用。
47. 5. 9 今年度の研究テーマに「教材教具の活用」と「体育の練習カードの利用」をとりあげ、年間15回の研究会をもった。
47. 6.20 南側丘陵地に600世帯の西武百草園団地ができたため、児童数が急増、年間約250名の転入者があった。
47. 9. 1 本校舎8教室の増築工事が開始され48年3月に完成した。
- 47.10.20 本校南側の程久保川(4m)の改修工事がはじまり、48年5月に完成した。(巾13.5m)
48. 3.24 第4回卒業式を挙行し、94名の卒業生を送る。

昭和48年度

48. 4. 6 第4回入学式を行ない146名入学、学級数25
48. 6.20 日野市教育委員会の授業研究委託研究校となり、本年度の研究の中心を「授業の記録と分析」におき、研究校参観や校内研究等を実施する。
- 48.11.19 創立後はじめての学芸会を体育館で開催した。
49. 3. 1 人、車道をわけたモダンな校門が完成した。
49. 3.25 第5回卒業式を挙行し、105名の卒業生を送る。

昭和49年度

49. 4. 6 第5回入学式を挙行し191名が入学した。学級数25。昨年度より4学級増となりプレハブ5教室を使用する。
49. 5.15 市教委の授業研究委託校となり、研究の中心を「授業記録をもとに分析する能力を高め、毎日の授業に生かす」におき研究を進める。
49. 6.29 VTR一式を購入し、視聴覚教育の充実を図る。
49. 8.15 仮設2教室が増設され、図書室及び会議室兼教材室として使用する。
49. 8.31 放送機を取り替える。
49. 9.10 さく井より都市水道に切替える。
50. 1.20 校地拡張及びさくの移動。西門通学路の整備完了。
50. 2.20 第3期増築工事(普通教室6,教材室2,配膳室3,非常階段)及び付帯工事として職員更衣室,自転車置場,危険物貯蔵庫,投てき板等が設置された。

昭和50年度

- 50. 4. 7 第六回入学式を挙行し、228名が入学した。学級数27。昨年度より、2学級増となり、プレハブ教室を図書館、第二音楽室、児童会室とする。
- 50. 4. 9 市教委の授業研究委託校となり、研究の中心を「子どもが主体的に学習する授業のくふう」におき、研究を進めた。
- 50. 5.14 都立教育研究所三鷹分室より竹の子文庫の図書を前・後期計2000余冊を借用し、図書館教育の充実を図る。
- 50. 6.24 桜建設より校樹の「たちばな」3本が寄贈され、玄関前に植える。
- 50. 7.15 プール市水切替工事完了。
- 50.10.25 体育館床、塗装工事をする。
- 50.12.20 砂場(10×8m)完成する。
- 50. 3.25 第七回卒業式を挙行し、133名の卒業生を送った。

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
金 子 武 夫	昭和44.8～昭和48.3
岡 本 省 吾	昭和48.4～現在

3. 地域の環境

- ・本校は京王線の高幡不動駅と百草駅のはば中間の北側にある。校舎は田園の真中にあり、大自然の中で子どもたちは自由にはばたいている。通学区の最も速いところは学校まで40分以上もかかる。
- ・4カ所の京王線踏切、年々交通量の増す川崎街道をかかえ、交通禍の危険にさらされているため、特に交通指導に力を入れ、地域でも事故防止に全力をあげている。
- ・父母の70%がサラリーマンで学校に協力的である。

4. 教育目標

個性が豊かで調和と統一のとれた人間形成をめざして、つぎのような子どもを育成する。

- 健康でたくましい子 ○美しく、ゆたかな心の子
- 深く考え、やりぬく子 ○力を合わせ、はげみあう子

5. 本年度の努力点

- (1) きれいな学校 (2) 明るいあいさつ (3) 正しいことば

6. 本年度指導の重点

- (1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア. 各教科

1. 児童の発達段階・能力に応じた学習形態をくふうし、ひとりひとりに目標をもたせ、意欲的に活動させる。

2. 考えさせるための効果的な発問をくふうする。

3. 教材，教具の活用を図る。

イ. 道 徳

1. 低学年は学校のきまりや礼儀作法を身につけさせる。

2. 中学年は協力や忍耐について内面的に深める。

3. 高学年は責任感を養い，親切を実践させる。

ウ. 特別活動

学校生活を豊かにするために，児童の意欲的な活動をする力を育てる。特に学級指導は月別に指導内容を明確にし，学級における好ましい人間関係と健全な生活態度をつくる。

(2) 生活指導・進路指導の重点

1. 職員が協力して全児童の生活指導に関心をもち，生活目標の徹底を図る。

2. 学校内における安全指導を徹底し無事故を目標として努力する。

(3) その他の配慮事項

1. 年間をととして 40 分授業とし，業間活動を充実する。

2. 職員朝会を効率的に改善し，生み出した時間で「教師の 5 分間研修」を継続的に実施する。

3. 心身障害児に対する対策を強化する。

7. 児 童 数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	5	6	5	4	5	4	29
男	117	123	97	97	93	88	615
女	98	105	103	70	93	74	543
計	215	228	200	167	186	162	1,158

8. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	教 科	そ の 他
1	岡 本 省 吾	55	校 長	48. 4. 1	経 営	
2	和 田 国 平	48	教 頭	50. 4. 1	道 徳	
3	安 齋 満里子	43	1 - 1	50. 4. 1	社 会	
4	川 田 浩 子	39	1 - 2	51. 4. 1	算 数	給食主任
5	中 川 元 美	33	1 - 3	47. 4. 1	理 科	
6	長 浜 和 子	33	1 - 4	44. 8.16	家 庭	
7	西 田 陽	40	1 - 5	51. 4. 1	国 語	教 務
8	渡 辺 和 子	33	2 - 1	48. 4. 1	算 数	
9	飯 田幸幸 次	53	2 - 2	44. 8.16	算 数	教務主任
10	松 崎 千恵子	49	2 - 3	49. 4. 1	音 楽	

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	教 科	そ の 他
11	秋 山 照 子	33	2 - 4	46. 4. 1	図 工	
12	長 田 裕 子	39	2 - 5	44. 8. 16	家 庭	
13	則 友 圭 子	36	2 - 6	50. 4. 1	国 語	
14	中 島 寿 子	33	3 - 1	48. 4. 1	体 育	
15	渥 美 秀 子	31	3 - 2	49. 4. 1	理 科	
16	馬 場 令 子	25	3 - 3	51. 4. 1	国 語	
17	平 山 毅	42	3 - 4	45. 4. 1	道 徳	安全教育主任
18	浜 辺 孝 子	21	3 - 5	50. 4. 1	算 数	
19	水 谷 辰 夫	24	4 - 1	48. 4. 1	社 会	
20	石 川 輝 子	42	4 - 2	49. 4. 1	体 育	保健主任
21	伊 藤 量 子	23	4 - 3	50. 4. 1	算 数	
22	佐 藤 章 吾	51	4 - 4	44. 8. 16	社 会	生活指導主任
23	伊 藤 フサ子	36	5 - 1	48. 4. 1	家 庭	
24	間 瀬 静 夫	28	5 - 2	48. 4. 1	体 育	
25	柳 沼 敏 男	50	5 - 3	44. 8. 16	理 科	教 務
26	池 田 康 雄	25	5 - 4	48. 4. 1	理 科	
27	橋 本 允 子	34	5 - 5	45. 4. 1	国 語	図書館主任
28	安 室 清 治	27	6 - 1	46. 4. 1	体 育	
29	小 沢 信	46	6 - 2	50. 4. 1	道 徳	
30	内 藤 康	41	6 - 3	44. 8. 16	体 育	学校行事主任
31	比 企 通 男	30	6 - 4	50. 4. 1	体 育	
32	市 川 忝 子	46	音 楽	47. 4. 1	音 楽	研究主任
33	北 原 恒 雄	26	音 楽	49. 9. 1	音 楽	
34	高 山 晴 子	49	図 工	51. 4. 1	図 工	
35	林 道 子	27	家 庭	49. 4. 1	家 庭	
36	佐 藤 ヒサ子	33	養 護	50. 4. 1	養 護	
37	郷 原 敦	31	事務主事	44. 8. 16	事 務	事務主任
38	溝 口 美 枝		主 事	50. 1. 1	給 食	

9. 本校研究主題の推移

昭和44年度	体育科の効果的指導法の研究
昭和45年度	授業の効率を高める体育指導 日野市研究協力校をうけ、45年度の研究のまとめを行う。
昭和46年度	研究テーマ 「授業の効率を高める体育指導」 “機械運動を中心にカードの作成と活用”

昭和47年度	○ 教材教具の効果的な活用 ○ 授業の効率を高める 体育指導 練習カードの作成と活用
昭和48年度	○ 教材教具を効果的に活用する授業研究
昭和49年度	○ こどもがよろこんで楽しく学習するように指導するにはどうしたらよいか (授業分析)
昭和50年度	○ こどもが主体的に学習できる授業のくふう。
昭和51年度	○ こどもが主体的に学ぶ学習指導

10. 本校の特色

- (1) 「きれいな学校」これが本校の努力目標である。「環境は人をつくる」といわれるが、特に環境づくりに力をいれている。校章をかたどった花壇、顔が写るくらい磨きあげられた床など自慢できる特色である。
- (2) みどりに包まれたすばらしい環境の中にありながら、体位体力は全国平均より劣っている。そこで創立以来、「たくましいからだづくり」をめざしてきた。業間に業間体育をすすめてきたが、現在はその幅を拡げ、業間活動としている。これは、体力づくりだけでなく、遊びを通しこどもの創造性を併わせて伸ばすねらいである。
- (3) 宅地化が進み、児童数は増加の一途である。したがって、普通教室2，図書館，第二音楽室をプレハブで過ごしている。52年度には、普通教室としてプレハブを4教室使用が見込まれる。

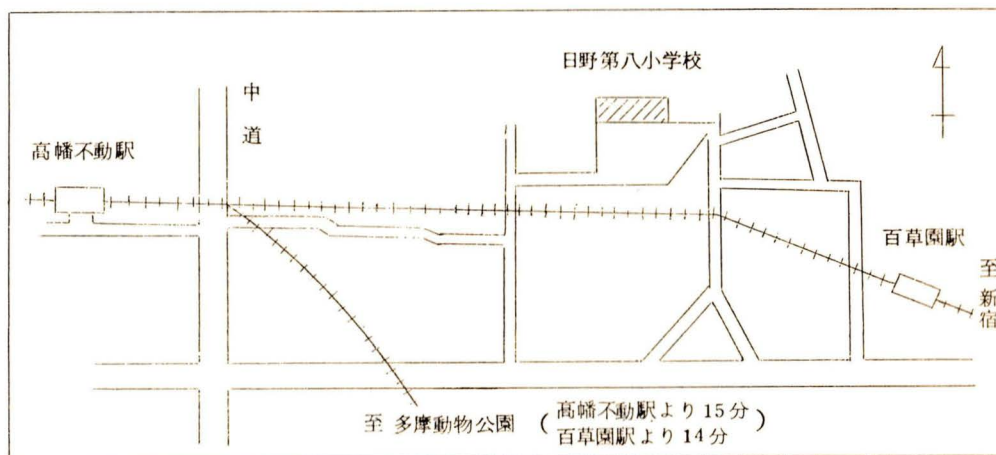
11. 都教育研究員

45年度	内 藤 康	「授業の効率を高める体育指導」
47年度	近 藤 正 晴	「疑問をもちながら読む読書指導」
48年度	平 山 毅	道 徳
49年度	内 藤 康	「体育」研究派遣生

12. 保護者の職業一覧

職 業 分 類	家庭実数	%	職 業 分 類	家庭実数	%
専 門 的 技 術 者	72	8.3	商 工 業 従 事 者	53	6.1
経 営 管 理 者	102	11.8	農 林 漁 業 従 事 者	13	1.5
一 般 事 務 従 事 者	384	44.6	サ ー ビ ス 業	22	2.6
公 務 員	78	9.0	そ の 他	16	1.7
保安サービス業	8	0.9	無 職	3	0.3
運 輸 業	39	4.5			
技 術 従 事 者	66	7.7	計	860	100

13. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 百 草 台 小 学 校
所 在 地 日 野 市 百 草 999
電 話 0425-91-0998
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行き
バスにて5分 百草センター下車

校長氏名 田 中 春 男

教頭氏名 松日楽 敬 治

1. 沿革の概要

昭44. 8 校舎新築起工
44.12. 1 日野市立潤徳小学校百草台
分校として潤徳小学校内で
授業開始。
45. 4. 1 日野市立百草台小学校とし
て新校舎に移転開校する。
学級数8, 児童数118,
教職員16, 市職員3
45. 6. 1 開校式举行, 6月1日を開
校記念日とする。
45. 9. 1 高幡台団地の入居により児
童数増加296名となり, 学
級数11, 教職員17となる。
46. 3. 8 校旗, 校歌発表会を開き3
月8日を制定記念日とする。
46. 3.25 第一回卒業式举行
卒業生 34名
46. 4. 1 社会増による教室不足のため
プレハブ6教室増設
46. 4. 6 児童数604, 学級数16,
教職員23, 市職員3となる。
46. 4.30 校地北側の埋立工事完了
46. 7.31 プール工事完了, 大プール
小プール, シャワー, 更衣
室, 機械室等竣工
46.12.15 体育館新築工事着工
47. 1.31 給食調理室および周辺の舗
装工事竣工
47. 2.12 調理室火入れ式举行, 調理
開始
47. 3.25 第二回卒業式举行
卒業生 44名
47. 3.31 高幡台小学校の新設にとも

なう学区変更により高幡台
団地および周辺の児童は高
幡台小学校へ転校。
昭47. 4. 1 高幡台小学校の新設により
児童数416, 学級数12,
教職員18となる。
47. 6.17 体育館落成式举行。
48. 1.31 図工室南側と北側に花だん
竣工
48. 2. 1 投てき板が完成
48. 3.17 校庭南の土手につつじ園が
完成
48. 3.24 第三回卒業式举行
卒業生 43名
48. 4. 6 児童数463, 学級数13
48. 9.26 校舎造築工事開始
49. 3.25 第4回卒業式举行 卒業生
39名
49. 3.31 増築7教室竣工
49. 4. 6 児童数541, 学級数16
教職員数24名
50. 3.25 第5回卒業式举行
卒業生 48名
50. 4. 7 児童数613名 学級数17
職員数25名
51. 3.25 第6回卒業式举行 卒業生
56名
51. 4. 1 増築校舎完成(普通教室7
図書室1)
51. 4. 6 児童数700 学級数17

2. 歴代校長

	氏 名	年 月 ～ 年 月
初代	岡 本 省 吾	45.4.1～48.3.31
2代	村 田 安 正	48.4.1～51.3.31
3代	田 中 春 男	51.4.1～ 現 在

3. 地域の環境

日野市の南東部にあって、多摩丘陵に造成された百草団地がおもな学区である。団地の内外とも起伏が多く、まわりにはまだ緑も多く、静かで変化に富んだ高台である。

眼下には浅川がゆっくりと流れ、その向うには日野市街に続いて立川まで一望に見渡すことができる。近くには多摩動物公園や百草園等があり、日曜日などは都塵をさけたリクレーションの人々にぎわう。

自然にいだかれたよい環境といえよう。

4. 教育目標

- 元気で じょうぶなこども
- 進んで 働くこども
- よく考え 正しいことをやりぬくこども
- 思いやりがあり 助け合っていくこども

5. 指導の重点

○ 各 教 科

思考力を高めるための授業に重点をおく。

○ 道 徳

利己的なせまい考えをすてて、他人のことを思いやる精神を養い、その実践化をはかる。

○ 特別活動

児童活動と学級指導に重点をおき指導計画の実践につとめる。

○ 生活指導

- ・ 集団生活のエチケットをきびしく教え、社会生活の秩序と協力の精神を養う。
- ・ 学校美化、清掃をととして公共物愛護と勤労の精神を養う。

6. 児 童 数 (51.4.10 現在)

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	4	4	3	1	2	2	17
男	93	71	71	40	50	32	357
女	81	69	55	31	35	44	315
計	174	140	126	71	85	76	672

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	田 中 春 男	53	校 長	51. 4. 1	経 営	
2	松日楽 敬 治	50	教 頭	50. 4. 1	経 営	
3	幸 野 嘉 子	50	1 の 1	46. 4. 1	算 数	教 務
4	若 月 美登里	25	1 の 2	49. 4. 1	理 科	科学センター
5	中 川 和 代	27	1 の 3	48. 4. 1	社 会	特活 遊びの委員会
6	鷹 尾 富貴江	35	1 の 4	51. 4. 1	算 数	給食指導
7	菊 池 悦 子	35	2 の 1	45. 9. 1	国 語	安全指導委員
8	藤 井 泰 蔵	26	2 の 2	50. 4. 1	国 語	特活 代表委員会
9	村 松 徹 二	49	2 の 3	46. 4. 1	理 科	教 務
10	田 中 鈴 子	28	2 の 4	48. 4. 1	国 語	研修委員
11	三 浦 勝 也	47	3 の 1	49. 4. 1	特 活	教務主任
12	鈴 木 淳 子	25	3 の 2	49. 4. 1	音 楽	教務事務
13	大 羽 かほる	28	3 の 3	49. 4. 1	国 語	環境整備委員
14	油 井 朝 子	24	4 の 1	50. 7. 16	社 会	広報委員
15	山 浦 幸 子	38	4 の 2	50. 4. 1	算 数	給食主任
16	永 井 一 郎	40	5 の 1	49. 4. 1	理 科	研究主任, 科学センター
17	石 黒 芳 子	41	5 の 2	51. 4. 1	社 会	給食指導
18	荻 沢 モト子	49	6 の 1	45. 4. 1	図 書	生活指導主任
19	佐 藤 昭 彦	41	6 の 2	49. 4. 1	体 育	特活, 環境
20	千 台 健 治	25	理 科	49. 4. 1	理 科	放送 視聴覚 科学センター
21	飯 島 睦 子	35	音 楽	49. 4. 1	音 楽	市互助会 広報
22	佐 藤 カズ子	30	図 工	45. 4. 1	図 工	入退事務, 図書館主任
23	佐々木 加津子	44	養 護	45. 4. 1	保 健	P T A 担当庶務主任
24	石 川 一 政	23	事 務	51. 4. 1		管財事務
25	斉 藤 茂	45	組合専従	45. 4. 1		

8. 本校研究主題の推移

昭和46年度	作文指導の系統
昭和47年度	作文の力をのばす指導
昭和48年度	考える力をつけるための授業
昭和49年度	授業を通して思考力を高める
昭和50年度	思考力を養うための教材の精選と授業のあり方
昭和51年度	思考力を養うための教材の精選と授業のあり方

9. 本校の特色

在学児童のおよそ 95 パーセントが住宅公団百草団地から通学する児童であり、いわゆる団地学校である。そのため通学路は整備され、専用の遊歩道が通学路となり、安全性は極めて高い。しかし反面学区域がせまく、変化をもとめ、土のにおいに無限の魅力を感じているのが本校児童の実態である。

開校以来 6 年を経過したが、児童数の増加がはげしく、すでに高幡台小を分離し、さらに毎年 2 学級増の見込みで、数年先には、25 学級からの規模となる見通しである。激変する本校では教育上の内容、環境ともに数年先を見こした教育計画（長期計画とよんでいる）の充実が急務となっている。なお 50 年度は普通教室 9、図書室 1 の増築工事が完了した。

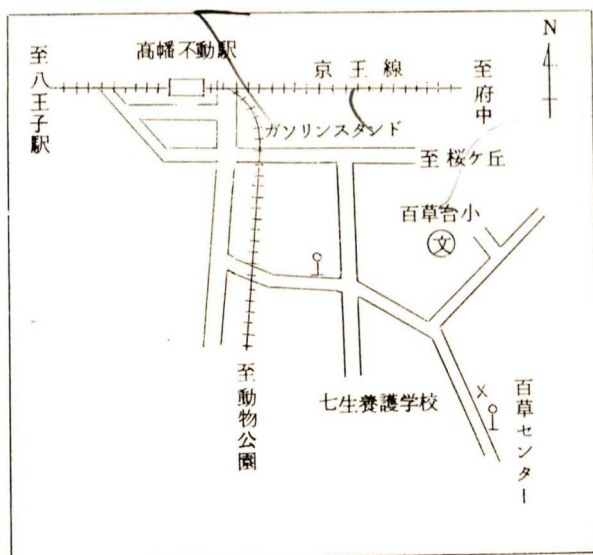
10. 都教育研究員，研究生歴

区 分	年 度	教科・領域	氏 名	場 所
研 究 員	37 年度	社 会	村 田 安 正	都 研
派 遣 生	37 年度	理 科	永 井 一 郎	学 大
研 究 員	41 年度	理 科	村 松 徹 二	都 研
研 究 員	45 年度	特 活	三 浦 勝 也	都 研
研 究 員	49 年度	保 健	佐々木 勝 子	都 研
現 代 化 委 員	49 年度	理 科	松日楽 敬 治	都 教 委

11. 保護者の職業一覧

職 業	自 由 業				勤 め 人				無 職
	商 業	工 業	自由業	その他	会社員	公務員	各種法人	その他	
%	1.2	0.6	3.3	0.9	67.6	15.4	6.0	4.7	0.3

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立滝合小学校
所 在 地 日野市西平山 2 の 3 の 1
電 話 0425-83-5172・5173
順 路 京王線 平山城址公園駅下車徒歩 10 分

校長氏名 鈴木 英 夫

教頭氏名 深 尾 真

1. 沿革の概要

- 昭 46. 4. 1 平山 2720 番地に開校
(学校長 峰岸敬次郎
児童 728 人 20 学級)
46. 6. 1 開校記念日
- 46.12. 1 校章, 校歌制定
47. 2.25 落成式挙行
50. 4 校地緑化用植樹 (桜・柳・梅等)

2. 歴代の校長

1. 峰岸敬次郎 昭 46.4 ~ 昭 50.3
2. 鈴木 英夫 昭 50.4 ~ 現 在

3. 地域の環境

- (1) 浅川の北側に点在する静かな農家をはさんで浅川より平山団地, 中央線沿いに鉄道官舎がならび, 新旧入りみだれた景観をもっているのが本校の学区である。
- (2) 中央線北側の住宅地域も一部分学区に加わり, 田んぼに囲まれた学校付近とは相対した様相をなしている。しかし, 学校西側には宅地造成も始まり, やがて住宅に囲まれた学校に生まれ変わるであろう。

4. 教育目標

- (1) 健康でたくましい子ども
- (2) 勉強に努力する子ども
- (3) 進んで協力し実行する子ども
- (4) 生きものをたいせつにする子ども

5. 本年度指導の重点

(1) 各 教 科

ア. 各種の教育機器の活用をはじめ, 教材教具を効果的に使用して指導法の研究を

する。

- イ. 授業研究を自主的におし進め, 国語, 算数, 社会の授業を重点的にとりあげ, 児童ひとりひとりに理解と愛情のゆきとどいた質の高い授業をめざす。

(2) 道 徳

ア. 人命はもちろん, 動植物の生命を尊重し, それに基づく健康の増進と安全教育に努力する。

イ. たがいに信頼し, 協力し合い, 実践活動を重視する。

ウ. やさしい心をもって, 動物や植物を愛護する。

(3) 特別活動

ア. 生活指導, 保健, 給食指導と密接な連絡のもと, 職員共通理解の上に立つて活動を進める。

イ. 教育目標を達成するために, 個々の児童の自主性, 創造性を尊重しながら連帯意識の昂揚をはかる。

ウ. 学級指導の充実をはかる。

(4) 生活指導の重点

ア. 「学級のきまり」を作成し, これを日日の教育活動に結びつけたり, 家庭との密接な連絡をとったりして日常生活における基本的な行動様式の育成をはかる。

イ. 交通, 避難の訓練行事や, 学校の全教育活動をとおして, 安全に対する意識や理解を深め, 自他の生命を尊重する実践的な態度を養う。

6. 児童数と学級数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	5	5	5	5	5	5	30
男	109	102	104	103	103	89	610
女	107	93	77	93	105	77	572
計	216	195	181	196	208	186	1,182

7. 教職員一覧

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	鈴 木 英 夫	53	校 長	50. 4. 1	経営()	
2	深 尾 真	52	教 頭	50. 4. 1	経営	
3	柿 沢 鎮 子	46	1 - 1	46. 4. 1	社 会	生活指導
4	田 辺 友 子	28	1 - 2	50. 4. 1	国 語	児童活動
5	鈴 木 ナ ヲ	55	1 - 3	47. 4. 1	社 会	道徳・給食
6	木 村 貴 子	31	1 - 4	50. 4. 1	家 庭	図書館
7	岩 尾 照 夫	47	1 - 5	48. 4. 1	算 数	生活指導主任
8	赤 松 昭 子	32	2 - 1	46. 4. 1	図 工	教育調査
9	柴 田 美知子	25	2 - 2	49. 4. 1	家 庭	道 徳
10	槇 圭 子	29	2 - 3	48. 4. 1	音 楽	教育調査
11	内 藤 洋 子	32	2 - 4	48. 4. 1	図 工	視聴覚
12	橋 本 清	50	2 - 5	46. 4. 1	体 育	視聴覚、補教
13	清 水 輝 夫	59	3 - 1	46. 4. 1	算 数	道徳、教務
14	小笠原 本 江	34	3 - 2	46. 4. 1	理 科	生活指導
15	小田切 みさき	24	3 - 3	49. 4. 1	算 数	道徳、保健
16	石 井 和 子	48	3 - 4	49. 4. 1	家 庭	保健、職員研修
17	山 口 智恵子	23	3 - 5	51. 4. 1	社 会	生活指導
18	渡 辺 か ほ	40	4 - 1	46. 4. 1	国 語	図書館、保健
19	宮 川 征三郎	38	4 - 2	51. 4. 1	国 語	図書館
20	伊 藤 恵 造	50	4 - 3	46. 4. 1	社 会	教務主任、学年主任
21	野 崎 賛	30	4 - 4	49. 9. 1	算 数	生活指導
22	小 林 桂 子	25	4 - 5	48. 4. 1	音 楽	給 食
23	川 井 龍 介	32	5 - 1	46. 4. 1	体 育	児童活動
24	熊 谷 三 起	52	5 - 2	46. 4. 1	図 工	掲 示
25	秋 野 美津子	29	5 - 3	46. 4. 1	音 楽	児童活動
26	井 上 善 夫	29	5 - 4	51. 4. 1	体 育	児童活動
27	川 上 美穂子	40	5 - 5	46. 4. 1	国 語	掲示、給食

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
28	西 田 敦 子	37	6 - 1	46. 4. 1	国 語	図書館
29	愛 甲 秀 人	28	6 - 2	47. 4. 1	理 科	視聴覚
30	志 村 道 子	32	6 - 3	49. 4. 1	理 科	児童活動
31	田 中 健	24	6 - 4	50. 4. 1	体 育	図書館
32	山 口 武 彦	45	6 - 5	46. 4. 1	社 会	教育計画, 給食
33	岡 田 あつ子	26	音 楽	47. 4. 1	音 楽	保健・補教
34	萩 原 章 子	30	家 庭	50. 4. 1	家 庭	給食
35	村 越 正	40	理 科	46. 4. 1	理 科	視聴覚
36	鳥 飼 政 喜	52	図 工	46. 4. 1	図 工	時間割
37	田 島 佳 子	34	保 健	46. 4. 1	保健・体育	保 健
38	藤 井 悦 子	28	事 務	47. 4. 1	事 務	
39	牧 野 誠	26	事 務	51. 4. 1	事 務	

8. 研究主題の推移

昭和46年度

教材教具を授業にもっとも有効適切に生かすには, その整備及び活用をどうしたらよいか。

昭和47年度

特別教室, 資料室等の利用を有効に, 教材教具を有効的に使用するよう指導法の研究をする。

昭和48年度

授業研究を自主的におし進め, 児童ひとりひとりに理解と愛情のゆきとどいた質の高い授業をめざす。

昭和49年度

授業研究を自主的におし進め, 特に体育の授業を重点的にとりあげ, 児童ひとりひとりに理解と愛情のゆきとどいた質の高い授業をめざす。

昭和50年度

児童の創造性, 思考力の発展をめざし, 各教科における系統的, 効果的な指導法の研究を深め, 授業研究をとおして児童ひとりひとりが主体的に学習を進められるような授業をめざす。

昭和51年度

児童の創造性, 思考力の発展をめざし, 前年度に引き続き国語・社会・算数を中心に, 児童の実態を基に授業研究を深め, 質の高い授業をめざす。

9. 本校の特色

- (1) 校地面積21391㎡という中学校なみの広さに, 二の字型のA棟B棟と音楽, 図工室は各2を備え, 市のモデル校的存在になっている。
- (2) 児童は全般的に素朴, 純情, 素直さ等の美点をもつ反面, 荒らけずりで, 活発に行動し, 元気のみなぎった児童も多い。

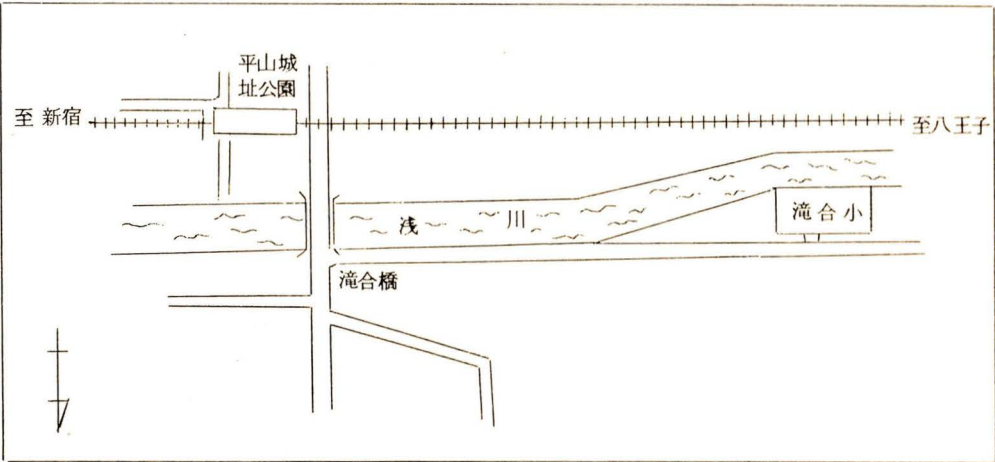
10. 都教育研究員，研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員・研究生別
昭和46年度	山 口 武 彦	社 会	都研究員
昭和47年度	山 口 武 彦	社 会	都研究生（都研究所）
昭和48年度	岩 尾 照 夫	算 数	都研究生（学芸大）

11. 保護者の職業一覧

職 業	家 庭 数	%	職 業	家 庭 数	%
農 業	3	0.3	会 社 員	561	6.24
工 業	10	1.1	医 師	5	0.5
商 業	38	4.2	公 社 職 員	90	10.0
運 輸 交 通 業	33	3.6	そ の 他	63	7.0
国 家 公 務 員	18	2.0	無 職	2	0.2
地 方 公 務 員	75	8.3	計	898	99.6

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立高幡台小学校
所 在 地 日野市程久保 550
電 話 0425-91-7011・7012
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバス
にて5分 高幡台団地下車

校長氏名 手代木 和 夫

教頭氏名 渋谷 義 一

1. 沿革の概要

- 昭 46. 8. 7 校舎新築工事起工
47. 3.10 校舎完成
47. 4. 1 日野市立高幡台小学校として開校。
鉄筋三階建校舎 普通教室 12, 特別教室 4, 特別室 9, 学級数 12. 児童数 402 名, 教職 18 名, 市職員 2 名
47. 5. 27 高幡台小学校 PTA 設立総会
47. 6. 24 開校式
本日を開校記念日とする。
47. 8. 1 プール完成, プール開き挙行
48. 2. 24 校旗, 校歌制定
48. 3. 24 第 1 回卒業式
卒業生 男 18, 女 15
計 33
48.10. 6 体育館落成式, 体育選手模範演技
49. 3. 25 第二回卒業式
卒業生 男 18, 女 28
計 46
49. 4. 1 第一期増築工事完成
普通教室 9, 図書室 1, 職員室改造工事
50. 3. 25 第三回卒業式
卒業生 男 29, 女 26
計 55
51. 3. 25 第四回卒業式
卒業生 男 32, 女 31
計 63

2. 歴代校長

氏 名 年 月 ~ 年 月
平 松 健太郎 昭 47.4.1 ~ 50.3.31
手代木 和 夫 50.4.1 ~ 現 在

3. 地域の環境

日野市の南東部の多摩丘陵に造成された高幡台団地がおもな学区域である。高幡台団地は 5 階~11 階の高層鉄筋住宅で、歩行者通路と車道が分けられていたり、郵便局、ショッピングセンターが住宅内にあるなど住み良く作られている。団地のまわりには緑の森林をめぐらし、西方には丹沢、関東山地の山々を越えて富士が望まれ、北西方には日野市街、日野台、八王子市街から遠く秩父の山々が連っている。学校および団地から眺められる景観はまことに美しくかつ壮大である。

近くには、多摩動物園、百草園、高幡不動があり、都民に親しまれている。住宅街の近くには田畑も残っていて、農耕にいそしむ農家の人々もあり、静かなよい環境といえる。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

個性豊かで調和と統一のとれた人間形成をめざしてつぎのような子どもを育成する。

- ・あたたかい心で 助け合うこども
- ・よく考え、自分からやりぬくこども
- ・働くこども
- ・明るく健康なこども
- ㊦ すけあう子
- ㊧ んがえる子
- ㊨ たらく子
- ㊩ くましい子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

学年目標の実践化につとめる。

学年目標の達成度を数量的に評価し、教育目標改善の資料を作成する。

指導の重点を「明るく健康な子」(たくましい子)におき、教科、道徳、特別活動の各領域の授業研究をとおして、指導の徹底化をはかる。

職員研修を充実し、教育効果の向上につとめる。

5. 指導の重点

ア. 教 科

- 明るく健康な子を育てるために授業研究を推進する。
- 国語、体育の指導計画を特に重点をおき作成する。
- 児童の自発的な学習意欲を高める指導法をくふうする。
- 教材、教具、学習環境の整備につとめる。

イ. 道 徳

- 明るく健康な子どもに重点をおき、思いやりのある子を育てるための指導を計画的にすすめる。
- 視聴覚教材の利用等を積極的に行ない指導の効率を高める。

ウ. 特別活動

- 特別活動全領域にわたって他学年との交流を深め明るく健康な子の育成につとめる。

エ. 生活指導

「学校のきまり」をみんなが守り、楽しい学校生活が送れるようにくふうする。

情操豊かな子どもを育てるために明るい学校、清潔な学校づくりをめざした指導を重視する。

6. 児 童 数

(年令は52.3.31日)

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	5	5	4	3	2	3	22
男	93	93	70	64	46	51	417
女	110	89	76	61	40	46	422
計	203	182	146	125	86	97	839

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
1	手代木 和 夫	58	校 長	50. 4. 1	理 科	
2	渋谷 義 一	49	教 頭	47. 4. 1	理 科	
3	松 沢 千枝子	26	1 - 1	49. 1. 1	算 数	教 務
4	村 越 裕 子	40	1 - 2	47. 4. 1	算 数	庶 務

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
5	勝 俣 友 子	39	1 - 3	51. 4. 1	体 育	教 務
6	中 村 笙 子	34	1 - 4	47. 4. 1	音 楽	生活指導
7	小 口 澄 代	30	1 - 5	51. 4. 1	道 徳	環 境
8	末 継 逸 夫	51	2 - 1	47. 4. 1	道 徳	教務主任
9	岩 崎 英 夫	24	2 - 2	50. 4. 1	体 育	教 務
0	渋谷 範 子	29	2 - 3	47. 4. 1	国 語	図 書
11	本 間 幸 子	27	2 - 4	48. 4. 1	図 工	庶 務
12	玉 置 順 子	30	2 - 5	50. 4. 1	国 語	図 書
13	坂 口 田 鶴子	54	3 - 1	50. 4. 1	算 数	給 食
14	山 内 道 子	26	3 - 2	49. 4. 1	社 会	給 食
15	岡 江 フミ子	27	3 - 3	47. 4. 1	音 楽	教 務
16	山 口 重 雄	27	3 - 4	50. 4. 1	道 徳	視聴覚部
17	赤 井 光 子	30	4 - 1	47. 4. 1	図 工	図 書
18	安 西 利 江	33	4 - 2	47. 4. 1	社 会	教 務
19	増 田 静 香	27	4 - 3	47. 4. 1	国 語	生活指導
20	須 藤 貞 雄	51	5 - 1	49. 4. 1	体 育	給 食
21	青 柳 佳 子	30	5 - 2	47. 4. 1	社 会	視聴覚
22	川 上 卓 一	30	6 - 1	49. 4. 1	理 科	生活指導
23	土 方 邦 男	31	6 - 2	47. 4. 1	算 数	環 境
24	佐久間 久美子	45	6 - 3	49. 4. 1	家 庭	教 務
25	江 口 耕 一	43	理 科	49. 4. 1	理 科	環 境
26	河原田 桂 子	44	音 楽	47. 4. 1	音 楽	生活指導
27	辻 田 六 郎	62	図 工	47. 4. 1	図 工	保健主事
28	佐 藤 慎 一	26	体 育	48. 4. 1	体 育	生活指導
29	細 井 聖 子	51	保 健	47. 4. 1	保 健	保 健
30	石 田 義 一	42	事 務	47. 4. 1	事 務	事 務
31	小山田 直 己	31	給 食	47. 4. 1		給 食

8. 研究主題の推移

昭和47年度	資料の整備と活用
昭和48年度	・「あたたかい心で助け合う子ども」の育成について
昭和49年度	・「あたたかい心で助け合う子ども」の育成について ・授業研究
昭和50年度	・「あたたかい心で助け合う子ども」の育成について ・授業研究
昭和51年度	・「明るく健康な子ども」の育成について ・授業研究

9. 本校の特色

- ・団地校であることから、家庭の生活程度が平均している。児童の知能程度も比較的高い。反面に閉鎖的で協力的な面が欠けるので「あたたかい心で助け合う子ども」の育成を目ざして研究を進めようとしている。
- ・開校四年目で整備されていない面が多く、将来の校舎増築などとも関連して、継続的、計画的な校内の環境整備が望まれている。一つずつ整備につとめている。

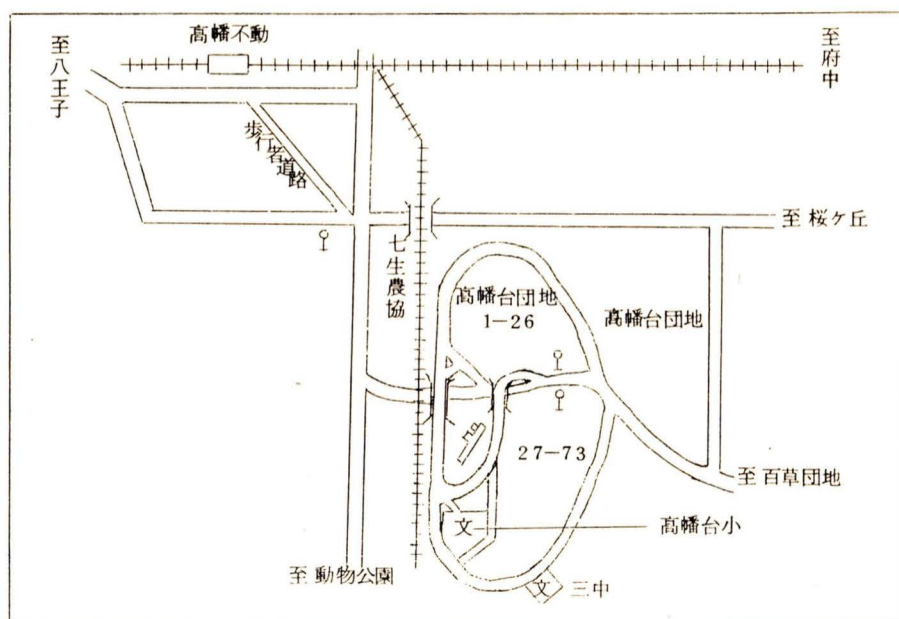
10. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員, 研究生別
昭和40年度	末 継 逸 夫	特殊教育	研 究 員
昭和41年度	渋谷 義 一	理 科	研 究 員
昭和42年度	渋谷 義 一	理 科	研 究 生

11. 保護者の職業一覧

職 業	家 庭 数	%	職 業	家 庭 数	%
会 社 員	445	68	報 道 関 係	15	2
公 務 員	45	7	各 種 技 師	18	3
教 員	20	3	会 社 役 員	10	2
運 輸	33	5	団 体 職 員	12	2
工 員	6	1	そ の 他	27	4
自宅商・自宅工	21	3	計	652	100

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 南 平 小 学 校
所 在 地 日 野 市 南 平 230
電 話 0425-92-2021・2022
順 路 京王線南平駅より徒歩10分

校長氏名 黒 沢 保 雄

教頭氏名 古 谷 洋 太

1. 沿革の概要

- 昭48.12.17 日野市教育委員会において南平小学校設置を決定。
- 48.12.26 日野市議会において、南平小学校設置を可決。
- 48.12～ 仮称「南平小学校」開設準備委員長に潤徳小星野正男校長以下11名の委員を決定。潤徳小PTAと協力し、小委員会を20数回にわたり開催開校諸準備をすすめる。
49. 2.19 仮設校舎の建設着工
49. 3.25 仮設校舎完成。プレハブ教室11、職員室1、校長・事務室1、職員室1、教材室1。他に潤徳小新館に4教室。更に保健室、用務員室をクラブハウスに設置。
49. 4. 1 日野市立南平小学校開校。学級数15、児童数535名、教職員22名、市職4名
49. 4. 5 仮設校舎校地整理完了。
49. 4. 6 第1学期始業式、第1回入学式挙行政。新1年122名
49. 5. 4 本校舎工事着工。総工費22,016.6万円。敷地面積2653.5㎡。鉄筋コンクリート四階建 防音校舎445.6㎡
49. 5.22 南平小学校PTA設立総会開催。
- 7.10 校樹として「スズカケの木」を決定。校旗・校章图案のもととする。

- 昭49.11.15 本校舎完成 普通教室20、特別教室5（理、音、家、図、図書）、その他保健室給食室、校長室、職員室、事務室、用務員室等。
- 11.22 校歌、校旗、校章の制定および発表会を潤徳小体育館にて挙行政。当日を本校開校記念日として制定。
- 11.29 本校舎へ移転。
- 11.30 校庭（運動場）整備完了、進入路舗装完了、正門・フェンス取付完了。全児童登校授業開始。
- 12.31 体育館完成。
50. 2.14 校舎、体育館落成式挙行政。同記念行事、同祝賀会挙行政。
- 3.25 第1回卒業式挙行政。卒業生67名
- 3.31 校庭、花だんへ植樹
4. 7 第2回入学式挙行政。入学児童118名
- 4.30 大小プール完成

2. 歴代校長

黒 沢 保 雄 昭49.4.1～現在

3. 地域の環境

本校の学区域は、日野市の南部に位置し、前面に多摩丘陵をきりひらいた南平台（なんぺいだい）、みなみが丘、鹿島台、川崎街道をはさんで南平中（なか）、下（しも）（昔からの唯一の集落）、京王線と浅川ぞいにはさまれた向島の六地区で構成され、比較的ま

とまった学区であり地区の把握がしやすい。南平中、下をのぞき何れも新興の分譲住宅地であり、父母の社会的、経済的地位は比較的安定している。従って学校教育によせる関心も高く、学校に協力的である。

学区には、自然林あり、田畑、果樹園等自然条件にめぐまれ、西方に丹沢連峰から秀麗富士を仰ぎ見、施設、設備、校庭等の完備と合まって、教育的環境としては最高の条件を具備している。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

本校の教育は、憲法、教育基本法に基づき、地域の特性をふまえ、児童の個性、能力の伸長と自発性・創造性を重視し、調和と統一のある教育をめざして行なう。

- 心身ともにたくましい子ども
- 考えながら学ぶ子ども
- 最後までやりぬく子ども
- おもいやりのある仲よい子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- 教職員の学校経営への積極的参加をととして、教師、児童の自発性、創造性を高め、よい校風づくりをはかる。
- たくましい心身を育てる教育環境づくりをはかる。
- 「各教科領域の研究」をととして、教育内容・方法の充実改善をはかる。
- 教師、児童の心の交流をととし、情操豊かで、最後までやりぬく子どもの育成をはかる。

5. 指導の重点

(1) 各教科

- 「考えさせる授業」の指導法をくふうし、目標、内容、方法の一貫化と教材教具の整備活用をはかる。
- 児童の自発的学習意欲を高めるくふうをする。

(2) 道徳

- 人間尊重の精神を根本におき、おもいやりの心をたいせつにする指導を計画的にすすめる。
- 各教科、領域との連けいを深め、内面化、実践化をはかる。
- 効率的な指導と実践をはかるために、指導計画の立案をすすめる。

(3) 特別活動

- 実践活動をととして、児童の自発性をうながす指導をすすめ、思考力、創造力を培う。
- 児童が積極的に楽しく参加できる特別活動の全体計画を樹立する。

(4) 生活指導

- ひとりひとりを大事にし、互に尊重し合う生活態度を培う。
- 「学校のきまり」を主体的にとり組ませ、充実した学校生活をさせる。
- 安全生活に心がけ、けがのない日、事故のない日をめざし、くふうする。

6. 児 童 数 (50.4.10 現在)

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	4	3	3	2	3	3	18
男	73	68	62	48	58	47	356
女	64	47	58	34	44	53	300
計	137	115	120	82	102	100	656

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
1	黒 沢 保 雄	51	校 長	49. 9. 1	学校経営	
2	古 谷 洋 太	50	教 頭	"	学校経営 図 工	
3	河 村 令 子	28	1 - 1	"	算 数	特別活動
4	宇 士 悦 子	32	1 - 2	"	社 会	図書館
5	船 橋 美奈子		1 - 3	51. 4. 1	国 語	図書館
6	高 橋 昭 子	50	1 - 4	49. 4. 1	音 楽	給食主任
7	逸 見 政 一	38	2 - 1	"	体 育	生活指導
8	杉 田 佳代子	25	2 - 2	"	算 数	視聴覚
9	和 田 いさを	34	2 - 3	"	音 楽	視聴覚主任
10	前 川 花 子	49	3 - 1	51. 4. 1	国 語	教 務
11	古久保 蝶 子		3 - 2	"	図 工	特別活動
12	塚 本 純 子	32	3 - 3	49. 4. 1	家 庭	庶 務
13	清 水 征 子	32	4 - 1	"	理 科	生活指導
14	坂 井 和 子	52	4 - 2	"	社 会	研究主任
15	当 間 糸 子	46	5 - 1	50. 4. 1	家 庭	図書館主任
16	杉 本 順 一	24	5 - 2	"	体 育	生活指導
17	藤 田 孝 彦	44	5 - 3	"	道 徳	生活指導主任
18	坂 本 富 子	29	6 - 1	49. 4. 1	理 科	特別活動
19	佐々木 守 夫	46	6 - 2	50. 4. 1	体 育	保 健
20	進 真 郎	49	6 - 3	49. 4. 1	理 科	教務主任
21	加 納 博 之	48	図 工	"	図 工	財務主任
22	村 上 悦 子	39	音 楽	"	音 楽	視聴覚
23	森 清 晃	49	理 科	51. 4. 1	理 科	教 務
24	土 屋 良 子	23	養 護	49. 4. 1	保健体育	保 健
25	野 崎 幸 子	23	栄 養	51. 1. 1	栄 養	給 食
26	田 辺 正 志	29	事 務	49. 4. 1	事 務	事 務

8. 研究主題の推移

昭和50年度分研究委託校として授業研究にとり組み、51.3第1回発表を行なう。

9. 本校の特色

- (1) 児童、父母ともに学校を信頼し、協力的である。
- (2) 児童、父母の経済的、社会的地位が比較的安定しており、要・準保護家庭がすくない。

10. 都教育研究員、研究生の出身歴

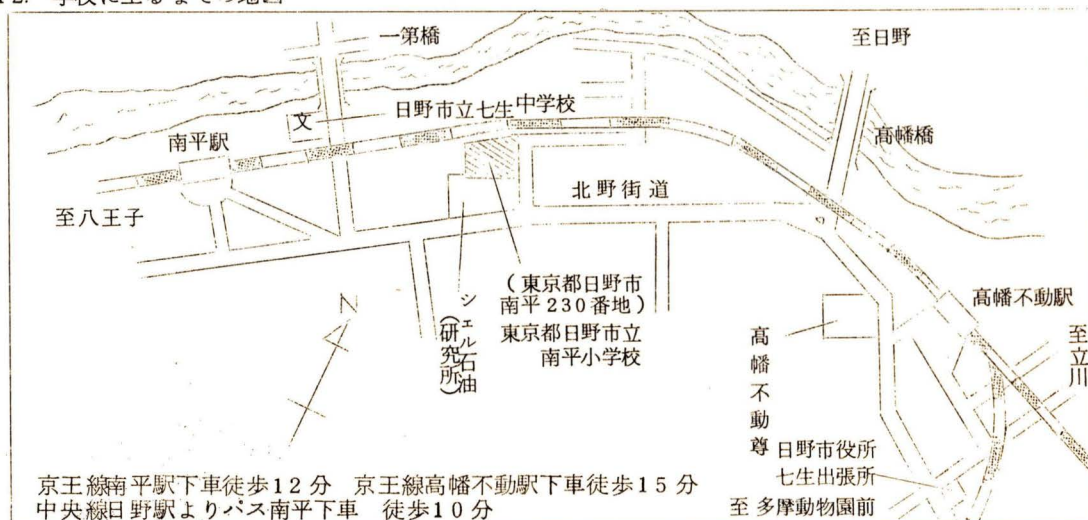
年 度	氏 名	教科領域	研究員・研究生別	昭和47年度	清水 七郎	特 活	研究員
昭和35年度	黒沢 保雄	社 会	研 究 生	昭和45年度	古谷 洋太	図 工	研 究 員
昭和39年度	黒沢 保雄	社 会	研 究 員	昭和48年度	藤田 孝彦	特 活	研 究 員
昭和42年度	坂井 和子	教育方法 (図書館)	研 究 員	昭和50年度	清水 七郎	"	現代化委
昭和45年度	村上 悦子	音 楽	研 究 員	昭和"	"		中堅研修

11. 保護者の職業一覧

50.4調べ

職 業	家 庭 数	%	職 業	家 庭 数	%
会 社 員	258	55	各 種 技 師	18	4
公 務 員	53	11	会 社 役 員	18	4
教 員	13	3	団 体 職 員	8	2
運 輸	18	4	農 業	9	2
工 員	5	1	建 設 業	16	2
自 宅 商・工	33	7	そ の 他	9	1
報 道 関 係	12	2			
サ ー ビ ス 業	3	1	合 計	473	100

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第一中学校
所在地 日野市日野 2614
電話 0425-81-0009 (代)
順路 国電 日野駅下車 徒歩10分

校長氏名 東 恭 朝

教頭氏名 佐 野 和 夫

1. 沿革の概要

- 昭22. 4.30 公立中学校として設置認可
日野中学校と称する。
23. 3.24 第一回卒業式挙行(卒業生
43名)
24. 4. 1 校歌制定)
29. 4. 1 校名を日野第一中学校と改
称
32. 3.22 校旗制定
37. 1.17 標準服実施の決定, 37年度
より実施
37. 9.17 新校舎(鉄筋防音)落成
38. 9. 9 プール落成
- 38.11. 3 日野市制施行, 市立日野第
一中学校となる。
39. 5. 1 特別教室完成
41. 7. 1 体育館落成
- 42.11. 4 二十周年記念式典挙行
- 44.10.19 救助袋5個取付
- 44.10.23 プレハブ校舎完成
46. 6.30 校庭夜間照明灯設置
(社会教育)
47. 2. 4 井戸水を市水道に切替え
47. 2.29 体育館への渡り廊下建設
48. 3.10 校舎増築(普3, 特別2)
完成(東側)特別教室への
渡り廊下完成
49. 6.30 プール循環装置完成
- 49.10.26 プール脱衣所完成
50. 3.20 第28回卒業式挙行(卒業生
281名, 通算7399名)
50. 3.26 体育倉庫完成
50. 4.12 プレハブ二階建校舎完成
51. 3.19 校舎増築(普3, 教材1,

生徒指導2)完成, 石灰庫
完成, 浄化槽完成(西側)

2. 歴代校長

- 初代 町田勘之助 昭22. 4~25.9(死去)
- 2代 飯塚 節三 25.10~37.3
- 3代 大沢 彰 37. 4~40.3
- 4代 大沢 量作 40. 4~45.3
- 5代 安部 達郎 45. 4~49.3
- 6代 東 恭朝 49. 4~現在

3. 地域の環境

日野市の東部, 多摩川と浅川の合流する第
四紀沖積層の低地に当り, 水の便よく水田が
発達し甲州街道ぞいの宿場町として栄えて来
た。近年郊外の住宅, 工場(羽田ヒューム管,
雪印乳業, オリエント時計), 特に中小企業
家内工業, 商業が多く, 近郊農業も見られる。

なお, 日野市の中心地区として, 市役所,
警察署, 郵便局, 消防署等が置かれ, 他に農
林省, 水産(淡水)研究所, 蚕業研究所があ
る。

4. 教育目標

わたしたちは, ひとりひとりを尊重し, 真
理と平和を求める人間となるために学び, 希
望に満ちた社会をめざしてつぎの目標を定め
ます。

- (1) よく考え, やりぬく人 (主体性)
- (2) 協力し, 全体につくす人 (連帯性)
- (3) 心豊かで 思いやりのある人(人間性)
- (4) 進んで, 心身をきたえる人 (健康)

5. 教育目標達成のための基本方針と指導の重点

(1) 基本方針

基育内容の組織	思考力や創造力の育成をめざし、教育内容の精選、集約化をはかる。
授業時数の配当	自主的な態度、社会連帯の精神、豊かな情操と積極的な体力の育成をめざし調和と統一のとれた人間の育成を期するための時数の配当をする。
指導方法	自発的態度を助長し、思考力を育成するため、表現や発表の機会を常にとり入れる。
諸条件の整備	教育内容の組織化と効率化をめざし、教育機器の活用をする。

(2) 指導の重点

① 各教科

積極的に学習する姿勢を育てる。
発表の場や表現の機会を多くする。
学習の計画を立てさせ、復習、予習の習慣をつける。
よく考える態度を養い学力伸長をはかる。
指導内容の精選、指導法の改善に努める。

② 道徳

ひとりひとりを尊重する態度を養う。
きまりを守り行動する態度を伸ばす。
感謝する気持を育てる。

③ 特別活動 ・教師の指導態勢を十分整え、自発的、自律的活動を伸ばす。

生徒活動 ・クラブ活動に参加し、自主的な活動を伸長する。
・学級の基盤に立った生徒会活動、委員会活動を重視し、自主的な活動を伸長する。
学級活動 ・望ましい人間関係を育て、健全な生活態度を形成する。
学校行事 ・活動の場を明確にし、自主性を育てる。

④ 生活指導

生徒相互による自主的運営の芽を育てるよう教師の共通理解を深め指導態勢を整えて

- 登下校の時刻を守り、休み時間と授業時間の区別をつけさせ、時間をたいせつにする態度を養う。
- 公共物を大切にし、進んで清掃に努めるなど、共同社会への貢献を自覚させる。

⑤ 進路指導

- 個々の生徒の能力、適正の把握に努め、自ら進んで進路について考えるよう指導をすすめる。

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	担任教科	分 掌 ・ そ の 他
1	東 恭 朝	51	校 長	49. 4. 1		
2	佐 野 和 夫	48	教 頭	47. 4. 1	技 術	
3	森 田 与一郎	23	1 A	50. 4. 1	国 語	教務部
4	福 島 良 樹	27	1 B	47. 4. 1	理 科	教務部
5	内 堀 範 子	28	1 C	47. 4. 1	英 語	図書視聴覚部
6	黒 田 健 蔵	27	1 D	51. 4. 1	社 会	生活指導部
7	大 貫 米 子	43	1 E	44. 4. 1	国 語	図書視聴覚部
8	逸 見 敏	38	1 F	46. 4. 1	美 術	生活指導部
9	筒 井 ハ ル	54	1 G	45. 4. 1	家 庭	教務部
10	宮 田 隆	27	1 H	48. 4. 1	保 体	生活指導部
11	岩 村 武	47	1年所属	50. 4. 1	社 会	教務部, 一年学年主任
12	山 賀 典 雄	47	"	46. 4. 1	技 術	研究部主任
13	黒 木 利 武	50	"	45. 4. 1	英 語	事務部主任
14	鈴 木 美代子	45	"	50. 4. 1	数 字	保健部
15	伊 藤 利 子	31	"	46. 4. 1	保 体	保健部
16	森 田 寿 子	55	" しあわせ学級	43. 4. 1	心障教育	研究部, しあわせ学級主任
17	岡 田 文 彦	36	2 A	44. 4. 1	数 学	教務部
18	萩 原 晃	39	2 B	48. 4. 1	理 科	生活指導部
19	宮 田 和 子	45	2 C	48. 4. 1	理 科	生活指導部
20	宇津木 十四男	50	2 D	46. 4. 1	国 語	生活指導部
21	渡 辺 礼 子	40	2 E	41.10. 1	英 語	保健部
22	天 野 義 雄	43	2 F	47. 4. 1	社 会	研究部
23	能 瀬 典 子	31	2 G	50. 4. 1	国 語	図書視聴覚部
24	青 木 保	31	2 H	51. 4. 1	音 楽	事務部
25	市 塚 正 史	44	2年所属	42. 4. 1	数 学	教務部, 二年学年主任
26	阿 藤 貞 夫	39	"	44. 4. 1	保 体	生活指導部
27	土 屋 智恵子	28	"	47. 4. 1	美 術	事務部
28	蓑 輪 博 美	28	"	48. 4. 1	家 庭	教務部
29	笠 井 素 子	39	" しあわせ学級	47. 4. 1	心障教育	教務部
30	立 川 泰 司	48	3 A	47. 4. 1	理 科	生活指導部主任
31	福 井 温 子	49	3 B	42. 4. 1	国 語	保健部
32	島 倉 昭 雄	47	3 C	51. 4. 1	英 語	研究部
33	設 楽 益 雄	39	3 D	49. 4. 1	社 会	生活指導部
34	星 貞 裕	25	3 E	48. 4. 1	理 科	生活指導部
35	羽 生 幸 一	43	3 F	45. 4. 1	国 語	教務部

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	担任教科	分 掌 ・ そ の 他
36	山 本 節 子	36	3 G	41. 4. 1	教 学	生活指導部
37	大 山 正 昭	46	3 H	43. 4. 1	英 語	図書視聴覚部主任
38	山 浦 宏	50	3年所属	45. 4. 1	社 会	事務部, 三 学年主任
39	阿 部 敬	48	"	43. 4. 1	音 楽	教務部
40	真 船 治 美	41	"	45. 4. 1	保 体	教務部
41	長谷川 忠 夫	44	"	48. 4. 1	数 学	教務部主任
42	鶴 田 幸 夫	22	" しあわせ学級	51. 4. 1	心障教育	生活指導部
43	小 谷 澄 江	27	養護教諭	45. 4. 1		保健部主任
44	古 塚 淳 夫	33	主 事	49. 4. 1		事務室主任
45	前 田 徹	44		50. 4. 1		充当指導主事(市教委)
46	城 所 京 子	38	講 師	51. 4. 1	美 術	(心障学級担当)
47	小 杉 葉 子	25	"	51. 4. 1	美 術	(普通学級担当)
48	木 村 降 文	24	"	51. 4. 1	技 術	(普通学級担当)
49	木 村 留美子	27	"	51. 4. 1	音 楽	(普通学級・心障学級担当)
50	渡 辺 はるみ	24	"	51. 4. 1	保 体	(普通学級担当)
51	松 本 キミ子	35	産休補助	51. 2. 17	美 術	
52	小野寺 節 子	40	"	51. 4. 4	家 庭	

8. 本校研究主題の推移

昭和41年度	本校生徒の学力と学習適応性
昭和42年度	基礎学力の充実とその効果的指導法
昭和43年度	小集団活動を通しての学級づくり
昭和44年度	小集団活動を通しての学級づくり
昭和45年度	新指導要領はどのように変わるか(教科について)
昭和46年度	新指導要領はどのように変わるか(教科以外について)
昭和47年度	特別教育活動の指導のありかた
昭和48年度	教科における指導法の改善について
昭和49年度	教科における指導法の改善について
昭和50年度	教科における指導法の改善について
昭和51年度	基礎学力の向上をめざす指導法のくふう

9. 本校の特色

掲げられた教育目標の具現下の一つとして、次の二点に特に意を用いている。

- (1) 基礎学力の向上をめざす指導法のくふうをとおして、生徒の学習の意欲を高め、よく考える態度を養うため、他校参観や校内での授業研究をもとに、資料の収集や整理につとめている。
- (2) 情操の育成を図るために、教室・廊下などの掲示指導に意を用い、また、校舎内外の美化のために全校いっせいに清掃を実施している。登下校時間の厳守には、教師・生徒会が一体となつてつとめている。

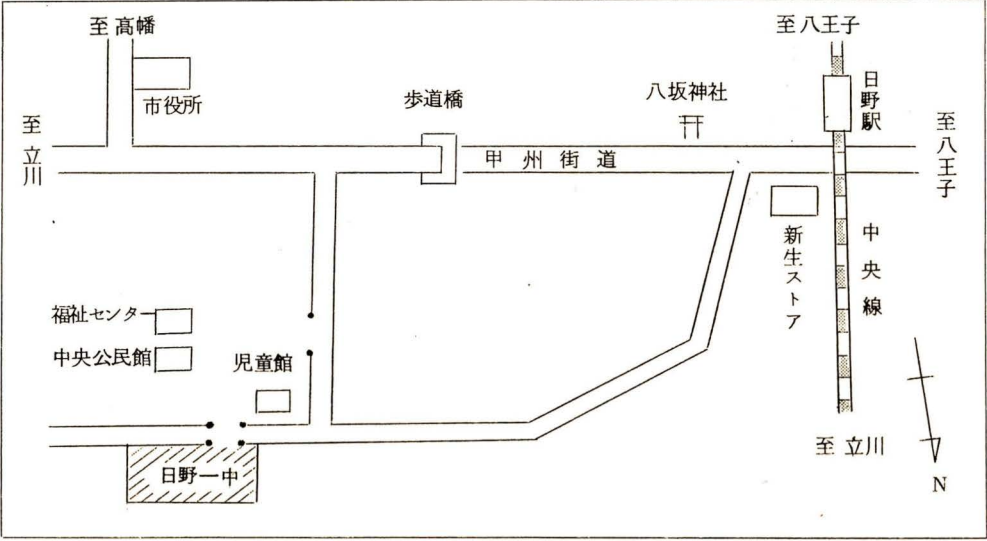
10. 都教育研究員・研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員・研究生別
昭和35年度	佐 野 和 夫	職 業	研究員（豊島区高田中）
昭和43年度	立 川 泰 司	特 活	研究員（八王子市横山中）
昭和43年度	長谷川 忠 男	数 学	研究員（福生市福生一中）
昭和44年度	市 塚 正 史	数 学	研究員
昭和46年度	岡 田 文 彦	進路指導	研究員
昭和46年度	萩 原 晃	特 活	研究員（墨田区両国中）
昭和46年度	島 倉 昭 雄	英 語	研究員（小平市小平四中）
昭和47年度	岩 村 武	教育方法	研究員（昭島市清泉中）
昭和47年度	市 塚 正 史	教育方法	研究員
昭和48年度	阿 藤 貞 次	保 体	研究員
昭和49年度	天 野 義 雄	特 活	研究員
昭和50年度	逸 見 敏	美 術	研究員
昭和50年度	島 倉 昭 雄	特 活	研究員（都立久我山盲）
昭和50年度	岡 田 文 彦	進路指導	（現代化委員）
昭和51年度	真 船 治 美	保 体	研究員

11. 保護者の職業一覧

職 業	人 数	%	職 業	人 数	%
専門的・技術的職業	120	11.8	技能的职业	285	28.0
官理的職業	126	12.4	運輸・通信の職業	66	6.5
事務的職業	228	22.5	サービスの職業	18	1.8
販売的職業	95	9.4	無職・その他	29	2.9
農業・漁業	48	4.7	計	1,015	100

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 二 中 学 校
所 在 地 日 野 市 多 摩 平 4 丁 目 5 の 2
電 話 0 4 2 5 - 8 1 - 0 0 5 6 . 0 2 6 2
順 路 中 央 線 豊 田 駅 下 車 徒 歩 1 0 分

校長氏名 小 林 政之助

教頭氏名 長谷川 辰 美

1. 沿革の概要

昭 29 年 設立認可，開校式，入学式（生徒 200 名）
第二期工事八教室増築落成
昭 31 年 第三期工事竣工落成
昭 32 年 第一回卒業式（卒業生 204 名）
昭 33 年 校旗，校歌制定
昭 34 年 産業教育研究校に指定される。
昭 35 年 特別教室（工作，調理，理科）竣工落成
昭 36 年 第二期特別教室竣工
産業教育研究発表会，修学旅行研究発表会
昭 37 年 プール竣工落成
昭 38 年 保健体育研究発表会
昭 39 年 普通教室 3 教室竣工，創立 10 周年記念式典挙行
昭 40 年 体育館竣工
昭 41 年 防音校舎第一期工事完成（6 教室）
昭 42 年 防音校舎第一期工事完成（18 教室），プール用更衣室工事完成
昭 43 年 南校舎前，境栽花壇完成
体育倉庫と校庭用便所完成
昭 44 年 プール専用便所一棟完成
プレハブ一棟
昭 45 年 プレハブ一棟
昭 46 年 プレハブ一棟
昭 47 年 プレハブ二棟
昭 48 年 四中新設のため 34 学級より 25 学級に縮小
昭 48 年 創立 20 周年記念式挙行
校舎改修工事（内装）
昭 49 年 南校舎 3 階塗装。技術科教室及

同準備室改造整備。調理室床塗装。体育館屋根修理，外装，中庭，池整備。

昭 50 年 南校舎 6 教室増設，南校舎 2 階塗装

2. 歴代校長

初代 橋本 貫一 昭 29 . 3 . 31 ~ 30 . 9 . 30
二代 増山 恒 昭 30 . 10 . 1 ~ 41 . 3 . 1
三代 飯田 栄一 昭 41 . 4 . 1 ~ 46 . 3 . 31
四代 河村俊一郎 昭 46 . 4 . 1 ~ 48 . 3 . 31
五代 飯田 卯吉 昭 48 . 4 . 1 ~ 51 . 3 . 31
六代 小林政之助 昭 51 . 4 . 1 ~

3. 地域の環境

学区は 3000 世帯を収容する多摩平公団住宅を中心に日野五社勤務者の居住する住宅がこれを取りまき，東南部になお農業地域を残し，本校は多摩平公団住宅のほぼ中央に位置している。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基本とし，民主的な社会の形成者としてたくましく実践力のある人間をめざし，

- (1) 健全なからだ，節度ある自主的精神を養う。
- (2) お互いに尊敬し合い，奉仕の態度を身につける。
- (3) 高い知性と豊かな情操を養う。

5. 本年度指導の重点

- ・学習指導
 - 指導法を研究し，授業効果を高め，基礎

学力の充実を期す。

○学び方を指導し，自ら学びとる学習の態度を育成し，学力の向上をはかる。

・生活指導

○基礎的生活習慣の確立，生徒との交流を深める。

・進路指導

○系統的指導計画の実践を通じて自己を理解し，将来の進路を選択する能力を育成する。

6. 学校経営方針

都，市各教委の指向する教育目標，本校の教育目標の具現に努めるため，次のことに経営の重点をおく。

(1) 学年相互の連けい，協力をはかる。

中学校は，時として，学年王国になり易い。設定した共通の目標——学校の教育目標——達成に焦点を合わせ，学年段階に応じた学年目標，学級目標の設定が必要である。あくまでも学年相互の有機的な関連をはかりつつ，教育課題への解決に学年各々の歯車がかみ合わねばならないと考える。

(2) 他から学ぶ謙虚さをもつと共に各自の持味を生かす学校は年令の差，性別，経験の差等，いろいろな教師の集りである。冷静なベテランの味，中堅の柔軟なアイデア，若い人の情熱を出し合い認め合って行く。その上に立って各自の持味を生かし創意工夫をこらして教育経営にあたっていく。

(3) 節度ある生活態度の保持

子供の教師への信頼は，父母の信頼につながる。そのためには，専門職を自覚し，研修につとめ教師としての実力を十分つけることである。授業研究の推進，市教研等の研修会参加等を通じて専門性を高めることである。けじめのある勤務態度こそ必要である。

7. 生 徒 数

	1 年	2 年	3 年	計
学 級 数	8	8	8	24
男	162	186	151	499
女	164	170	185	519
計	326	356	336	1018

8. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
1	小 林 政之助	52	校 長	51. 4. 1		経営管理
2	長谷川 辰 美	48	教 頭	48. 4. 1	英 語	校務一般
3	千 田 正 之	37	1 - 1	43. 4. 1	保 体	学習指導部（図書館）

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
4	大 山 裕 子	29	1 - 2	51. 4. 1	社 会	生活指導部(生徒指導)
5	北 野 義 昭	29	1 - 3	48. 4. 1	美 術	庶務部(営繕・施設・備品)
6	柳 井 佐和子	35	1 - 4	42. 4. 1	保 体	保健指導部主任
7	由 佐 豊 子	33	1 - 5	47. 4. 1	国 語	教務部(転出入・教科書)
8	永 谷 豊	42	副主 任 1 - 6	47. 4. 1	技 術	生徒指導部(生徒指導)
9	西 村 敦 子	36	1 - 7	47. 4. 1	家 庭	教務部(転出入・教科書)
10	渡 辺 恵 敏	40	1 - 8	46. 4. 1	理 科	生徒指導部(生徒会指導)
11	我 妻 要	52	1年主任	42. 4. 1	国 語	保健指導部(清掃・安全教育)
12	古 莊 斗糸子	36	1 年	45. 4. 1	数 学	校務部(諸帳簿)
13	大 庭 和 義	24	1 年	51. 4. 1	数 学	生徒指導部(生徒会本部)
14	石 田 洋 子	29	1 年	46. 4. 1	英 語	学習指導部(道德)
15	内 田 耕一郎	44	2 - 1	48. 4. 1	数 学	学習指導部(図書館)
16	和 田 啄 子	38	2 - 2	47. 4. 1	保 体	学習指導部(学活)
17	伊 東 道 雄	23	2 - 3	50. 4. 1	国 語	生徒指導部(生徒会指導)
18	福 地 和 子	36	副主 任 2 - 4	47. 4. 1	理 科	生徒指導部(生徒指導)
19	小 林 初 子	38	2 - 5	46. 4. 1	美 術	教務部(時間割)
20	広 瀬 昭	44	2 - 6	48. 4. 1	英 語	庶務部主任
21	飯 島 利 三	36	2 - 7	48. 4. 1	技 術	学習指導部(教育機器)
22	佐 藤 光 子	44	2 - 8	50. 4. 1	音 楽	生徒指導部(生徒会指導)
23	秦 好 一	51	2年主任	42. 4. 1	社 会	保健指導部(安全教育・清掃)
24	森 紀 子	35	2 年	45. 4. 1	社 会	教務部(時間割)
25	稻 川 正 義	47	2 年	44. 4. 1	理 科	生徒指導部主任
26	井 田 武	46	2 年	41. 4. 1	国 語	教務部主任
27	三 島 敏 史	26	3 - 1	49. 4. 1	理 科	学習指導部(図書館)
28	北 田 昇 司	27	3 - 2	47. 4. 1	理 科	教務部(報時,時数)
29	内 藤 美 代	24	3 - 3	50. 4. 1	英 語	生徒指導部(生徒指導)
30	安 原 実	28	3 - 4	48. 4. 1	社 会	生徒指導部(生徒会指導)
31	上 田 嘉 令	30	3 - 5	47. 4. 1	音 楽	生徒指導部(生徒会指導)
32	大 石 幸 雄	36	3 - 6	46. 4. 1	保・体	学習指導部(図書館)
33	石 渡 和 子	47	3 - 7	47. 4. 1	国 語	教務部(時間割)
34	渡 辺 勉	50	主 任 3 - 8	44. 4. 1	数 学	保健指導部(安全教育 清掃)
35	筆 吉 則 子	32	3 年	49. 4. 1	家 庭	庶務部(就学援助・ミルク)
36	武 藤 光 哉	48	3 年	47. 4. 1	社 会	学習指導部主任
37	高 崎 雅 子	40	副主 任 3 年	46. 4. 1	国 語	教務部(時間割)
38	佐 藤 実枝子	53	3 年	48. 4. 1	英 語	生徒指導部(生徒指導)
39	須 藤 節 子	28	養護教諭	45. 4. 1	養 護	保健指導部(保健行事)
40	佐 藤 博 助	55	主 査	49. 4. 1	事 務	庶務部,事務部

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
41	本 間 慶 子	38	主 事	36. 4. 1	事 務	事務部
42	市 川 昌 子	31	主 事	48.10.15	事 務	事務部
43	川 村 道 雄	53	用 務 員	48. 4. 5		用 務
44	村 野 正 次	52	用 務 員	50. 7.15		用 務
45	清 水 亀 喜	54	講 師	51. 4. 1	数 学	
46	篠 田 良 栄	28	"	51. 4. 1	理 科	
47	田 村 静 子	48	"	51. 4. 1	美 術	
48	下 早 美智子	43	"	51. 4. 1	保・体	
49	高 塩 純 子	25	"	51. 4. 1	音 楽	
50	佐々木 しみ子	25	"	51. 4. 1	音 楽	
51	村 上 敏 雄	40	教 諭	47. 4. 1	音 楽	都立教育研究所研究生
52	小 松 真		校 医	48. 4. 1		内 科
53	堀 田 芳 一		校 医	48. 4. 1		内 科
54	田 中 利 彦		校 医	48. 4. 1		眼 科
55	清 水 淑 郎		校 医	48. 4. 1		耳鼻科
56	中 安 彰 夫		歯 科 医	48. 4. 1		歯 科
57	橋 本 仁		歯 科 医	48. 4. 1		歯 科
58	井 上 幸 子		薬 剤 師	49. 4. 1		薬 剤

9. 本校研究主題の推移

昭和40年度 教科の経営について	昭和45年度 基本的生活習慣の具体的指導について
昭和41年度 目標と評価（初年度）	昭和46年度 性教育について
昭和42年度 目標と評価（継続）	昭和47年度
昭和43年度 環境整備について 市美術教育研究協力校	昭和48年度
	昭和49年度 授業研究
	昭和50年度 授業研究
昭和44年度 環境美化について（継続）	昭和51年度 授業研究

10. 都教育研究員，研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員 研究生別	年 度	氏 名	教科領域	研究員 研究生別
昭和36年度	松本 利雄	社 会	研究員	昭和38年度	小林 節夫	美 術	研究員
昭和36年度	中村 忠男	数 学	"	昭和39年度	"	美 術	"
昭和37年度	照山宗一郎	技術・家庭	"	昭和40年度	"	美 術	"
昭和37年度	榎本 健三	学校行事	"	昭和40年度	福田 慶園	英 語	"
昭和38年度	本間 トヨ	保健行事	"	昭和44年度	小林 節夫	美 術	"

年 度	氏 名	教科領域	研究員 研究生別	年 度	氏 名	教科領域	研究員 研究生別
昭和39年度	松本 利雄	学校行事	研究員	昭和45年度	西村美沙子	音 楽	研究員
昭和39年度	原島 弘	保健体育	"	昭和46年度	高木 宏文	数 学	"
昭和39年度	村上 利雄	音 楽	"	昭和46年度	中村 功	理 科	"
昭和47年度	成瀬 二郎	理 科	"	昭和49年度	村上 敏雄	音 楽	"
昭和47年度	橋本 紘一	英 語	"	昭和50年度	森川 亮	教育経営	"
昭和48年度	原島 弘	道 徳	"	昭和51年度	村上 敏雄	音 楽	研 究 生
				昭和51年度	内田耕一郎	数 学	現代化委員

11. 保護者の職業一覧

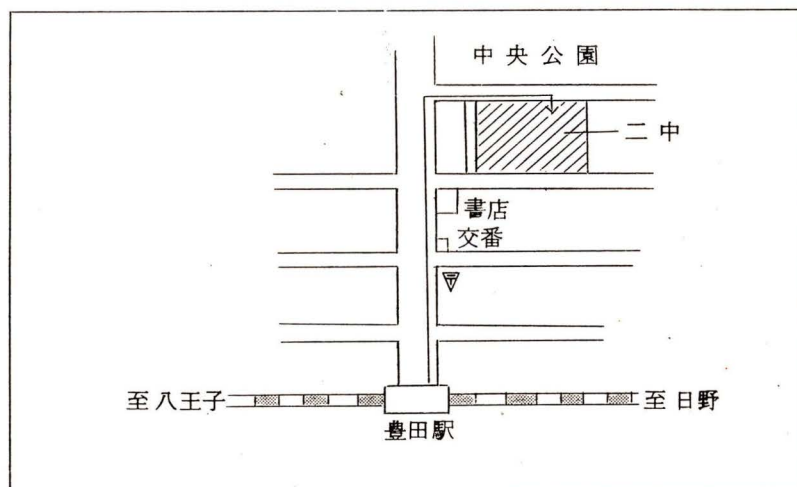
職 業	人 数	%	職 業	人 数	%
専門的・技術的職業	87	8.5	運輸・通信的職業	19	1.8
管 理 的 職 業	76	7.6	サ ー ビ ス 業	16	1.5
事 務 的 職 業	665	65.4	無 職 ・ そ の 他	20	1.9
販 売 的 職 業	68	6.7			
農 業	13	1.2			
技 能 的 職 業	54	5.4	計	1018	100

12. 本校の特色

300世帯を収容する多摩平団地のほぼ中央に位置する。東にけやきの大木、北に緑の中央公園に囲まれ、自然環境は良好。海拔105m。公害を知らない学校。本年は6教室の校舎増築も完成した。広い校庭に恵まれ、体育系のクラブ活動は活発である。二学期には青桐祭（文化祭、運動会）を計画し、教職員生徒共々、意欲的に取りくんでいる。

生徒数1018名、24学級。出身小学校は、二小、三小、五小、六小、七小である。進路は殆ど全員が進学である。

13. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立七生中学校
所 在 地 日野市南平 6 - 7 - 1
電 話 0425-91-0174・0175
順 路 南平駅(京王線)下車 徒歩 7 分

校長氏名 吉 岡 孝二郎

教頭氏名 古 川 豊

1. 沿革の概要

- 昭22. 4. 1 学制改革により七生村立中学校を役場庁舎内に設置。
- 昭22. 5.15 七生村役場庁舎を仮校舎として開校式挙行 2 部授業で発足。
- 昭23. 2.15 七生村南平 1944 番地に七生中学校敷地決定, 地鎮祭を挙行。
- 昭23. 9. 4 新校舎完成, 本日より授業開始。
- 昭32.12. 1 P T A 結成第 1 回総会を挙行
- 昭32.12. 1 創立十周年の記念式典及び校歌制定の発表会を挙行
- 昭36. 7.15 プール新設工事着工(東京都費による)
- 昭37. 7.31 プール開きを挙行
- 昭41. 7. 1 体育館落成
- 昭41. 1.31 鉄筋コンクリート防音校舎改築はじまり現在にいたる。
- 昭45. 3.31 鉄筋コンクリート防音校舎九教室完成する。
- 昭45. 4. 1 七生中学校三中分校設置
- 昭45. 9.30 日野第三中学校開校につき七生中学校三中分校廃止
- 昭46. 3.31 第二期防音鉄筋校舎完成
- 昭46. 5.27 防音校舎落成記念式典挙行
- 昭46. 8.24 プール浄化装置, 更衣室完成
- 昭47. 3.20 観察用水槽完成
- 昭47. 5.22 訪問学級開級式
- 昭47. 7.10 自然観察園完成
- 昭50. 5.22 南校舎西側増築工事完成
訪問学級教室完成

2. 歴代校長

氏 名	年 月	～ 年 月
飯 塚 節 三	昭22. 4	～昭25. 9
増 山 恒	昭25.10	～昭30.10
飯 島 一 吉	昭30.10	～昭37. 3
木 村 巧	昭37. 4	～昭40. 3
芳 西 幸 三	昭40. 4	～昭44. 3
羽 崎 一 男	昭44. 4	～昭47. 3
高 橋 太 一	昭47. 4	～昭51. 3
吉 岡 孝二郎	昭51. 4	～ 現 在

3. 地域の環境

学校は京王線より徒歩 7 分, 中央線豊田駅より南へ 20 分, 浅川にそう静かな位置にある。学区域は京王線に沿って東西に長く, 平坦部と多摩丘陵からなり, 急速に都市化が進みつつある。生活環境がよく, 生活指導には恵まれている。

学区域内には百草園, 高幡不動等があり, また多摩動物園, 平山城址等の文化施設がある。

4. 教育目標

教育基本法と学校教育法の定めるところに
もとづき, 自主, 敬愛, 勤勉, 責任, 健康の
五つを教育目標とする。

5. 本年度指導の重点

- ・学習指導
基礎学力の向上
自主的学習態度の養成
- ・生活指導
学校の教育目標を身につけた中学生らしい
生活態度の育成。生徒の非行化防止と善導

道徳，特別活動の効果的運営

・進路指導

進学・就職の両面にわたり，自己の希望と適性を考え進路を決定するよう指導する。

・その他

健康の保持増進，交通に対する安全教育の推進

6. 生徒数

	1 年	2 年	3 年	計		1 年	2 年	3 年	計
学級数	9	9	7	25	訪問学級				1
男	200	200	165	565	男		1	4	5
女	177	169	144	490	女			1	1
計	377	369	309	1055	計		1	5	6

7. 職員数

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
1	吉 岡 孝二郎	53	校 長	51. 4. 1	技 術	
2	古 川 豊	51	教 頭	50. 4. 1	英 語	
3	永 井 みどり	26	1 - 1	51. 4. 1	国 語	教 務
4	吉 田 太 郎	37	1 - 2	51. 4. 1	理 科	生活指導
5	森 屋 文 子	44	1 - 3	51. 4. 1	数 学	生活指導
6	中 村 剛 紀	34	1 - 4	46. 4. 1	美 術	生活指導
7	高 木 あけみ	28	1 - 5	51. 4. 1	英 語	保 健
8	大 宅 寛	42	1 - 6	38. 4. 1	音 楽	視聴覚主任
9	海 谷 幸 子	36	1 - 7	47. 4. 1	英 語	教 務
10	赤 木 清 福	52	1 - 8	39. 4. 1	国 語	研 究
11	山 川 昭 子	44	1 - 9	48. 4. 1	数 学	教 務
12	田 中 憲 助	49	1年主任	37. 4. 1	理 科	視聴覚
13	荒 井 武 子	45	1年所属	48. 4. 1	社 会	庶 務
14	志 村 嘉 信	42	1年所属	38. 4. 1	技 術	図 書
15	伊 藤 秀 則	39	1年所属	49. 4. 1	保 体	庶 務
16	高 見 登志子	30	1年所属	50. 4. 1	家 庭	庶 務
17	石 井 幸 男	44	2 - 1	41. 4. 1	理 科	保 健
18	内 藤 由紀子	39	2 - 2	49. 4. 1	英 語	生活指導
19	本 城 裕 彬	32	2 - 3	51. 4. 1	社 会	庶 務
20	安 藤 ゆき江	36	2 - 4	49. 4. 1	保 体	図 書
21	大 石 文 秋	30	2 - 5	50. 4. 1	国 語	保 健
22	山 田 葉 子	27	2 - 6	47. 9. 1	英 語	生活指導
23	小井塚 洋 一	24	2 - 7	50. 4. 1	保 体	生活指導
24	木 下 満 子	45	2 - 8	45. 4. 1	社 会	教 務
25	小 松 文 木	45	2 - 9	48. 4. 1	理 科	生活指導

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
26	佐 藤 良 枝	54	2年主任	42. 4. 1	国 語	研 究
27	明 石 敏 春	47	2年所属	41. 4. 1	数 学	教務主任
28	三 浦 義 次	39	2年所属	49. 4. 1	技 術	庶務主任
29	河 田 公 枝	37	2年所属	51. 4. 1	家 庭	教 務
30	戸 川 二美子	29	2年所属	45. 4. 1	国 語	図 書
31	大 藪 和 子	50	3 - 1	48. 4. 1	数 学	研 究
32	新 井 教 旦	39	3 - 2	46. 4. 1	数 学	生活指導
33	釣 晃 敏	33	3 - 3	49. 4. 1	社 会	研究主任
34	佐 藤 栄	32	3 - 4	49. 4. 1	社 会	生活指導
35	猪 井 詔 子	31	3 - 5	43. 4. 1	英 語	庶 務
36	阿 部 晃 一	44	3年主任 3 - 6	42. 4. 1	美 術	図書主任
37	大 串 美根子	25	3 - 7	49. 4. 1	音 楽	教 務
38	山 辺 文 男	54	3年所属	43. 4. 1	国 語	生活指導主任
39	成 舞 京 子	41	3年所属	46. 4. 1	理 科	教 務
40	加 藤 邦 子	37	3年所属	41. 4. 1	保 体	保 健
41	山 本 和 夫	24	3年所属	51. 4. 1	保 体	視聴覚
42	大 塚 和 子	29	3年所属	44. 6. 16	養 護	保健主任
43	御子柴 昭 治	50	訪問学級	47. 4. 1	特 殊	訪問学級
44	榎 沢 日出子	31	訪問学級	49. 4. 1	特 殊	訪問学級
45	吉 岡 興 村	43	主 査	51. 4. 1	事 務	事務主任

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	学校行事等の基本的考え方について
昭和41年度	学校行事等の調査検討
昭和42年度	学校行事等の指導計画作成について (市)
昭和43年度	学校と家庭の協力について (特に家庭訪問) (市)
昭和44年度	効率を高める学級経営のすすめ方について (市)
昭和45年度	生徒の自主性を高めるための生徒会活動のあり方について (市)
昭和46年度	効率をたかめるための指導のあり方について
昭和47年度	学級経営の効率的運営について
昭和48年度	ひとりひとりを生かす学級経営について
昭和49年度	ひとりひとりを生かす学級活動について
昭和50年度	生活指導を充実するための学級活動について
昭和51年度	生活指導を充実するための学級活動について

9. 本校の特色

本校は浅川と四季それぞれ変化を見せる多摩丘陵にはさまれ、自然環境には恵まれた位置にある。昭和35年頃までは、純農村であったが、現在は農業経営の子弟は2.9%、ほとんどがサラリーマンの子弟で、急速に生徒数も激増しつつある。

生徒は明かるく、素直であり、父母も教育熱心である。PTA活動も、伝統と新しさをうまく調

和して建設的で意欲的である。

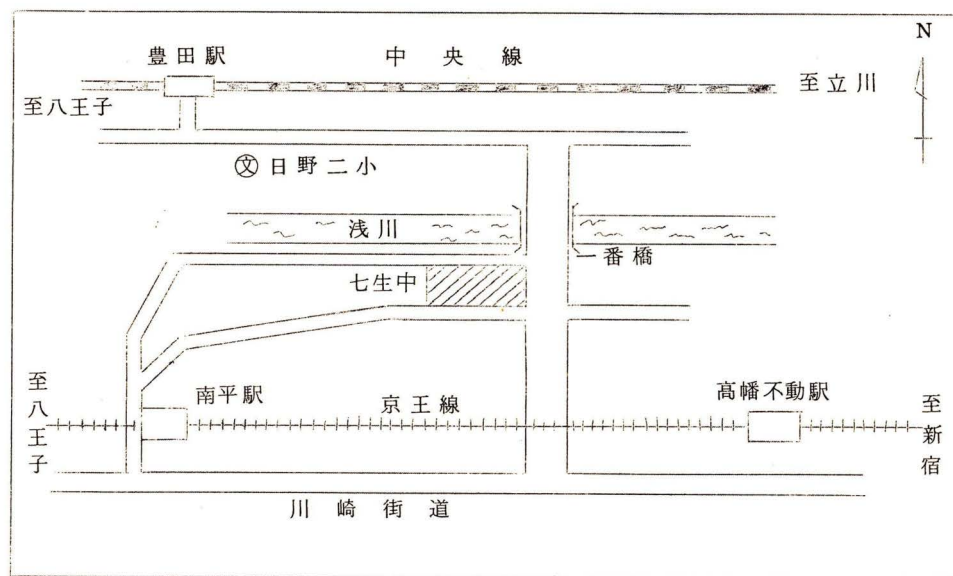
10. 都教育研究員，研究生の出身歴

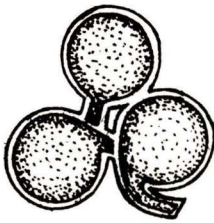
年 度	氏 名	教科領域	研究員，研究生別
昭和34年度	出 水 操	美 術	研 究 員
昭和41年度	城 所 富 子	技術家庭	〃
昭和43年度	阿 部 晃 一	美 術	〃
昭和49年度	山 川 昭 子	数 学	〃
昭和49年度	志 村 嘉 信	技 術	研 究 生

11. 保護者の職業一覧

職 業 名	家庭実数	%	職 業 名	家庭実数	%
会 社 員	575	58.9	自 営 商 業	57	5.9
公 務 員	98	10.0	自 営 農 業	28	2.9
学 校 職 員	31	3.2	自 由 業	39	4.0
報 道 関 係 職 員	42	4.3	無 職	10	1.0
公 団 職 員	10	1.0	そ の 他	19	2.0
自 営 工 業	67	6.8	計	976	100

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立日野第三中学校
所 在 地 日野市程久保 650
電 話 0425-91-2228 (代)
順 路 京王線高幡不動駅より百草園地行バスに
て高幡台団地下車 徒歩 5 分

校長氏名 松 延 耕 作

教頭氏名 小 林 節 夫

1. 沿革の概要

- 昭 45. 4. 1 日野市立七生中学校日野第三
中分校として、七生中学校内
で授業開始。生徒数 26 名
教職員数 12 名。
- 昭 45. 7. 7 プール建設工事着工（日野市
程久保 650）
- 昭 45. 9. 4 校舎新築工事着工。（同上）
- 昭 45.10. 1 日野市立日野第三中学校開校，
七生中学校内で授業。生徒数
44 名，教職員 14 名。百草団
地，高幡台団地を学区とする。
- 昭 45.10.28 プール工事竣工。
- 昭 46. 3.27 校舎新築工事竣工。
- 昭 46. 4. 1 学区変更，程久保地区全部，
三沢地区上，中を加える。生
徒数 228 名，学級数 7，教職
員 16 名，市職員 3 名，日野
市程久保 650 番地の新校舎に
移転。
- 昭 46. 7. 1 学区変更，西武百草園団地
を加える。
- 昭 46.10. 2 開校式挙行。10月2日を開校
記念日とする。校章，校歌を
発表，制定記念日とする。
- 昭 47. 4. 1 生徒数 363 名，学級数 10，
教職員 19 名，市職員 4 名。
- 昭 47. 8.11 体育館建設工事着工。
- 昭 48. 1.31 体育館工事竣工。
- 昭 48. 3.17 第 2 回卒業式挙行。卒業生
105 名。（累計 128 名）
- 昭 48. 4. 1 生徒数 455 名，学級数 12，
教職員 22 名。社会増による

教室不足のためプレハブ 2 教
室増設

- 昭 49. 3.15 プレハブ家庭科室工事着工
- 昭 49. 3.18 第 3 回卒業式挙行。卒業生
144 名（累計 272 名）
- 昭 50. 3.20 第 4 回卒業式挙行（卒業生
142 名（累計 414 名）
- 昭 50. 4. 1 校舎増築第二期工事竣工

2. 歴代校長

- 初代 橋本 敏一 昭 45.9～48.3
二代 松延 耕作 昭 48.4～現在

3. 地域の環境

本校の学区は，日野市南部の多摩丘陵地
帯に位置し，日本住宅公団の百草園地，高幡
台団地と民間分譲地の三井団地，電建団地，
西武百草園団地および在来の集落である程久
保，三沢をふくんだ人口急増のベッドタウン
である。

起伏が多く林に囲まれた静かな高台で，眼
下には浅川が流れ，はるかに武蔵野台地を一
望に見渡すことができる。学区内に都立多
摩動物公園，明星大学があり，よい環境であ
る。住民の多くは各地より最近移住した者で，
その大半は都心へ通勤するサラリーマンであ
る。

4. 教育目標

(1) 自ら判断し，責任をもって実行する人
となる。

① 基礎学力を充実し，文化を創造する人
となろう。

② 豊かな心を養い，力を合わせて進もう。

③ 若人らしい気力、体力を養おう。

(2) 基本方針

① 教育目標の具現化をはかり、学級経営の充実をはかる。

② 基礎指導をじゅうぶん行ない、個人および集団の自主性を高める指導方法をくふうする。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア. 各教科

教材を精選するとともに、自主的学習を促進し、学習の効率化をはかる。

イ. 道徳他領域との関連をはかりながら、豊かな心を養い、自主的判断のもとに責任ある行動ができるように指導内容をくふうする。

ウ. 特別活動

① 小集団を基礎に個人の自発的活動をうながし、学級集団の質を高める。

② 学級学年の活動を母体としての生徒会活動の充実をはかる。

(2) 生活指導・進路指導の重点

ア. 生活指導 学級の基礎の上に立った生徒会活動を伸長させ、組織を通して自律ある生活態度を身につけさせる。

イ. 進路指導 教師・生徒・保護者の緊密な交流をはかり、各学年に応じた系統的指導を実践する。

6. 生徒数

	1 年	2 年	3 年	計
学 級 数	6	6	5	17
男	120	118	117	355
女	125	112	108	345
計	245	230	225	700

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
1	松 延 耕 作	55	校 長	48. 4. 1	経 営	
2	小 林 節 夫	47	教 頭	49. 4. 1	美 術	校務一般
3	東 郷 隆 盛	50	1 - 1	45.10. 1	国 語	図書資料
4	菊 地 貞 光	37	1 - 2	48. 4. 1	技 術	保健指導
5	志 茂 知 之	45	学年代表 1 - 3	47. 4. 1	社 会	教務事務
6	高見沢 文 男	27	1 - 4	48. 4. 1	数 学	教務主務
7	細 谷 洋 三	43	1 - 5	48. 4. 1	理 科	生徒指導

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
8	佐 藤 寿 枝	37	1 - 6	45.10.1	家 庭	図書資料
9	加 藤 常 光	40	1 年 付	50.4.1	保 体	生徒指導
10	鍛 治 真 理	25	1 年 付	49.4.1	英 語	生徒会活動
11	富 山 謙 一	31	2 - 1	49.4.1	社 会	生徒指導
12	星 野 明	57	2 - 2	48.4.1	国 語	委員会事務局
13	大 坪 久美子	39	2 - 3	51.4.1	数 学	教務事務
14	長 島 寿 平	54	学年代表 2 - 4	45.10.1	理 科	特別活動
15	五十嵐 公 恵	45	2 - 5	50.4.1	国 語	図書資料
16	安 治 道 夫	57	2 - 6	50.4.1	音 楽	教務事務
17	遠 藤 仁	43	2 年 付	45.10.1	英 語	教務事務
18	桜 井 絢 子	29	2 年 付	46.4.1	保 体	委員会事務局
19	佐 藤 恒	45	2 年 付	45.10.1	美 術	庶 務
20	伊 佐 節 子	39	2 年 付	50.4.1	養 護	保健指導
21	塩 野 邦 夫	45	3 - 1	50.4.1	理 科	生徒会活動
22	河 野 裕 香	43	3 - 2	45.10.1	音 楽	特別活動
23	北 原 景 昭	43	3 - 3	45.10.1	保 体	庶 務
24	宮 尾 文 子	40	3 - 4	50.4.1	理 科	保健指導
25	加 島 俊 博	29	3 - 5	50.4.1	技 術	生徒会活動
26	綿 引 正 己	47	3 年代表	49.4.1	英 語	教務事務
27	大 塚 長 栄	47	生活指導 主 任	49.4.1	国 語	生活指導
28	鈴 木 幸 子	46	3 年 付	45.10.1	数 学	特別活動
29	持 田 友 宏	42	3 年 付	45.10.1	社 会	教具・機具
(講 師)						
1	鈴 木 正 美	48		46.4.1	社 会	
2	丸 山 久 子	45		49.4.1	"	
3	青 木 洋 子	32		50.4.1	美 術	
4	元 橋 和 子	45		51.4.1	国 語	
5	落 合 保 子	35		51.4.1	保 体	
6	清 水 亀 喜	52		51.4.1	数 学	

8. 本校研究主題の推移

昭和46年度 評価の改善について

学級活動の組織的研究

昭和47年度 評価について

教育活動（特活を中心としたもの）年間計画の検討

昭和48年度 視聴覚教育機器の取り扱いと 利用法の研究

昭和49年度 完全給食実施に関する諸問題について

昭和50年度 学級における自主性の指導

9. 本校の特色

本校は多摩丘陵の高台に位置し、南には雑木林が接し、四季おりおりの樹木、小鳥のさえずりを楽しむことができる。校舎落成3年目であるが、施設、設備は一応整って、その活用につとめている。

開校以来、「自ら判断し、責任をもって実行する人となる」の教育目標の具現をめざし、全教育活動を通じて、生徒の自主性の育成につとめている。

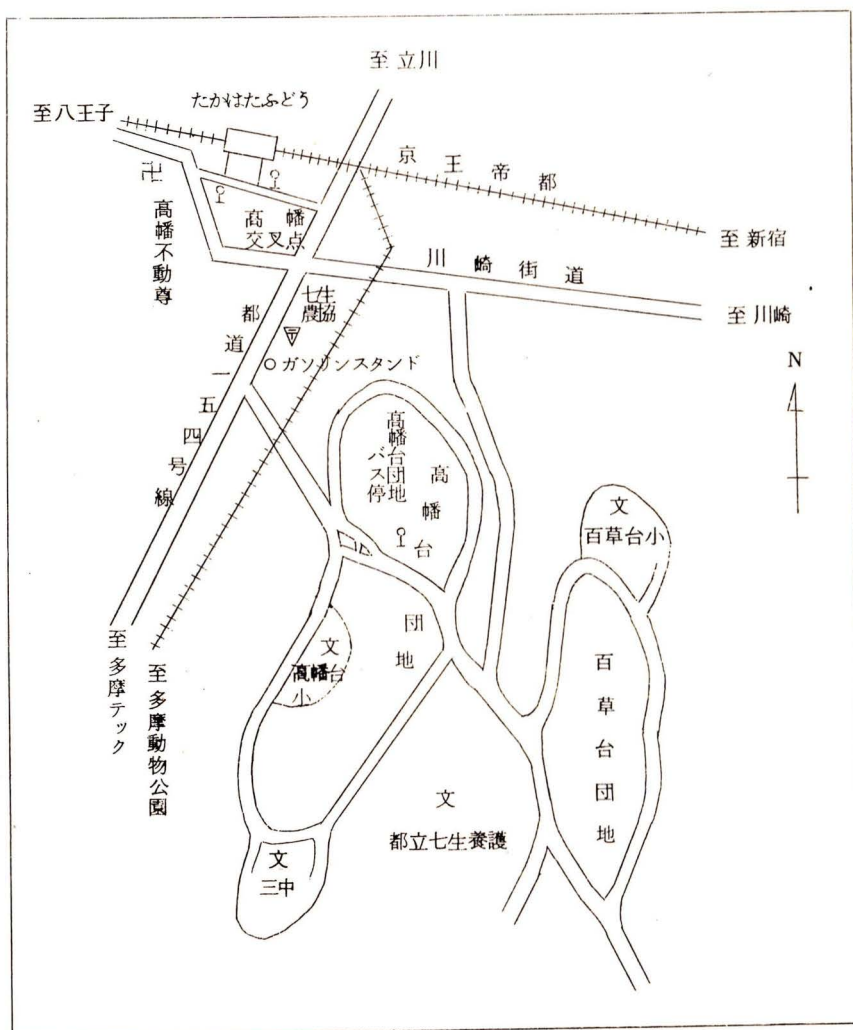
10. 都教育研究員，研究生出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員・研究生別
昭和26年度	松 延 耕 作	社 会	研 究 生
昭和36年度	〃	〃	研 究 員
昭和38年度	小 林 節 夫	美 術	〃
昭和39年度	〃	〃	〃
昭和40年度	〃	〃	〃
昭和43年度	志 茂 知 之	安全教育	〃
昭和44年度	綿 引 正 巳	教育方法	〃
昭和44年度	小 林 節 夫	美 術	〃
昭和45年度	加 島 俊 博	技 術	〃
昭和46年度	東 郷 隆 盛	国 語	〃
昭和47年度	持 田 友 宏	社 会	〃
昭和48年度	志 茂 知 之	教育経営	〃
昭和48年度	小 林 節 夫	美 術	教育現代化委員
昭和49年度	持 田 友 宏	社 会	研 究 生
昭和49年度	五十嵐 公 恵	国 語	教育現代化委員
昭和50年度	大 塚 長 栄	国 語	研 究 員
昭和50年度	志 茂 知 之	社 会	教育現代化委員

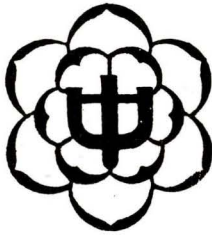
11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
専門的・技術的職業	164	24.4	運輸通信などの職業	33	5.0
管 理 的 職 業	196	29.2	保 安 的 職 業	13	2.0
事 務 的 職 業	117	17.4	サービシ的職業	13	2.0
販 売 的 職 業	40	5.9	無 職 ・ そ の 他	23	3.4
農林漁業などの職業	11	1.6			
技 能 的 職 業	63	9.1	計	269	100.0

12. 学校に至るまでの地図



順路：京王線高幡不動駅より百草団地行バスにて高幡台団地下車 徒歩5分



学 校 名 日野市立日野第四中学校
所 在 地 日野市旭ガ丘 2-42
電 話 0425-83-3905
順 路 中央線豊田駅下車 徒歩17分
バス(長房団地行) 都立工科短大下車5分

校長氏名 河 村 俊一郎

教頭氏名 河 野 寿 忠

1. 沿革の概要

- 昭46.12 市議会全員協議会で四中建設について協議
- 昭47. 3.26 市議会は四中建築予算を議決
- 5.10 市教育委員会に四中準備委員会設置
- 8.21 四中校舎起工式(工事費19億円。施工小田急建設)
10. 7 市教育委員会は父母対象に学区説明会
12. 7 市教育委員会は四中の学区を決定
- 12.25 市議会は四中の屋内体育館の予算を議決
- 昭48. 1.18 屋内体育館着工(工費約4千6百万円。施工小田急建設)
- 2.10 14学級(1年5, 2年5, 3年4)との認可通知
- 3.26 都から第四中学校の設立認可
4. 1 初代校長 河村俊一郎以下教員24名発令
4. 6 始業式(2年193名, 3年152名)
4. 9 第一回入学式(一年192名, 全校生徒537名となる)
- 5.13 ブール着工(工費約2700万円)施工
- 6.11 プレハブ2教室使用開始
7. 2 屋内体育館完成使用開始
- 7.18 本校シンボル「泰山木」決定
8. 7 ブール落成
- 10.13 校歌作詞完成
- 10.16 校章決定
- 10.16 教育目標設定

- 昭48.11.10 校歌作曲完成(寺原伸夫)
- 11.14 PTA規約承認 PTA発足
- 11.16 校旗完成
- 11.17 落成式挙行
- 11.22 第一回開校記念日
- 昭49. 2. 2 標準服制定
2. 9 PTA第一回総会
- 3.18 第一回卒業式(男73, 女79)
4. 6 プレハブ3教室使用開始
4. 8 第二回入学式(男129, 女122)
- 4.24 佐藤イサ教諭記念造園完成
- 5.30 保健室冷房装置取付
- 6.26 航空写真撮影
7. 1 増築工事開始(校舎3スパン, 体育倉庫・校庭砂場・物置き・機械室)工費約16億円
- 施工 小田急建設
7. 3 保健室 空気清浄装置取付
- 8.14 玄関前, 校門前植樹
9. 6 駐車場舗装
- 9.17 VTR一式購入
- 10.19 玄関前コンクリート舗装
- 昭50. 1. 8 体育倉庫, 砂場完成
- 2.15 PTA規約改正総会
- 3.18 増築完成 学校へ引き渡し
- 3.20 第二回卒業式(男130, 女123)
4. 7 自転車置場, 新校舎使用開始
4. 8 第三回入学式(男136, 女129)
- 4.26 テニスコート学校へ引渡し
- 7.25 調理コンセント取換工事
- 26 校庭の校舎側U字溝設備
9. 9 物置使用開始
12. 2 新校舎暖房試運転
51. 1.14 水道使用量日々点検開始

昭 51. 1.16 図書館開館

2.12 赤電話設置

3.19 第三回卒業式(男 100, 女 97)

4. 7 第四回入学式(男 173, 女 144)

2. 歴代校長

代	氏 名	期 間
---	-----	-----

初代	河 村 俊一郎	昭 48.4.1 ~ 現 在
----	---------	----------------

3. 地域の環境

本校の学区は、地形的・地質的には北半の洪積台地(日野台)と南半の浅川ぞいの沖積低地に 2 分されている。台地部は 2~3 段の段丘状になっており、その境界は高低差 10~20 m の急崖になっている。

この地域の開発は日野市の中でもっともおくれていたところのひとつであり、人家はほとんどなかったが昭和 12 年、小西六写真工業(六桜社)昭和 18 年富士電機製造(株)の進出まではほとんど見るべきものはなかった。

しかし戦後はここも近代化の波が押しよせ、昭和 33 年多摩平団地入居をきっかけに人口は急増をはじめた。

その他、平山工業団地、国鉄豊田電車区なども畑や雑木林をつぶして設置され、学区内の様相は最近 10 年間でいちじるしく変化している。

4. 教育目標

わたしたちは、平和で民主的な国家、社会の形成者となるために、つぎの目標を定めます。

一. 進んで学習し、向上する人

一. 進んで力を合わせ、みんなのために努力する人

一. 進んで心身を鍛え、やりぬく人

学校の教育目標を達成するための基本方針

- (1) 教育内容 基本事項の系統化をはかるとともに、生徒の思考過程をたいせつにするよう教育内容を配列する。
- (2) 指導方法 興味や関心を重んじ、積極的に学習するよう指導する。
- (3) 時数配当 自主性・社会性・実践力(気力・知力・体力)の育成と豊かな情操の育成をめざし、特別活動、音楽、美術は標準時数以上を実施する。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科

ア. 進んで学びとる学習態度を育成する。

イ. 基礎学力の充実をはかる。

ウ. 教材の精選、指導法の研究に努める。

(2) 道 徳

ア. 基本的行動様式、特に整理整頓、時と場所に応じたふるまいを身につけさせる。

イ. 異なる考えや立場も尊重する態度を養う。

ウ. よく考えて行動し、結果に責任をもつ態度を養う。

(3) 特別活動

ア. 教師と生徒、生徒相互の心のふれあいを深める。

イ. 自主的に判断し、自発的に行動し、協力する態度と習慣を身につけさせる。

(4) 生活指導

ア. 組織集団を通して自主的に判断し行動する生活態度を養う。

イ. ひとりひとりの生徒との交流（個別指導）と集団指導とが、互いに補足し合うよう指導をすすめる。

ウ. 賞さん、承認、注意、指示など適切に反復指導し、基本的な生活習慣を身につけさせる。

エ. すべての教師が全生徒の指導にあたる。それ故、教師の共通理解を深める。

(5) 進路指導

系統的な指導に努め、自己の理解、情報の分析を通して、将来の進路を選択する能力を育成する。

(6) その他の配慮事項

ア. 学校の主体性を基盤におき、保護者との連携を推進する。

イ. 日野市の指導目標の重点にのっとり、授業研究の推進につとめる。

6. 生 徒 数

4月10日現在

	1 年	2 年	3 年	計
学 級 数	8	6	6	20
男 子	173	133	127	433
女 子	144	133	123	400
男 女 計	317	266	250	833

7. 教職員一覧

年令は52年3月31日現在

番号	氏 名	年令	担 当	本校就任年月日	担当教科	そ の 他
1	河 村 俊一郎	56	校 長	48. 4. 1		
2	河 野 寿 忠	45	教 頭	" "	理 科	
3	大 野 馨	43	事務主事	" "		
4	萩 原 典 子	48	1年主任	" "	家 庭	教務管理
5	藤 倉 満里子	24	1 - 1	51. 4. 1	理 科	給食・カーテン

番号	氏 名	年令	担 当	本校就任年月日	担当教科	そ の 他
6	伊 藤 誠	27	1 - 2	48. 4. 1	保 体	安全指導
7	設 楽 悦 代	40	1 - 3	" "	理 科	道德学活・掲示
8	鎌須賀 正 克	23	1 - 4	51. 4. 1	数 学	生徒指導
9	西 村 美紗子	40	1 - 5	48. 4. 1	音 楽	生徒会・クラブ指導
10	田 中 佳 弘	24	1 - 6	51. 4. 1	技 術	清掃指導
11	野 田 志乃ぶ	24	1 - 7	50. 4. 1	国 語	図 書
12	六本木 茂	48	1 - 8	48. 4. 1	社 会	教務事務
13	久保田 俊 司	34	1年所属	49. 4. 1	英 語	カーテン・給食
14	田 中 栄 一	49	1年所属	48. 4. 1	国 語	図書, 学校通信
15	高 木 宏 文	43	教務主任	" "	数 学	教育課程
16	丸 山 尙 夫	44	2年主任	" "	"	時間割
17	鈴 木 健 一	28	2 - 1	" "	保 体	生徒・生徒会指導
18	柳 沢 美 澄	40	2 - 2	" "	英 語	研究・研修
19	富 士 堯	44	2 - 3	" "	理 科	道德, 学活
20	堀 江 富 男	25	2 - 4	49. 5. 1	国 語	生徒会・クラブ指導
21	田 中 ひろみ	22	2 - 5	51. 4. 1	保 体	生徒・保健指導
22	小 畑 亮	54	2 - 6	48. 4. 1	美 術	営繕・施設備品
23	大 野 滯 子	41	2年所属	50. 4. 1	音 楽	時間別教育実習
24	黒 沢 谷五郎	51	2年所属	48. 4. 1	社 会	清掃指導
25	長 峯 幸 子	26	養護教諭	" "		保健指導
26	西 川 利 行	51	3年主任	" "	英 語	生徒指導
27	木 村 守	43	3 - 1	50. 4. 1	"	施設・営繕
28	門 脇 年 子	45	3 - 2	49. 4. 1	美 術	掲示・研究研修
29	工 藤 満 春	41	3 - 3	" "	理 科	教育機器
30	藤 野 澄 子	49	3 - 4	" "	国 語	教務管理
31	国 信 武 司	27	3 - 5	48. 4. 1	社 会	教務事務
32	辻 和 代	30	3 - 6	" "	保 体	生徒会・クラブ指導
33	樋 口 恢 武	32	3年所属	51. 4. 1	社 会	生徒会・クラブ指導
34	相 原 美智子	40	3年所属	48. 4. 1	数 学	清掃指導
35	鈴 木 良 身	45	生指主任	" "	技 術	生徒・安全指導
36	北 条 義 道	65	講 師	51. 4. 1	国 語	
37	元 橋 和 子		講 師	" "	国 語	
38	佐 藤 靖 子	38	講 師	" "	家 庭	

8. 本校の研究主題の推移

昭和48年度	学習指導の現代化(授業研究)
昭和49年度	生徒の自主性をのばす教科指導(授業研究)
昭和50年度	生徒の自主性をのばす教科指導(授業研究)
昭和51年度	

9. 本校の特色

- (1) 施設 敷地約17,000㎡ 二級防音校舎 普通教室21(内1第二理科室に転用)
特別教室7, 体育館1,100㎡, プール 6コース 25m循環式,
校庭 約115m×64m プレハブ2教室(第二音,第二美)
- (2) 教育活動 各領域の調和に心掛けつつ,新しい校風を発展させる意気に燃えている。
 - ア 授業 校内の研究を深め,1時間1時間をたいせつにする。授業打切りは極力さけ,真面目な生徒を育てる。
 - イ 特別活動 生徒会(毎月曜),学級(毎金曜),クラブ(毎木曜),学校行事(適時)の調和をめざし,一方に片寄ることなく,時間を厳守して活動し,自発性,自律性を育てる。下校時刻後,校内に残留する生徒は1名もいない。
クラブは他に,火,木は5時15分まで,土は4時まで自主的活動を時間外に可能とし,全職員分担して指導している。
- (3) 授業研究推進
市の学校教育の指導目標にのっとり授業研究の推進につとめる。
- (4) 父母との連携
学校通信(学校のようす,生徒の創作)を毎週2～3回全家庭に配布し,共通理解を深め協力態勢を高める。
- (5) 美化緑化の推進
校樹泰山木の幼樹を育て,播種による柵周辺の樹木の育成,緑の学園をめざすと共に校内の美化に努める。

10. 都教育研究員,研究生出身歴

S41	河野 寿忠	研究員	理科(日野一中)	S30	西川 利行	研究生	教育大英(八王子五中)
S41	富士 堯	"	特活(")	S46	富士 堯	"	都研理(日野一中)
S45	田中 栄一	"	国語(日野二中)	S49	丸山 尚夫	研究員	進路(日野四中)
S44	西村美紗子	"	音楽(")	S48	西川 利行	現代化委	学校経営(")
S35	西川 利行	"	英語(八王子五中)	S49	高木 宏文	"	特別活動(")
S46	高木 宏文	"	数学(日野二中)				

11. 保護者の職業一覧

各クラス在籍者全員調査

区 分	内 容	人 数	%
教 員	幼・小・中・高・各種学校	33	3.9
学 者・研究者	大学・研究所	8	1.0
医 師	開業医・病院医とも	8	1.0
国鉄・私鉄職員		55	6.6
警 察 署 勤 務		13	1.5
銀 行 勤 務	銀行・信用金庫	17	2.0
公社・公団職員		17	2.0
公 務 員	役所・公共施設勤務	68	8.2
自 営 商 工	商業・工業・アパート経営	72	8.6
店 員・工 員		14	1.7
企 経 営 者	役員・重役等	36	4.3
業 会 社 員	部課長・一般職員とも	438	52.6
サ ー ビ ス 業	美容・理容・タクシー運転手・ウエイトレス・料理人・看護婦	14	1.7
農 業		1	0.1
無 職		10	1.2
そ の 他	宗教団体・政治団体・奉仕団体等の職員	14	1.7
	自由業（タレント・セールス・デザイナー・著述業・建築士等）	15	1.8
合 計		833	100.0

12. 学校に至るまでの地図

